

平成 27 年度
原子力施設等防災対策等委託費
(原子力災害医療に関する研修の実効性向上) 事業
成果報告書

平成 28 年 3 月

公益財団法人 原子力安全研究協会

本報告書は、原子力規制庁委託事業による委託業務として、公益財団法人原子力安全研究協会が実施した平成 27 年度原子力施設等防災対策等委託費（原子力災害医療に関する研修の実効性向上）事業の成果をとりまとめたものです。

目 次

第1章	はじめに	1
第2章	講師養成講座受講者の選定及び講師養成講座の実施	3
2.1	講師養成講座受講者の選定	3
2.2	講師養成講座の実施	5
2.2.1	基礎研修（放射線基礎知識）	5
2.2.2	実践研修（避難退域時検査・簡易除染）	14
2.2.3	実践研修（汚染傷病者等搬送）	25
2.2.4	実践研修（医療機関における対応）	34
2.2.5	実践研修（安定ヨウ素剤等）	42
第3章	講師養成教材等の見直し	50
3.1	講師養成講座実施前見直し	50
3.2	指導者打合せ会	58
3.2.1	基礎研修（放射線基礎知識）	58
3.2.2	実践研修（避難退域時検査・簡易除染）	59
3.2.3	実践研修（汚染傷病者等搬送）	60
3.2.4	実践研修（医療機関における対応）	61
3.2.5	実践研修（安定ヨウ素剤等）	63
3.3	次年度事業に向けた見直し	64
第4章	講師ネットワークの構築	68
4.1	概要	68
4.2	前年度受講者アンケート調査の実施	68
4.3	受講者（将来の講師）の状況把握調査	72
4.4	講師交流会	75
第5章	おわりに	78
5.1	今年度のまとめ	78
5.2	今後に向けて	79
参考資料		
	講師養成講座のアンケート等結果	81

第1章 はじめに

地域の原子力災害時医療活動の実効性を確保するためには、原子力災害対策指針などを踏まえた医療・搬送などの関係者向けの研修が必須である。本事業は、立地道府県等や原子力災害拠点病院が実施する基礎的な研修及び実践的な研修を行うことができる講師の養成を目指すことを目的としている。

公益財団法人原子力安全研究協会は、①専門的人材を有し、原子力災害時の対応に経験があること；②原子力災害時医療研修等の豊富な経験があること；③関係学会や関係機関及び関係者とのネットワークを構築していることなどから、昨年度は平成 26 年度原子力施設等防災対策等委託費（原子力災害医療に関する研修の実効性向上）を受託し、今年度は平成 27 年度原子力施設等防災対策等委託費（原子力災害時の医療に係わる基礎・実践研修教材の改訂）事業において、原子力規制委員会原子力規制庁（以下「規制庁」という）が主導して作成してきた基礎研修と実践研修の教材について整合性を確認し、改訂を行った。

これらの経験を基に、本事業を受託し、今後各地域で講師を務めるに適した者を養成すべく、基礎研修と実践研修の 5 つの講師養成講座について、カリキュラム及び教材を作成し、各 2 回（計 10 回）実施した。

また、講師養成講座の修了者が円滑に情報交換、情報共有を行えるようなネットワークを構築するため講師候補が集う講師交流会を 2 回開催した。

なお、本報告書においては、研修、講師等の用語について、複数の意味が生じるため、以下の通り用語を定義づけるものとする。

・ **原子力災害時医療対応研修関連用語**

研 修：原子力発電施設等周辺地域において、当該地域における原子力災害時医療関係者を対象として、原子力災害時対応能力向上等のために実施する原子力災害時医療対応研修（現地開催型）。

・ **講師養成講座関連用語**

講師養成講座：原子力発電施設等周辺の各地域において、「研修」の講師を務めるに適した者を対象として、「研修」の講師を養成するために実施する原子力災害時医療対応研修講師養成講座。

指導者：講師養成講座において講師を務める者。

受講者：講師養成講座を受講し、将来的に研修の講師となることを期待する者。

講師役：講義・実習ロールプレイにおいて講師を担当する受講者。

受講生役：講義・実習ロールプレイにおいて受講生を担当する受講者。

第 2 章 講師養成講座受講者の選定及び講師養成講座の実施

2.1 講師養成講座受講者の選定

今年度は以下の講師養成講座①②③④及び⑤の 5 講座の開催を計画し、13 地域 24 道府県^(注1)の医療及び防災担当窓口講師養成講座の趣旨及びカリキュラム等の内容を付した案内を行い、各講師養成講座に 2 名程度の受講者の推薦を依頼した。その結果、10 回(5 講座各 2 回)を開催し、合計 146 名の受講があった。なお、養成を行う受講者数については、会場等が許容可能であれば極力受け容れることとした。

講師養成講座①	基礎研修 (放射線基礎知識)	→受講者 2 名程度×13 地域
講師養成講座②	実践研修 (避難退域時検査・簡易除染)	→受講者 2 名程度×13 地域
講師養成講座③	実践研修 (汚染傷病者等搬送)	→受講者 2 名程度×13 地域
講師養成講座④	実践研修 (医療機関における対応)	→受講者 2 名程度×13 地域
講師養成講座⑤	実践研修 (安定ヨウ素剤等)	→受講者 2 名程度×13 地域
合計：130 名程度 (各講師養成講座当たり 26 名程度)		

(注 1) 原子力発電施設等周辺 13 地域

- ①北海道、②青森県、③宮城県、④福島県、⑤新潟県、⑥茨城県・神奈川県、
⑦静岡県、⑧石川県・富山県、⑨福井県・岐阜県・滋賀県・京都府・大阪府、
⑩島根県・鳥取県・岡山県、⑪愛媛県・山口県、⑫佐賀県・福岡県・長崎県、
⑬鹿児島県

また、選定に当たっては当該地域内で以下の要件を満たす者を推薦するよう依頼した。併せて昨年度受講者には直接メールで案内し、受講の希望があれば道府県の担当窓口連絡し、推薦者の調整をしてもらうよう依頼した。

【選定要件】

- ①今後、地域の原子力災害時医療及び関係者の教育に熱意を持って当たる意志がある者
- ②地域の原子力災害時医療に関与している、あるいは、関与することが予定される者

③当該研修内容に関する知識を有している者（受講する講師養成講座に係る原子力災害時医療対応研修（同等の研修を含む）の受講歴がある者及びWEB上に公開する研修テキストで学習し、テストで8割以上の得点を得た者）

2.2 講師養成講座の実施

講師養成講座5コースを各々2回実施した。なお、開催地は対象となる13地域からの交通アクセスが良く、受講者が集まりやすい東京都内とした。

2.2.1 基礎研修（放射線基礎知識）

(1)目的

「原子力災害対応要員が安全かつ十分に活動できるための放射線の知識と基本的機材の使用」について「いかに教えるか」を学び、指導技術を習得する。

(2)開催実績

	開催日	開催場所	参加人数 (人)
1	平成28年2月16日(火)	公益財団法人原子力安全研究協会 (東京都港区)	15
2	平成28年3月13日(日)	公益財団法人原子力安全研究協会 (東京都港区)	17
合計			32
1回あたりの平均参加人数			16

(3)プログラム（見直しの内容については第3章に記載）

基礎研修(放射線基礎知識) プログラム	
10:00 ~ 10:50	選択講義：イントロダクション、放射線の基礎知識及び人体への影響と放射線防護（要約版）
10:50 ~ 11:00	休憩
11:00 ~ 11:10	開会：オリエンテーション
11:10 ~ 11:20	講義ロールプレイガイダンス
11:20 ~ 12:10	講義ロールプレイ①－インストラクションスキルチェックー
12:10 ~ 13:10	休憩
13:10 ~ 14:00	講義ロールプレイ②－インストラクションスキルチェックー
14:00 ~ 14:10	休憩
14:10 ~ 15:00	実習：医療活動に必要な放射線測定
15:00 ~ 15:10	理解度確認テスト
15:10 ~ 15:20	休憩
15:20 ~ 15:30	実習ロールプレイガイダンス
15:30 ~ 16:50	実習ロールプレイ－インストラクションスキルチェックー
16:50 ~ 17:00	休憩
17:00 ~ 17:20	振り返り
17:20 ~ 17:30	質疑応答、総評

(4)内容

講義ロールプレイ、実習及び実習ロールプレイについては、以下の通り。

講義ロールプレイ

スライドとテキストを用いて講義ロールプレイを行った。各講師役の指導技術について指導者が評価を行った後、指導者と受講者による質疑応答を行い、指導技術を高めるようにした。

主な項目は以下の通り。

- ・イントロダクション
- ・放射線の基礎知識
- ・人体への影響と放射線防護



講義ロールプレイ（実演）



講義ロールプレイ（講師役と評価者）

実習：医療活動に必要な放射線測定

原子力災害時の医療活動に必要な放射線測定の技術について、測定目的に応じた測定器の種類、空間線量率、表面汚染、個人線量の測定等について、スライドとテキストを用いて講義を行った。さらに、個人線量計、GM 管式サーベイメータを用いて、測定器の取り扱い、測定器を用いた放射線の性質の確認等についての実習を行った。

放射線測定実習の項目は、以下の通り。

- ①個人線量計の取り扱い
- ②サーベイメータの取り扱い
 - ・使用前点検
 - ・自然放射線の測定
 - ・マントルの測定

③放射線の性質

- ・ 垂直方向の距離による変動
- ・ 遮蔽物による変動

④放射線測定器の特性

- ・ 検出器と測定物の位置関係
- ・ 検出器の移動速度による変動



放射線測定実習（個人線量計の取扱い）



放射線測定実習（放射線の性質：距離）



放射線測定実習（測定器の特性：速度）



放射線測定実習（測定器の特性：遮蔽）

実習ロールプレイ

放射線測定実習について参加者が講師役と受講生役に分かれ（交互に交代）実習を行った。実習はいくつかのシーンに区分し、その都度、講師役の指導技術について評価を行った。評価の結果は講師役に戻し、質疑応答を行い、指導技術を高めるようにした。



実習ロールプレイ（測定器類の取扱い）



実習ロールプレイ（放射線の性質）



実習ロールプレイ（講師役と評価者）

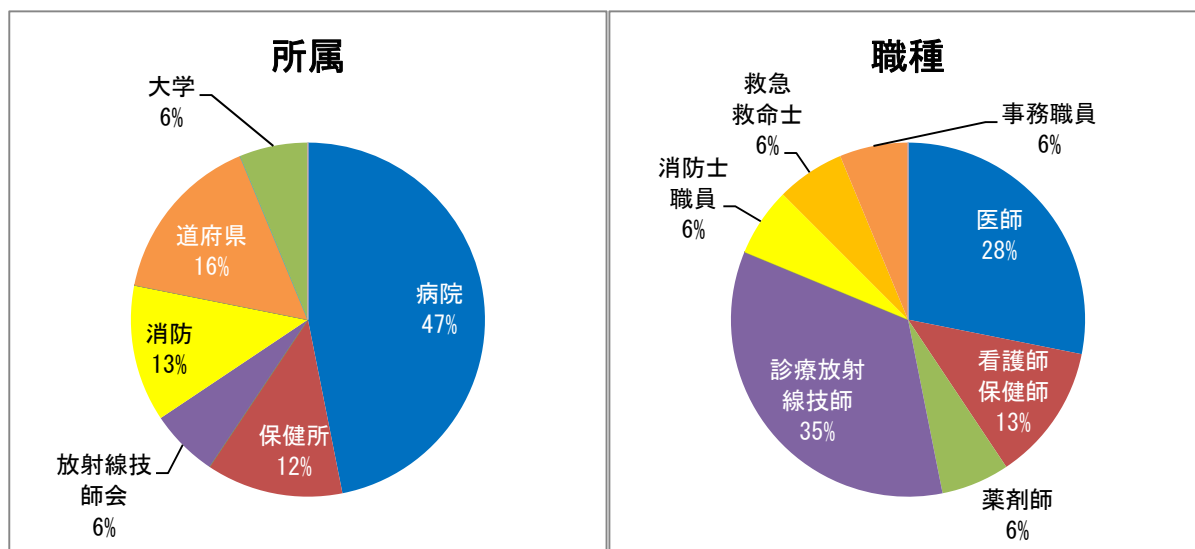


振り返り（意見交換）

※本講師養成講座実施の撮影に当たっては、報告書に掲載することについて許可を得ている。

(5)実施結果

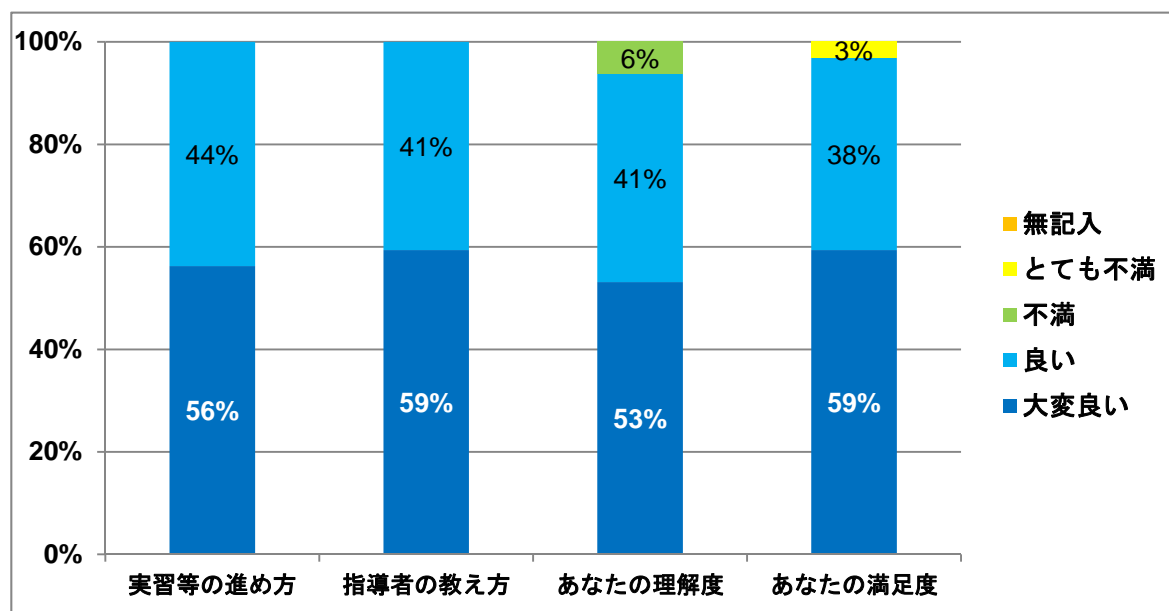
2回の開催で32人の参加があった。参加者の構成比率は、次の通り。



受講後に行ったアンケート調査の要約を次に示す（詳細は参考資料を参照）。

講義ロールプレイ

講義ロールプレイの①ロールプレイの進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。

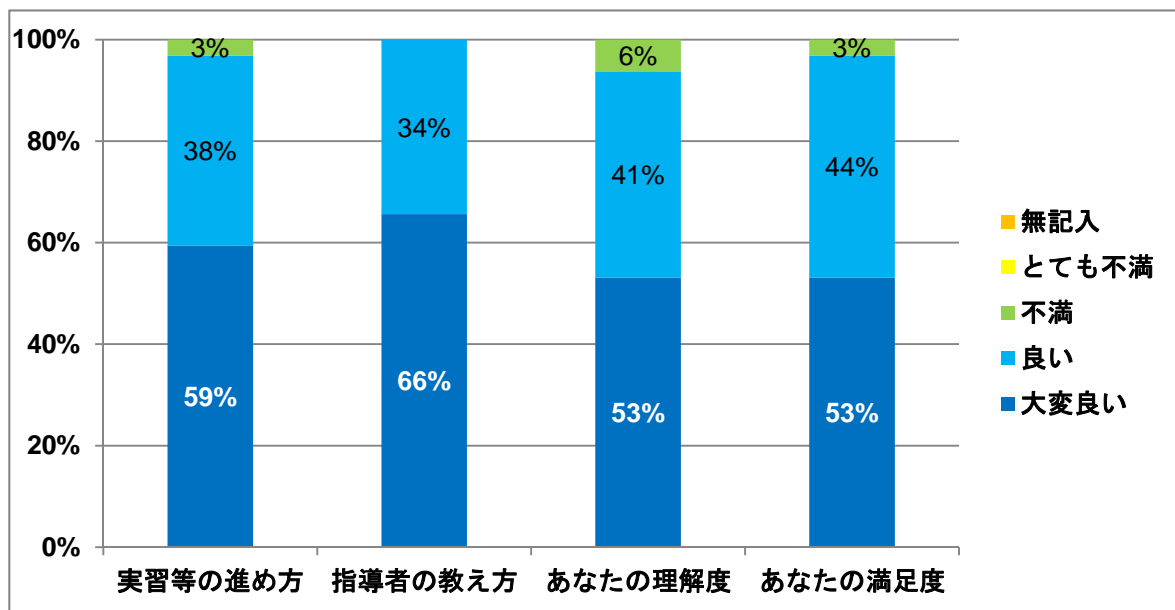


講義ロールプレイについてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。多くの受講者から、「講義手法に関して勉強になった」、「良い点、改善点がわかった」といった意見があり、高評価を得た。ただし、理解度について“不満”が2名、

満足度について“とても不満”が1名あったが、とても不満と回答した受講者からは、「講義は知識がしっかりしていないと難しいと感じた」、「自分の発表が気になりすぎて余裕がなかった」との意見であった。

実習：医療活動に必要な放射線測定

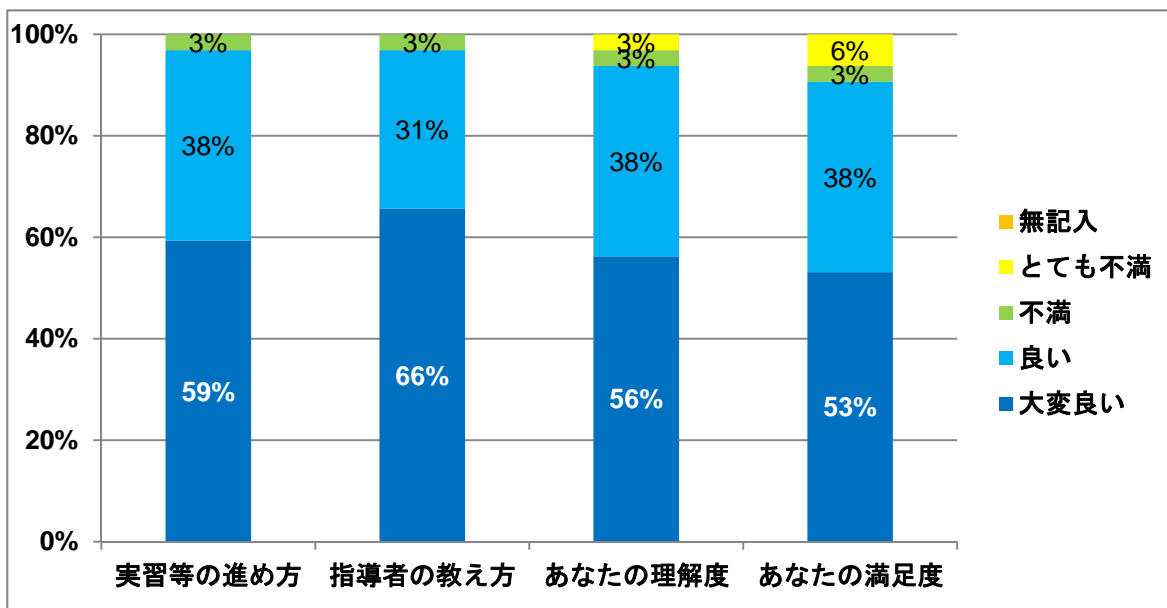
医療活動に必要な放射線測定実習の①実習の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



医療活動に必要な放射線測定についてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。ただし、進め方、理解度、満足度について“不満”と回答した受講者（進め方：1名、理解度：2名、満足度：1名）の中から、「時間が少ない」、「測定器は4人に1台ではなく2人に1台の方が良い」との意見があった。

実習ロールプレイ

放射線測定実習ロールプレイの①ロールプレイの進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。

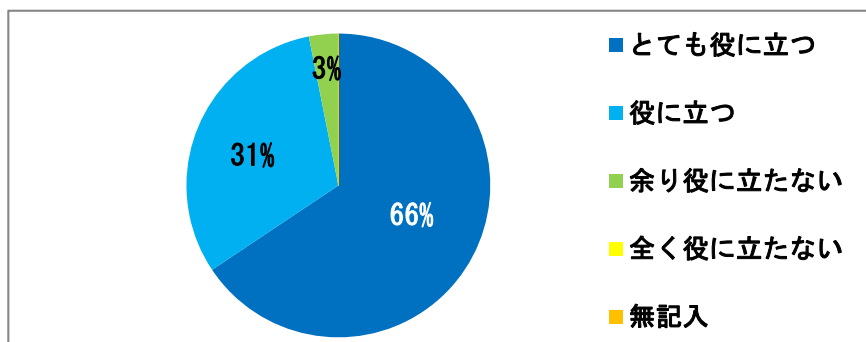


実習ロールプレイについてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。ただし、全ての項目について“不満”（進め方：1名、教え方：1名、理解度：1名、満足度：1名）、理解度、満足度について“とても不満”（理解度：1名、満足度：2名）と回答した受講者もあり、その内、理解度と満足度をとても不満と回答した受講者から「準備時間が足りない」という意見があった。

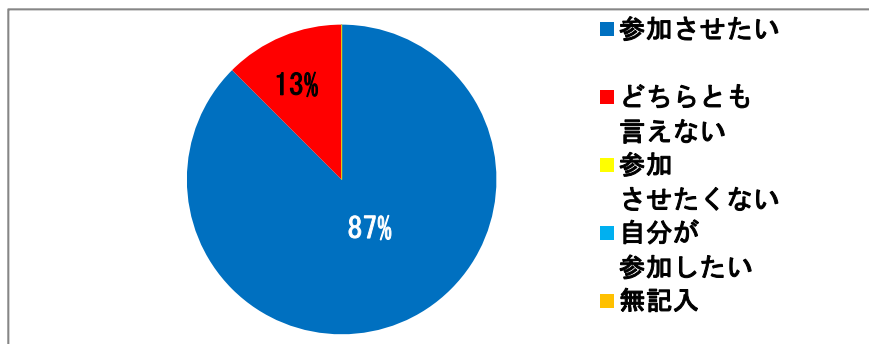
(6)本講師養成講座に関する意見

アンケートの結果を以下に示す；

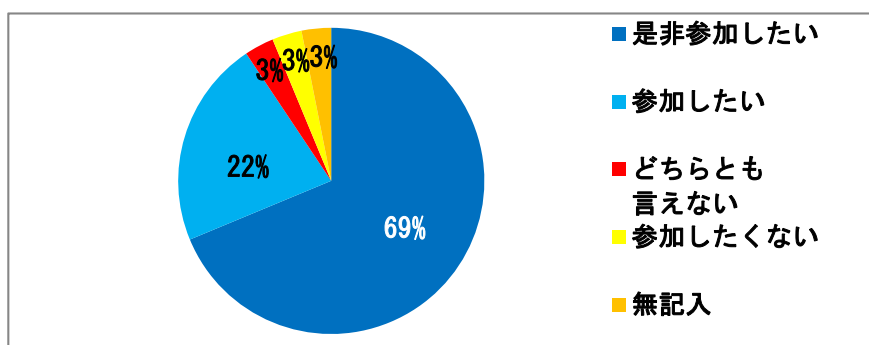
①今後、講師を行う際に役に立つ内容だったか？



②今後、自分の組織の人にも参加させたいか？



③その他の研修にも参加したいか？



【主な意見・要望等】

①今後の講師養成講座への要望・テーマ

- ・ファーストレスポンドーの初期対応について（消防士）
- ・風評対策（医師）
- ・放射線対応の基礎的知識（医師）
- ・住民への説明について（医師）
- ・WBC測定結果に基づく診療方針の考え方（自治体職員／事務職）

②本コースについて

- ・講習の指導方法についてとても勉強になりました。（消防士）
- ・放射線関連の知識がしっかりしていないと人に教えることはとても難しいと感じました。今後、自分で行わなくてはならなくなったとして、慣れるまでは自分よりも知識のある人のサポートが絶対に必要と思いました。（医師）
- ・技術的な説明の難しさを知りました。（消防士）

③その他意見、要望及び疑問、質問

- ・緊張感のあるロールプレイは今後、講習会等を実施する際のとてもよい勉強に

- なりました。難しいです。慣れていきたいと思います。(消防士)
- ・指導方法について改めて勉強になり、また自分の良い点、改善点も把握できた。基本的な知識においては、伝えるポイントをもっと講師の方から聞いてみたかった。機会があれば実践研修の各講座も受講したいと思います。(消防士)
 - ・講義の手法に関して大変勉強になりました。今後も勉強を重ねたいと思います。(診療放射線技師)
 - ・講義は知識がしっかりしていないと難しいと思いました。少なくとも数回は知識の豊富な先生が会場にいる中で、補足や質問に対する答えなどのサポートをしていただければと思いました。実習については時定数の説明、回答が少なくて難しいと思いました。(医師)
 - ・対象職種に合わせた講義を聴くことで、その職種がどのようなことを知りたいと考えているのかある程度理解できた。職種によって必要としている知識が違うためどのように伝えることが効果的かを考える機会となった。(看護師/保健師)
 - ・もう少し少人数でやっていただくと良いと思います。(診療放射線技師)

2.2.2 実践研修（避難退域時検査・簡易除染）

(1)目的

「避難退域時検査、簡易除染において住民対応に従事する要員が住民の安全と安心に最大限配慮しつつ効率的に活動するために必要な知識と技術」について「いかに教えるか」を学び、指導技術を習得する。

(2)開催実績

	開催日	開催場所	参加人数 (人)
1	平成 28 年 2 月 6 日（土）～ 平成 28 年 2 月 7 日（日）	公益財団法人原子力安全研究協会 （東京都港区）	15
2	平成 27 年 3 月 5 日（土）～ 平成 27 年 3 月 6 日（日）	公益財団法人原子力安全研究協会 （東京都港区）	22
合計			37
1 回あたりの平均参加人数			18.5

(3)プログラム（見直しの内容については第 3 章に記載）

実践研修(避難退域時検査・簡易除染) プログラム	
【1 日目】	
13:00～13:40	選択講義：避難退域時検査及び簡易除染（要約版）
13:40～13:50	休憩
13:50～14:00	開会：オリエンテーション
14:00～14:10	講義ロールプレイガイダンス
14:10～15:10	講義ロールプレイヤーインストラクションスキルチェック
15:10～15:20	休憩
15:20～16:30	実習：避難退域時検査実習
16:30～16:40	休憩
16:40～17:30	講義・実習：原子力災害時の簡易除染
17:30～17:50	グループディスカッション
17:50～18:00	理解度確認テスト
【2 日目】	
9:30～09:50	実習ロールプレイガイダンス
9:50～11:50	実習ロールプレイヤーインストラクションスキルチェック
11:50～12:00	休憩
12:00～12:20	振り返り
12:20～12:30	質疑応答、総評

(4)内容

講義ロールプレイ、実習及び実習ロールプレイについては、以下の通り。

講義ロールプレイ

スライドとテキストを用いて講義ロールプレイを行った。各講師役の指導技術について指導者が評価を行った後、指導者と受講者による質疑応答を行い、指導技術を高めるようにした。

主な項目は以下の通り。

- ・避難退域時検査及び簡易除染とは



講義ロールプレイ（実演）



講義ロールプレイ（フィードバック）

実習：避難退域時検査実習

原子力災害時に避難をした住民に対して、的確な避難退域時検査が実施できるよう、機器の取り扱い及びプローブ（検出器）の移動速度による指針の振れを確認した後、受講者をグループ分けし、役割を被検者 1 名程度、測定検査員 1～2 名程度、記録員 1 名程度と決めて、避難退域時検査の模擬実習を行った。

主な項目は以下の通り。

- ・個人線量計の取り扱い
- ・サーベイメータの取り扱い
- ・検査のための予備実習
- ・検査



避難退域時検査実習（模擬線源の計測）



避難退域時検査実習（移動速度）



検査（指定箇所検査実習）



検査（確認検査実習）

講義・実習：原子力災害時の簡易除染

原子力災害時に避難する住民を対象に避難退域時検査を行った結果、OIL4 を超える汚染が身体表面に確認された場合の対応について、簡易除染の考え方、簡易除染の設備・装備、留意点や手順を説明した後、蛍光ローションを汚染と見立て、ウェットティッシュ等を用いて、汚染を拡げないように拭き取り簡易除染を行った（①自分自身で実施、②ペアになり拭き取り指示により汚染者本人（模擬）に拭き取らせる）。

主な項目は以下の通り。

- ・簡易除染の考え方
- ・簡易除染に必要な設備等、チームの装備
- ・簡易除染に必要な設備等
- ・簡易除染を行う者の装備
- ・簡易除染の方法
- ・OIL4 以下にならなかった場合の処置
- ・簡易除染等に伴い発生した汚染物等の取扱い
- ・簡易除染（拭き取り）実習



簡易除染（個人で拭き取り）



簡易除染（ペアで拭き取り）

実習ロールプレイ

「避難退域時検査実習」、「原子力災害時の簡易除染」の内容について、参加者が講師役と受講生役に分かれ（交互に交代）実習を行った。実習はいくつかのシーンに区分し、その都度、講師役の指導技術について評価を行った。評価の結果は講師役に戻し、質疑応答を行い、指導技術を高めるようにした。



実践ロールプレイ（避難退域時検査指導）



実践ロールプレイ（避難退域時検査指導）



実習ロールプレイ（簡易除染指導）



実習ロールプレイ（簡易除染指導）

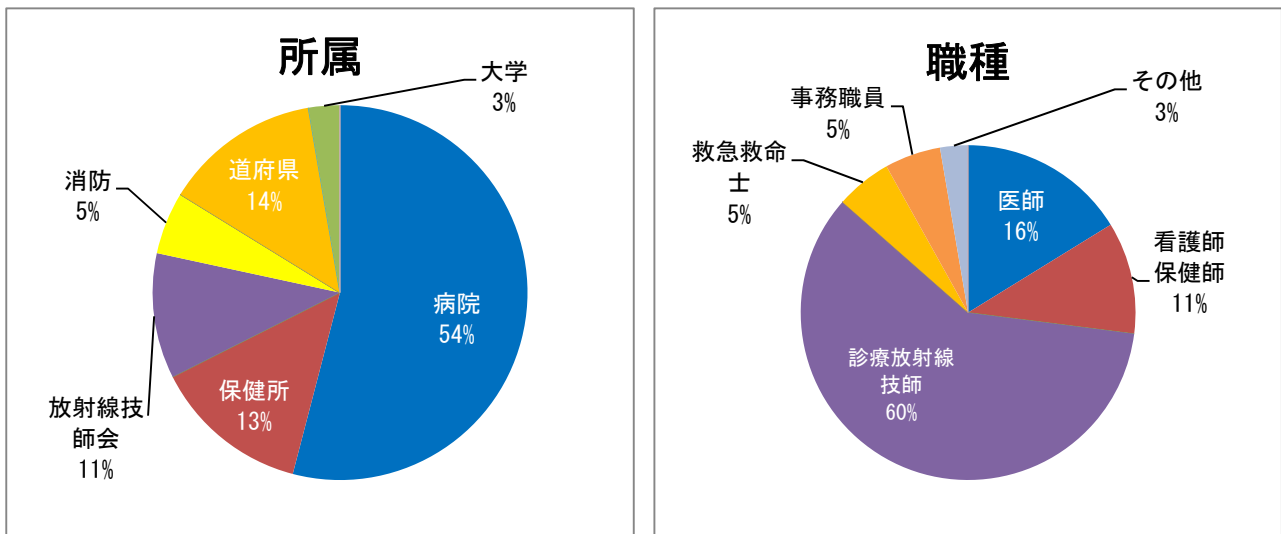


振り返り

※本講師養成講座の中で、避難退域時検査、簡易除染を行う際の要員の服装については講義で示し、各実習・実習ロールプレイにおける個人装備の着装は省略している。なお、本講師養成講座実施の撮影に当たっては、報告書に掲載することについて許可を得ている。

(5)実施結果

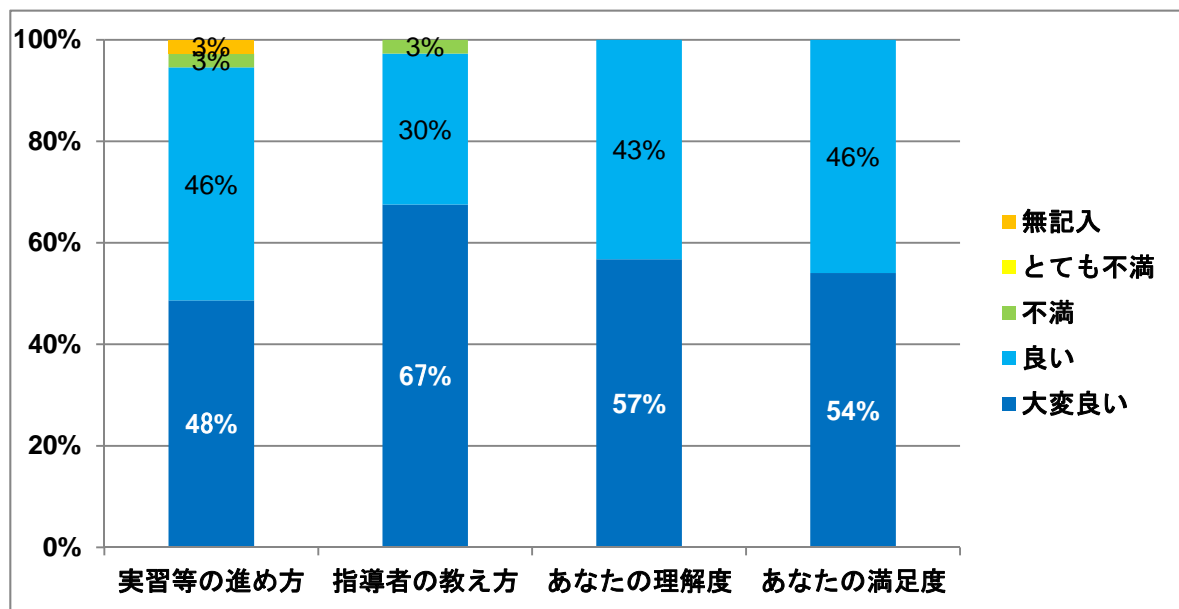
2回の開催で37人の参加があった。参加者の構成比率は、次の通り。



受講後に行ったアンケート調査については、次に示す通り（詳細は参考資料を参照）。

講義ロールプレイ

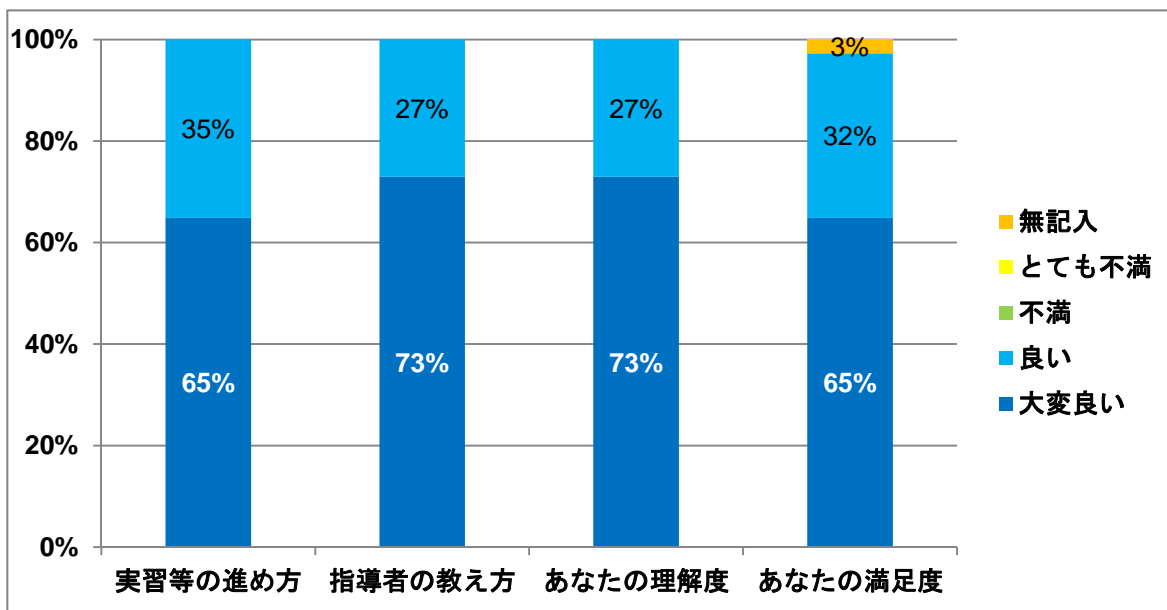
講義ロールプレイの①ロールプレイの進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



講義ロールプレイについてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。ただし、進め方、教え方について“不満”（進め方：1名、教え方：1名）と回答した受講者からは「戸惑った」との意見があった。

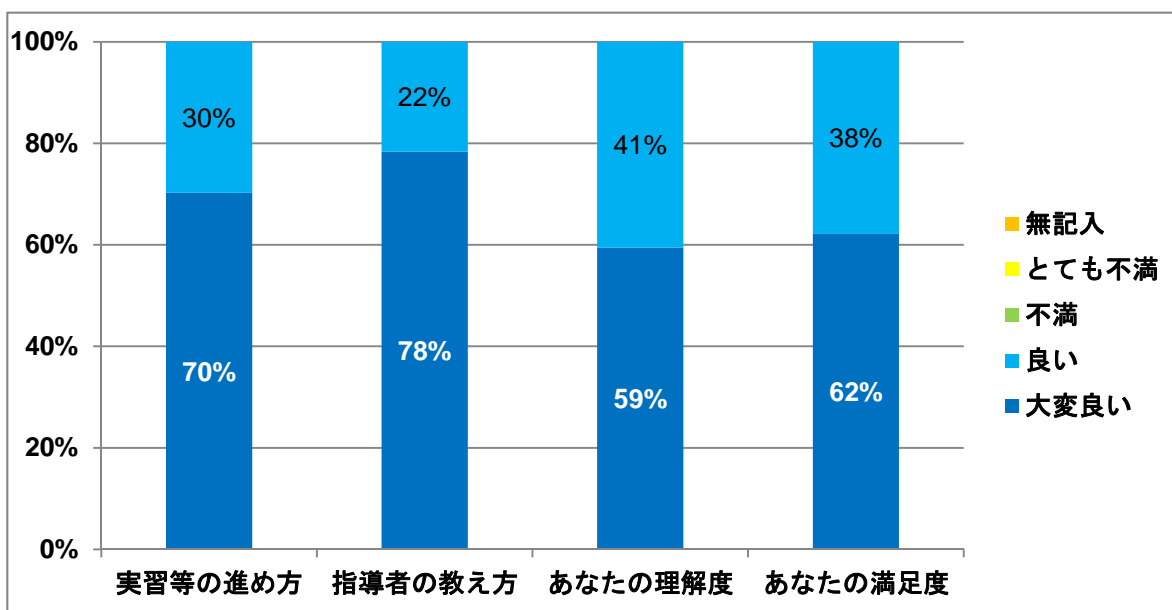
実習：避難退域時検査実習

避難退域時検査実習の①実習の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



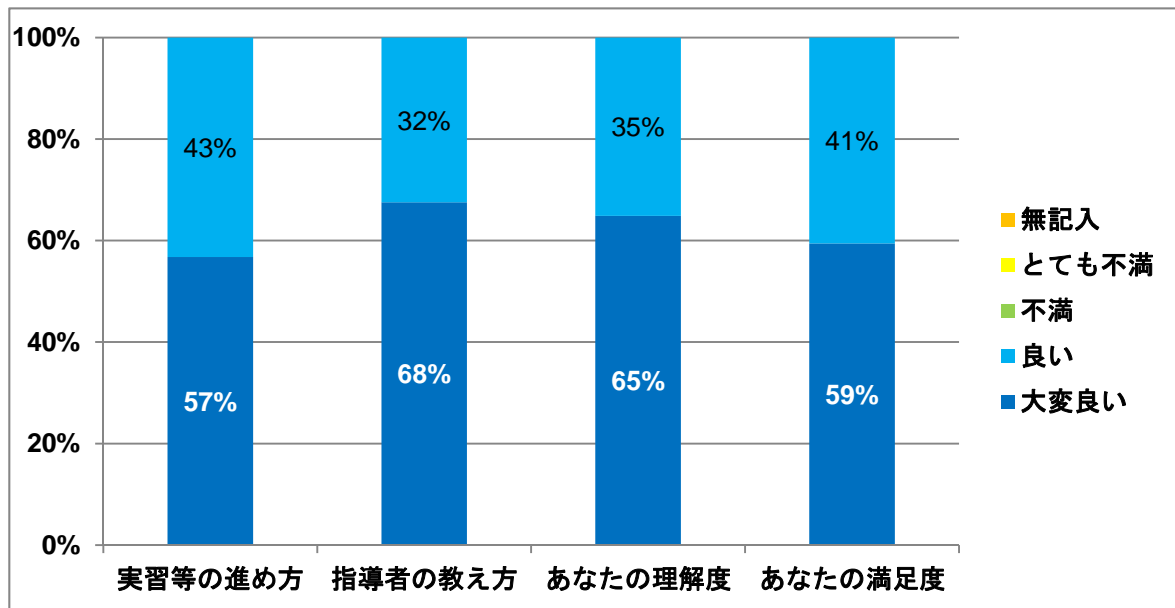
実習：原子力災害時の簡易除染

原子力災害時の簡易除染の①全体の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



実習ロールプレイ

実習ロールプレイの①ロールプレイの進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。

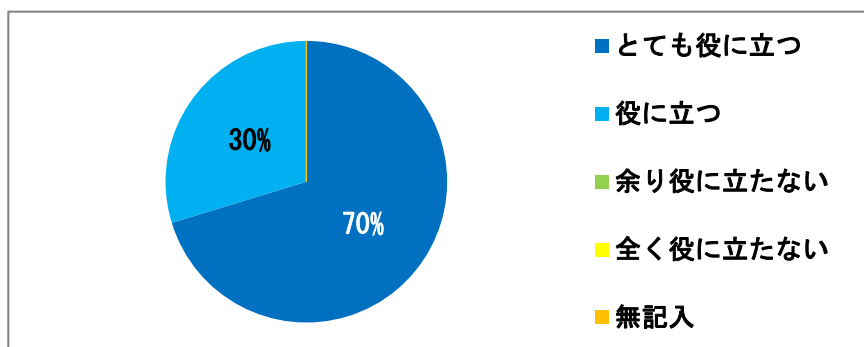


「避難退域時検査実習」、「原子力災害時の簡易除染」、「実習ロールプレイ」いずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。

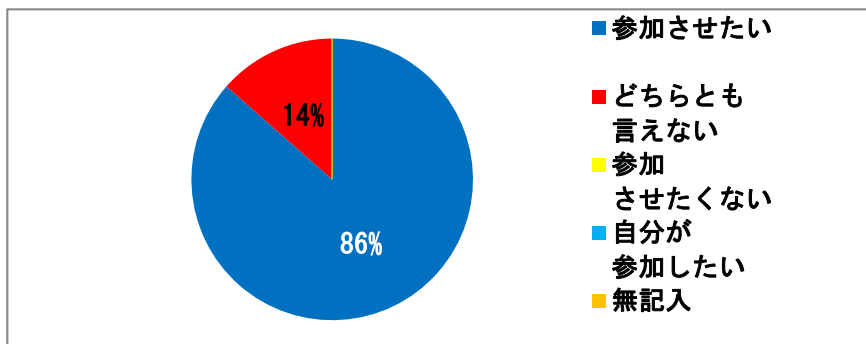
(6)本講師養成講座に関する意見

アンケートの結果を以下に示す；

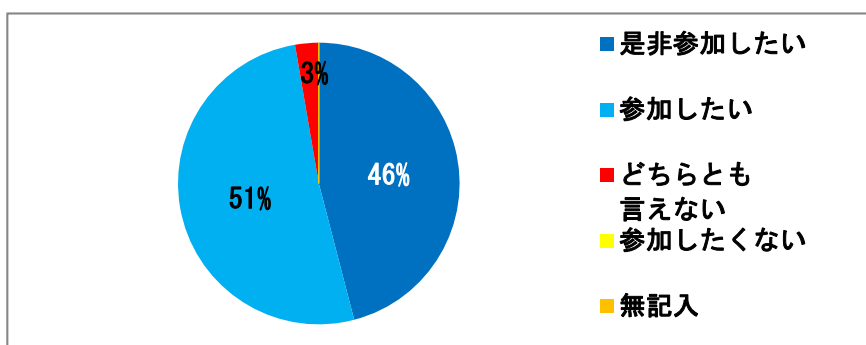
①今後、講師を行う際に役に立つ内容だったか？



②今後、自分の組織の人にも参加させたいか？



③その他の研修にも参加したいか？



【主な意見・要望等】

①今後の講師養成講座への要望・テーマ

- ・風評被害について（医師）
- ・実際の災害現場ではどのように検査除染を行えたのか、体験者のアドバイスを聞いてみたいです。（診療放射線技師）
- ・避難所、除染施設の責任者の対応について（自治体職員／医師）
- ・健康相談（医師）

②本コースについて

- ・よくねられたコースだと思います。（医師）
- ・初めて講師役をしてみたが、皆さん専門の方々ばかりだったので、緊張した。思っていた以上に説明はできたので自分的には満足でした。（自治体職員／事務職）
- ・もう少し上手に話せるようシミュレーションできると良かった。（診療放射線技師）
- ・「レセプティブ・フィードバック」など講義内容に含まれていたと思いますが

理解が不十分でした。(看護師／保健師)

- ・時間をもっととって十分に技術を身につけたい。(診療放射線技師)
- ・非常にわかりやすかったが、いろいろな状況が考えられるので、対応は難しいと感じた。(自治体職員／事務職)
- ・伝えたいことが半分も伝えられなかったです。繰り返し練習(訓練)する必要を実感しました。(診療放射線技師)

③その他意見、要望及び疑問、質問

- ・規制庁の新しいルールにもとづき、どのように説明すればよいか明確になりました。他地域の方のご意見は大変参考になりました。(診療放射線技師)
- ・検査→簡易除染等の総合実習的なものが必要だと思う。(臨床工学技士)
- ・ディスカッションの時間をもっととらないと話が深くない。終わりがけにもりあがって時間が足りない。被ばく医療+集団災害の概念の組み合わせで考えないといけないと思うが集団災害の視点からやや疑問が残る。(医師)
- ・マニュアル外の細かい点で疑義が多かった。こういう形で専門の方々が集まる機会があると非常に良い。非常に役に立ちました。ありがとうございました。(自治体職員／事務職)
- ・福島でもありましたが最近ではペット(犬、猫等)を連れての避難も多いと思います。実際人間よりも深刻な汚染もありこういったものへの対応等も今後講義していただくとありがたいです。(診療放射線技師)
- ・今回の研修のようにグループワークがある場合は事前にグループ指定があっても良いのかとも思いました。会場の問題もありますが実習と講義が同一の建物内にあった方がありがたいです。ロールプレイの講評シートは自分に不足している部分が明確になり、大変有意義でした。(救命救急士)
- ・講義ロールプレイが難しく、とても勉強になりました。講義する上でのポイントについてもっと時間があっても良いのかとも思いました。(診療放射線技師)
- ・これまで受けてきた研修は一方的に聴くものが多く、実習させていただいたのは、ほぼ初めてでした。なかなか思うように人には伝えられないと実感(痛感)しました。はたして自分がしっかり指導できるか不安ですがイメージトレーニングを常に意識して人に伝える技術を身につけられるよう努力していきます。数年後には講師の先生方のように話せることを目標に繰り返し自己研修してい

きます。(診療放射線技師)

- ・ 去年参加した研修よりも今年は指導という点により重点をおいた研修で今後の指導という点において、より実践的に活かすことができそうです。もし来年以降に追加して頂けるなら指導という立場の講義ロールプレイのエビデンスをより充実して頂いて各項目の自分自身が担当した講師の立場のフィードバックをして頂きたいです。(看護師／保健師)
- ・ 全身の検査をする確認検査について、もっといい方法（検査見逃しのない）があるかも知れないので例示でいいから示してほしい。(診療放射線技師)
- ・ 今後、講師をするに当たりタスクでの講習会参加などの機会があればもっと自信が持てると思う。(診療放射線技師)
- ・ 理解が不十分な点がよく分かったことはもちろんですが、自分がわかっていると思っても、他の方に伝えることは難しいこともよくわかりました。実習ロールプレイは楽しかったです。(看護師／保健師)
- ・ 非常に良い企画だと思います。実習している中で程々の設問などが出てきて受け身で行う研修とは異なり、有意義な研修でした。(医師)
- ・ 回数をすれば何とかかなりそう。(診療放射線技師)

2.2.3 実践研修（汚染傷病者等搬送）

(1)目的

「搬送に従事する要員が自身の安全を保ちつつ迅速に汚染傷病者等を医療機関に搬送し救命に寄与するために必要な知識と技術」について「いかに教えるか」を学び、指導技術を習得する。

(2)開催実績

	開催日	開催場所	参加人数 (人)
1	平成 28 年 2 月 18 日（木）～ 平成 28 年 2 月 19 日（金）	東京消防庁消防学校 （東京都渋谷区）	8
2	平成 28 年 2 月 23 日（火）～ 平成 28 年 2 月 24 日（水）	帝京大学板橋キャンパス （東京都板橋区）	12
合計			20
1 回あたりの平均参加人数			10

(3)プログラム（見直しの内容については第 3 章に記載）

実践研修(汚染傷病者等搬送) プログラム	
【1日目】	
13:00	～ 13:40 選択講義：原子力災害時の搬送、原子力災害時における搬送事例（要約版）
13:40	～ 13:50 休憩
13:50	～ 14:00 開会：オリエンテーション
14:00	～ 14:10 講義ロールプレイガイダンス
14:10	～ 15:00 講義ロールプレイヤーインストラクションスキルチェック
15:00	～ 15:10 休憩
15:10	～ 15:30 実習：空間線量率の測定
15:30	～ 15:40 休憩
15:40	～ 16:10 搬送実習ガイダンス
16:10	～ 18:00 実習：搬送実習
18:00	～ 18:20 グループディスカッション
18:20	～ 18:30 理解度確認テスト
【2日目】	
9:00	～ 09:10 実習ロールプレイガイダンス
9:10	～ 11:10 実習ロールプレイヤーインストラクションスキルチェック
11:10	～ 11:20 休憩
11:20	～ 11:40 振り返り
11:40	～ 11:50 質疑応答、総評

(4)内容

講義ロールプレイ、実習及び実習ロールプレイについては、以下の通り。

講義ロールプレイ

スライドとテキストを用いて講義ロールプレイを行った。各講師役の指導技術について指導者が評価を行った後、指導者と受講者による質疑応答を行い、指導技術を高めるようにした。

主な項目は以下の通り。

- ・原子力災害時の搬送



講義ロールプレイ（実演）



講義ロールプレイ（フィードバック）

実習1：空間線量率の測定

原子力災害時における測定機器の取り扱い及び性質について実習を行った。

主な項目は以下の通り。

- ・個人線量計の取り扱い
- ・空間線量計の取り扱い
- ・遮蔽実験



放射線測定実習（空間線量率計の取り扱い）



放射線測定実習（遮蔽実験）

実習 2：搬送実習

原子力災害時の傷病者搬送について一連の流れを実習で行った。

主な実習項目は以下の通り。

- ・ ガイダンス（実習の流れ、資機材の確認）
- ・ 情報収集
- ・ 出動準備（車内養生、服装）
- ・ 初期評価と対応
- ・ 傷病者の車内収容
- ・ 搬送中の車内対応
- ・ 医師への引継ぎ、汚染防止措置の解除



搬送実習（車内養生）



搬送実習（ストレッチャー養生）



搬送実習（装備の着装）



搬送実習（車内収容）



搬送実習（装備の脱装）



搬送実習（汚染拡大防護措置の解除）

実習ロールプレイ

搬送実習の内容について、シーンを区切り、講師役と受講生役を交替しながらロールプレイを行い、指導者により指導技術の確認（評価）を実施した。確認の結果はフィードバックにて講師役に返し、残った疑問については、その後の質疑応答にてフォローを行った。



実習ロールプレイ（車内養生指導）



実習ロールプレイ（装備着装指導）



実習ロールプレイ（車内対応指導）

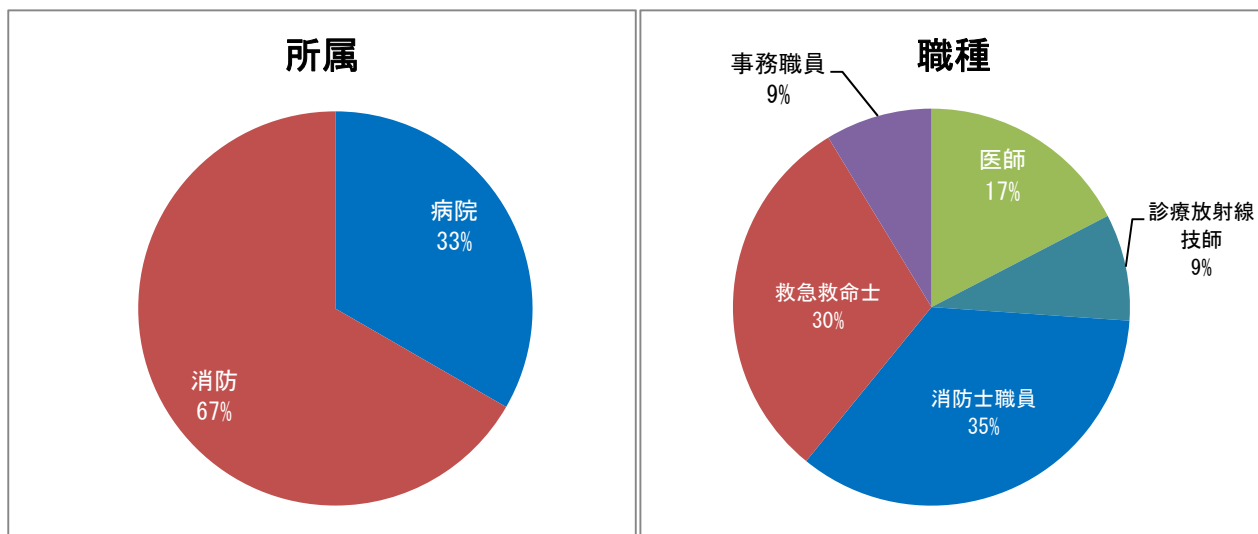


実習ロールプレイ
（汚染拡大防護措置の解除指導）

※本講師養成講座実施の撮影に当たっては、報告書に掲載することについて許可を得ている。

(5)実施結果

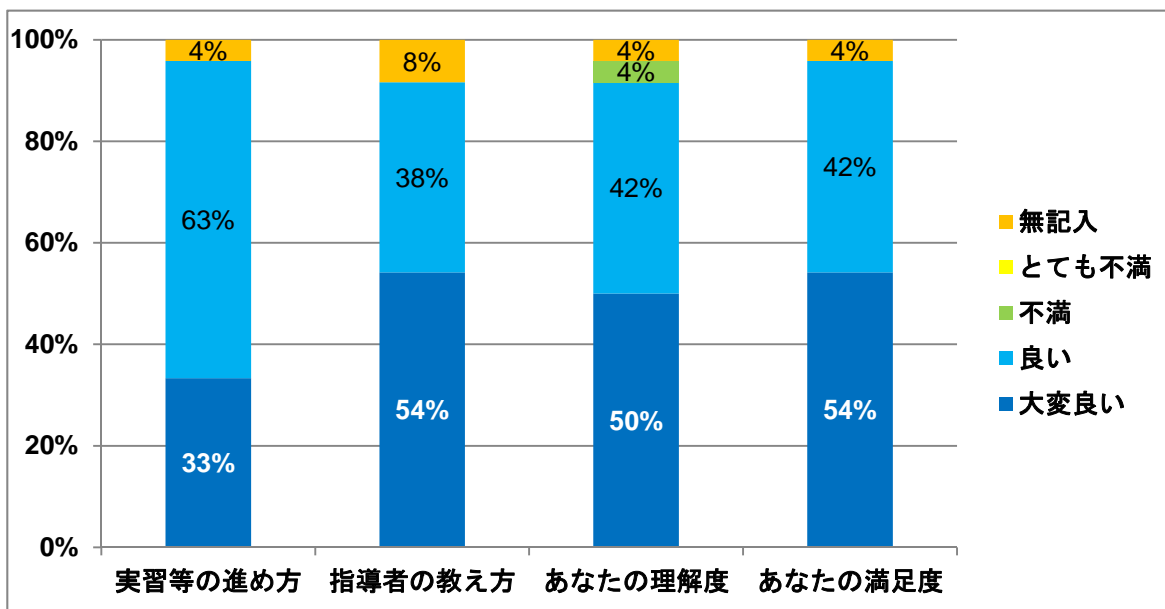
2回の開催で20人の参加があった。参加者の構成比率は、次の通り。



受講後に行ったアンケート調査の要約を次に示す（詳細は参考資料を参照）。

講義ロールプレイ

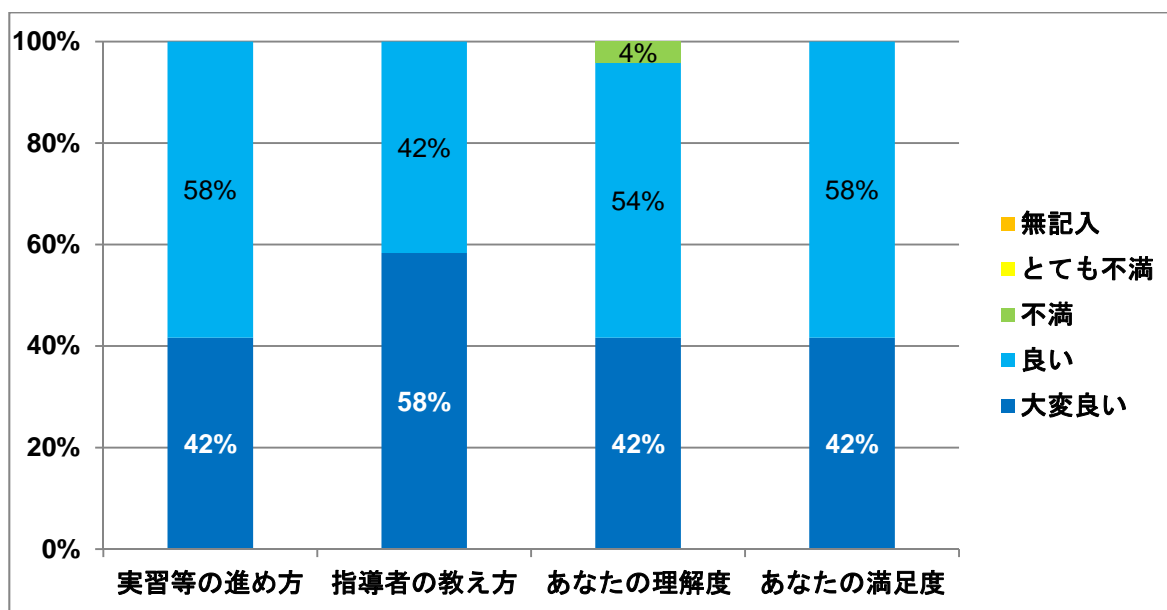
講義ロールプレイの①ロールプレイの進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



講義ロールプレイについてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。ただし、理解度について“不満”と回答した受講者が1名いたが、「話す内容を伝え忘れた」との意見であった。

実習：空間線量率の測定

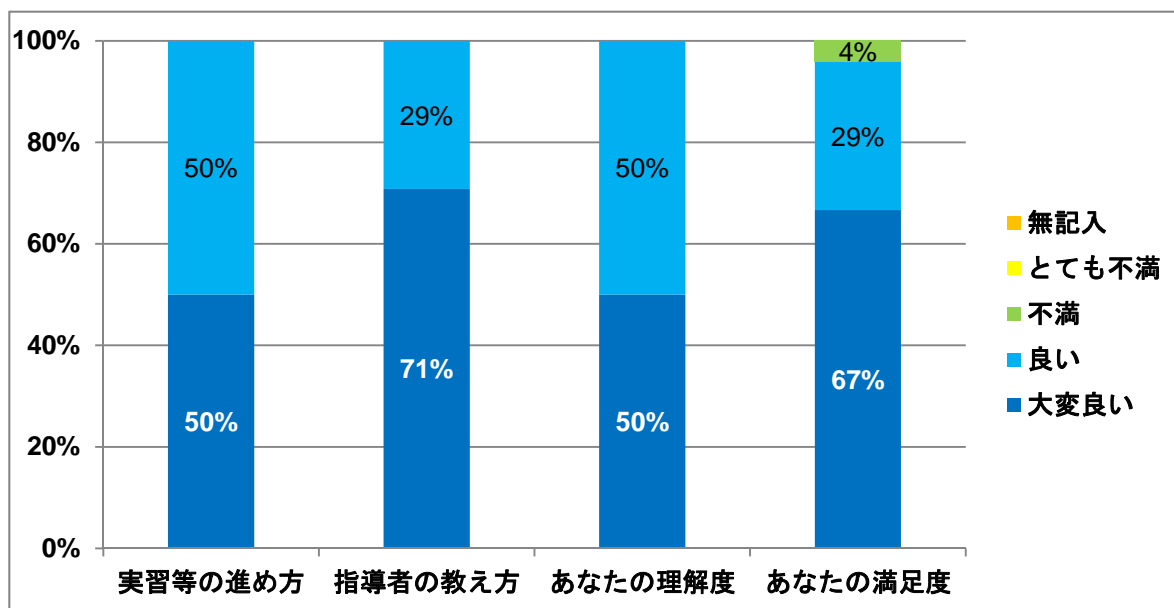
空間線量率の測定の①実習の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



空間線量率の測定実習についてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。ただし、理解度について不満と回答した受講者もいた。

実習：搬送実習

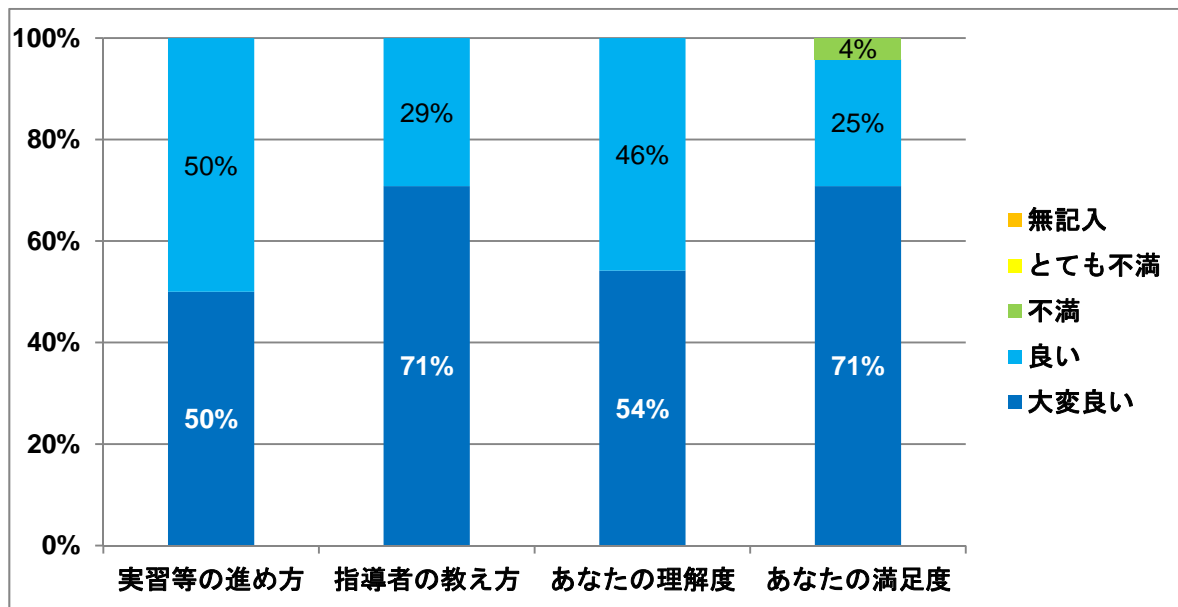
搬送実習の①実習の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



搬送実習についてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。ただし、満足度について“不満”と回答した受講者が1名いたが、「班に分かれて実習したため違う班の活動が見られなかった」との意見であった。

実習ロールプレイ

実習ロールプレイの①実習の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。

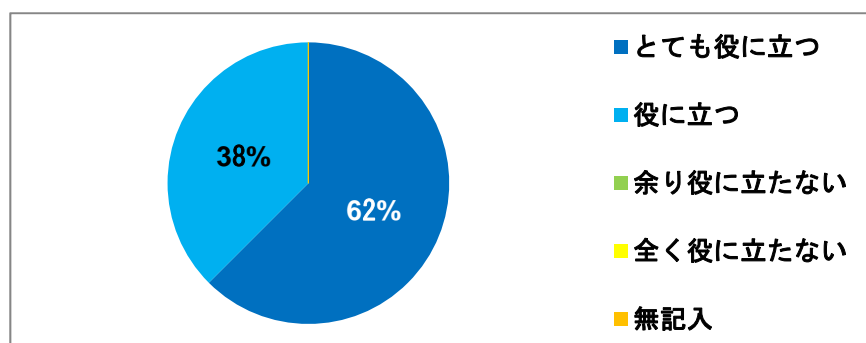


実習ロールプレイについてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であり、高評価を得た。

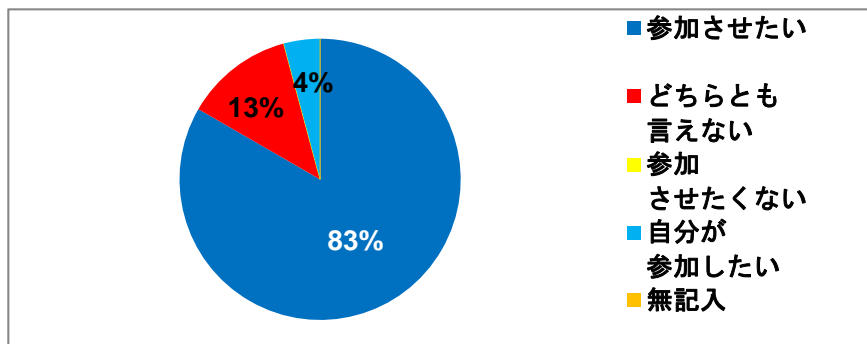
(5)本講師養成講座に関する意見

アンケートの結果を以下に示す；

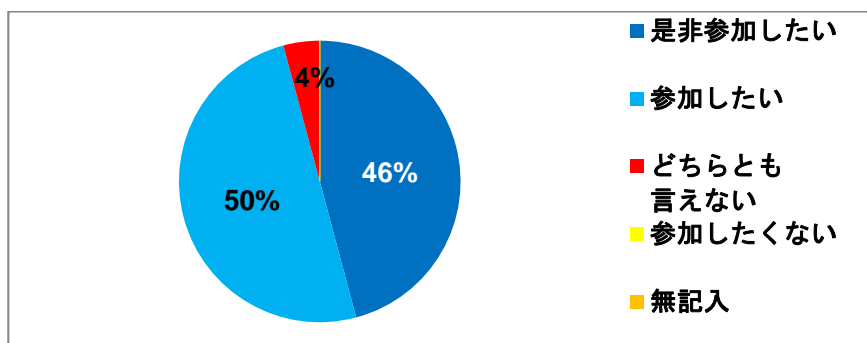
①今後、講師を行う際に役に立つ内容だったか？



②今後、自分の組織の人にも参加させたいか？



③その他の研修にも参加したいか？



【主な意見・要望等】

①今後の講師養成講座への要望・テーマ

- ・原発見学ツアー（医師）
- ・講師養成講座 更新コース（救命救急士）
- ・病院避難（病院／事務職）

②本コースについて

- ・講義内容が被ばくに関する知識を求められている部分が少々感じられた。評価されているというモードがあり緊張でした。（救命救急士）
- ・非常にわかりやすかったが、いろいろな状況が考えられるので、対応は難しいと感じた。（自治体職員／事務職）
- ・ディスカッションのテーマについて具体的に示していただければ良かったかもしれない。（救命救急士）
- ・進行の仕方が難しい。（診療放射線技師）
- ・短い時間での大変有効なロールプレイと感じました。（救命救急士）

③その他意見、要望及び疑問、質問

- ・受講・実践を繰り返すことで良く理解できました。(医師)
- ・2日間本当に勉強になりました。先生方だけでなく受講生の方々からもたくさん学ぶものがありました。この研修を活かし地元に戻元したいです。(救命救急士)
- ・大変内容の濃い研修で満足しました。ありがとうございました。(医師)
- ・はじめて受講しました。“ロールプレイ”の項目の意味がはじめわかりませんでした。最初の目的を聞いてなるほどと思いました。そして、すべての内容が新鮮で役立ちました。今後の業務に活かしていきたいです。本当にありがとうございました。(消防士)
- ・講師を行う際のポイント「3つの点」や「達成目標」等の内容は今後の自分の説明に活かしていきたいと思います。救急搬送については養生のし方、はずし方は理解できましたが、実際の現場に合わせた形になるといくつかの疑問点は残りました。また別の機会もあれば参加したいと思います。(消防士)
- ・やはり実際の現場ではどのような活動が行われるのか、詳細な部分（放管員との話の内容や、活動中に防護衣が破れたなど）があるとさらに良いと思います。全体的に満足です。(救命救急士)
- ・各地区で同研修等を開催していただければより多くの指導的立場の人材が増えると思う。(救命救急士)

2.2.4 実践研修（医療機関における対応）

(1)目的

「原子力災害時における医療従事者が被ばく傷病者に対して適切に対応できるように必要な知識と技術」について「いかに教えるか」を学び、指導技術を習得する。

(2)開催実績

	開催日	開催場所	参加人数 (人)
1	平成28年2月20日（土）～ 平成28年2月21日（日）	公益財団法人原子力安全研究協会 （東京都港区）	11
2	平成28年3月1日（火）～ 平成28年3月2日（水）	公益財団法人原子力安全研究協会 （東京都港区）	15
合計			26
1回あたりの平均参加人数			13

(3)プログラム（見直しの内容については第3章に記載）

実践研修(医療機関における対応) プログラム	
【1日目】	
13:00～13:40	選択講義：原子力災害時医療に対する医療機関の対応、 原子力災害時における対応事例（要約版）
13:40～13:50	休憩
13:50～14:00	開会：オリエンテーション
14:00～14:10	講義ロールプレイガイダンス
14:10～15:10	講義ロールプレイヤーインストラクションスキルチェック
15:10～15:20	休憩
15:20～15:50	実習ガイダンス
15:50～16:00	休憩
16:00～17:50	実習：原子力災害時医療実習①
17:50～18:00	休憩
18:00～18:20	グループディスカッション
18:20～18:30	理解度確認テスト
【2日目】	
9:30～11:20	実習：原子力災害時医療実習②
11:20～11:30	休憩
11:30～11:50	グループディスカッション
11:50～12:50	休憩
12:50～13:00	実習ロールプレイガイダンス
13:00～15:20	実習ロールプレイヤーインストラクションスキルチェック
15:20～15:30	休憩
15:30～15:50	振り返り
15:50～16:00	質疑応答、総評

(4)内容

講義ロールプレイ、実習及び実習ロールプレイについては、以下の通り。

講義ロールプレイ

スライドとテキストを用いて講義ロールプレイを行った。各講師役の指導技術について指導者が評価を行った後、指導者と受講者による質疑応答を行い、指導技術を高めるようにした。

主な項目は以下の通り。

- ・原子力災害時医療に対する医療機関の対応



講義ロールプレイ（実演）



講義ロールプレイ（フィードバック）

実習：原子力災害時医療対応実習

原子力災害時に医療機関での汚染を伴う傷病者への対応についての実習を行った。

主な実習項目は以下の通り。

- ・ガイダンス（医療チームでの役割分担の確認）
- ・情報収集
- ・汚染拡大防護措置（養生）
- ・装備の着装
- ・処置室での医療スタッフの配置、役割及び資機材等の確認
- ・医療対応
- ・対応後の医療スタッフの退出
- ・被ばく医療実習検証（各職種（主に医師、看護師、診療放射線技師）に分かれ、実習の振り返りを行った）



医療対応実習（処置室養生）



医療対応実習（装備の着装）



医療対応実習（除染処置）



医療対応実習（養生解除）

実習ロールプレイ

参加者は講師役と受講生役とに分かれ（交互に交代）、原子力災害時医療対応の実習を行った。実習はいくつかのシーンに区分し、その都度、講師役の指導技術について評価を行った。評価の結果は講師役に戻し、質疑応答を行い、指導技術を高めるようにした。



実習ロールプレイ（処置室の養生指導）



実習ロールプレイ（個人装備着装指導）



実習ロールプレイ（除染処置指導）

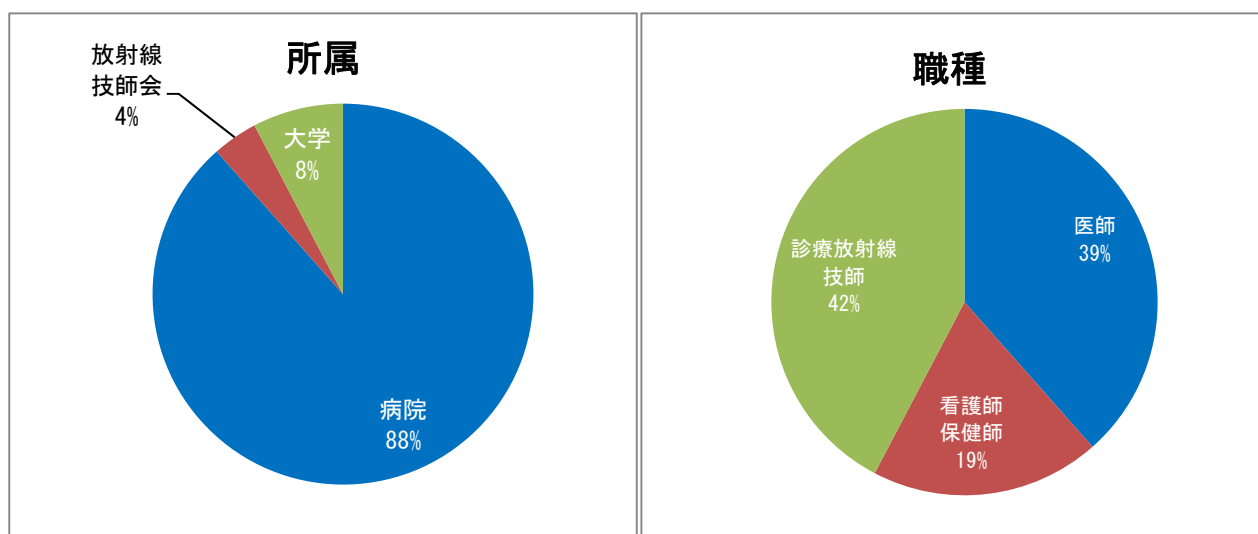


実習ロールプレイ（装備脱衣指導）

※本講師養成講座実施の撮影に当たっては、報告書に掲載することについて許可を得ている。

(5)実施結果

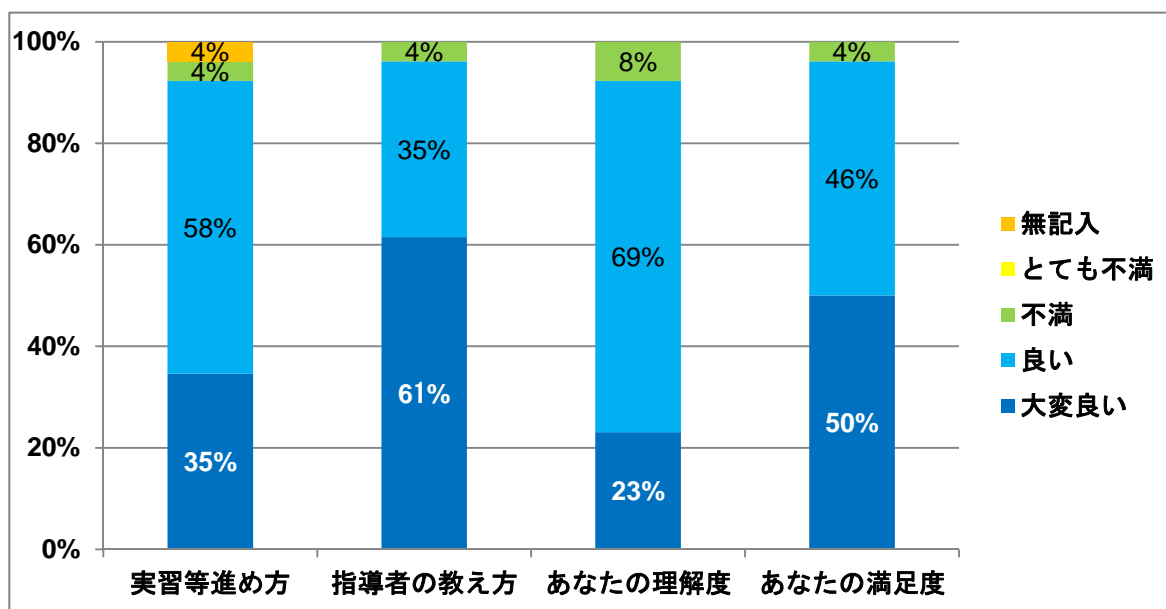
2回の開催で26人の参加があった。参加者の構成比率は、次の通り。



受講後に行ったアンケート調査の要約を次に示す（詳細は参考資料を参照）。

講義ロールプレイ

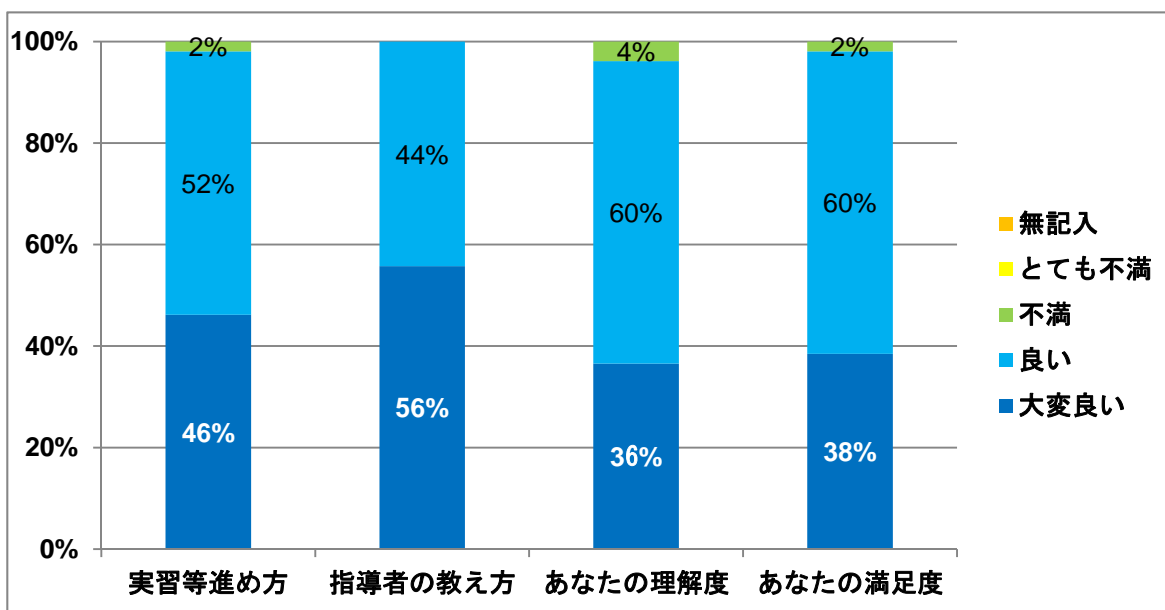
講義ロールプレイの①ロールプレイの進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



講義ロールプレイについてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。ただし、全ての項目について“不満”と回答した受講者からは「ネガティブになりすぎた」という意見があり、理解度について“不満”と回答した受講者からは「スライド内容は理解できても伝える技術が必要」との意見があった。

実習：原子力災害時医療対応実習

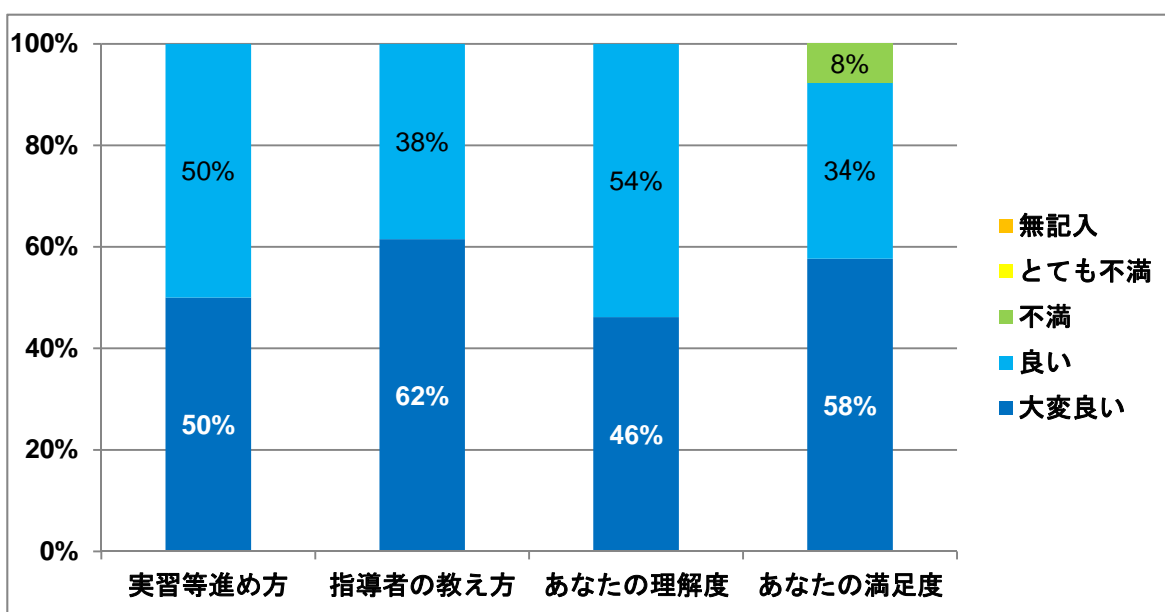
原子力災害時医療対応実習の①実習の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



原子力災害時医療対応実習についてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。

実習ロールプレイ

実習ロールプレイの①ロールプレイの進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。

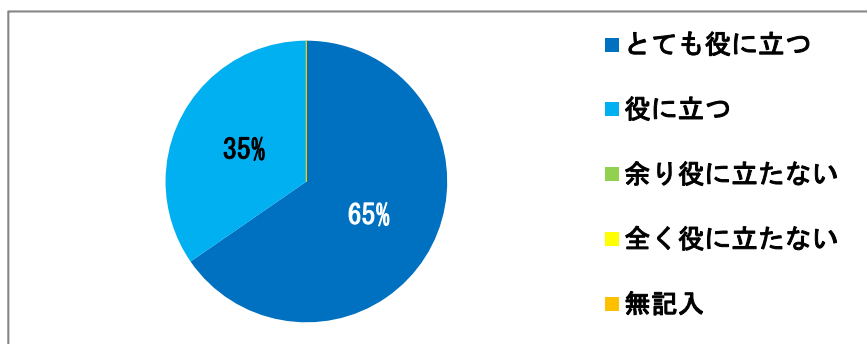


実習ロールプレイについては、いずれの項目も好意的な回答が得られたが、満足度で不満と回答した受講者から「指導するタイミングが難しい」、「時間の使い方、話術が必要」との意見があった。

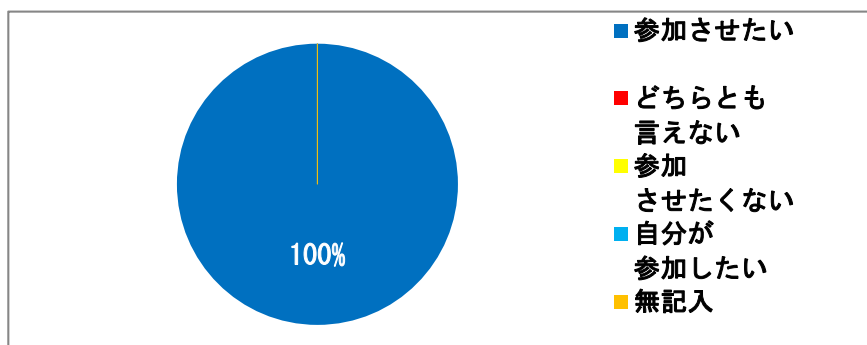
(6)本講師養成講座に関する意見

アンケートの結果を以下に示す；

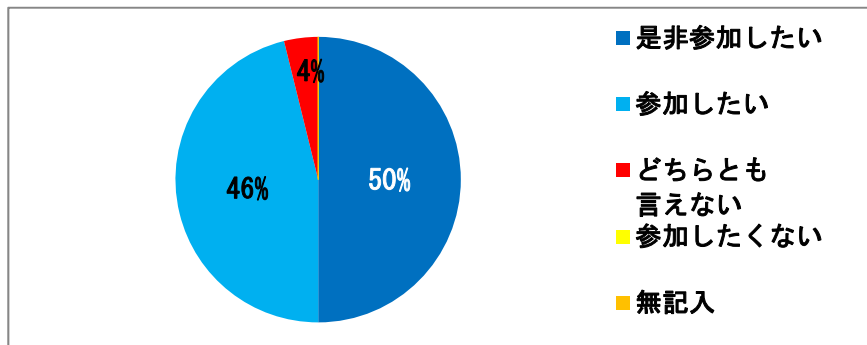
①今後、講師を行う際に役に立つ内容だったか？



②今後、自分の組織の人にも参加させたいか？



③その他の研修にも参加したいか？



【主な意見・要望等】

①今後の講師養成講座への要望・テーマ

- ・心の対応、風評対応（医師）
- ・退避所の運営や安定ヨウ素剤など（看護師／保健師）
- ・実習前役割確認（診療放射線技師）
- ・ゾーニング（看護師／保健師）
- ・実習前プレ演習（診療放射線技師）

②本コースについて

- ・指導するタイミングが難しい。（診療放射線技師）
- ・講義時間をもっと長くして欲しい。（看護師／保健師）
- ・時間の使い方、話術が必要（診療放射線技師）

③その他意見、要望及び疑問、質問

- ・プレイヤーの動きを思い出しながら講師としての動きについて勉強させていただきました。回数を重ねることで上達するかもとは思いました。（診療放射線技師）
- ・講師も1人では出来ないなのでチームを組んで勉強会を行っていききたい。（診療放射線技師）
- ・講師をするための知識の確立、ノウハウをしっかりとすべきだと痛感しました。また、今後講師をする際に多職種とコミュニケーションをとり、しっかりと準備もする必要性を感じました。（診療放射線技師）
- ・コース組立に参考になりました。ありがとうございました。（医師）
- ・自分が所属する病院でも、原子力災害時医療に関する知識を有する人が少ないので今後、是非自部署からも参加させたいと思いました。（診療放射線技師）
- ・自分はレベルが高かったです。講義のやり方など客観的にチェックして頂く機会というのはなかなかないので貴重で勉強になりました。今後の地域での研修や日常業務（RI 講習など）に役立てていきたいと思います。（診療放射線技師）
- ・院内で訓練を行う際に、大変参考になります。他施設の方に対し指導を行う点についてやはり不安があるのは否めません。このような講座は大変意義があると思います。大変勉強になりました。（診療放射線技師）

2.2.5 実践研修（安定ヨウ素剤等）

(1)目的

「安定ヨウ素剤の配布に関わる要員が適切な配布体制の構築や正確な安定ヨウ素剤に関する情報の提供を通して住民の安全と安心を得るために必要な知識と技術」について「いかに教えるか」を学び、指導技術を習得する。

(2)開催実績

	開催日	開催場所	参加人数 (人)
1	平成 28 年 3 月 3 日（木）	TKP 新橋ビジネスセンター (東京都港区)	7
2	平成 28 年 3 月 7 日（月）	公益財団法人原子力安全研究協会 (東京都港区)	24
合計			31
1 回あたりの平均参加人数			15.5

(3)プログラム（見直しの内容については第 3 章に記載）

実践研修(安定ヨウ素剤等) プログラム	
10:00 ~ 10:55	選択講義：安定ヨウ素剤の服用と効果、 安定ヨウ素剤の配布方法とその対応（要約版）
10:55 ~ 11:05	休憩
11:05 ~ 11:15	開会：オリエンテーション
11:15 ~ 11:25	講義ロールプレイガイダンス
11:25 ~ 12:15	講義ロールプレイヤーインストラクションスキルチェック
12:15 ~ 13:15	休憩
13:15 ~ 13:25	演習ガイダンス
13:25 ~ 14:15	演習：安定ヨウ素剤配布
14:15 ~ 14:25	休憩
14:25 ~ 14:40	グループディスカッション
14:40 ~ 14:50	理解度確認テスト
14:50 ~ 15:00	休憩
15:00 ~ 15:10	実習ロールプレイガイダンス
15:10 ~ 16:50	実習ロールプレイヤーインストラクションスキルチェック
16:50 ~ 17:00	休憩
17:00 ~ 17:20	振り返り
17:20 ~ 17:30	質疑応答、総評

(4)内容

講義ロールプレイ、実習及び実習ロールプレイについては、以下の通り。

講義ロールプレイ

スライドとテキストを用いて講義ロールプレイを行った。各講師役の指導技術について指導者が評価を行った後、指導者と受講者による質疑応答を行い、指導技術を高めるようにした。

主な項目は以下の通り。

- ・安定ヨウ素剤の服用と効果及び安定ヨウ素剤の配布方法とその対応



講義ロールプレイ（実演）



講義ロールプレイ（フィードバック）

演習：安定ヨウ素剤配布

安定ヨウ素剤配布について、事前配布は事前配布説明会における各ブース等での対応演習及び緊急配布は配布に関するケーススタディを実施し、ディスカッション等を通じ、安定ヨウ素剤配布時に必要な事項の確認を行った。



安定ヨウ素剤配布（指導者による個別指導 住民役と薬剤師）



安定ヨウ素剤配布（緊急配布のケーススタディ）

実習ロールプレイ

安定ヨウ素剤配布演習の内容について、シーンを区切り、講師役と受講生役を交替しながら指導者により指導技術の確認（評価）を実施した。確認の結果はフィードバック

にて講師役に返し、残った疑問については、その後の質疑応答にてフォローを行った。



実践ロールプレイ
(問診票のチェック役を指導)

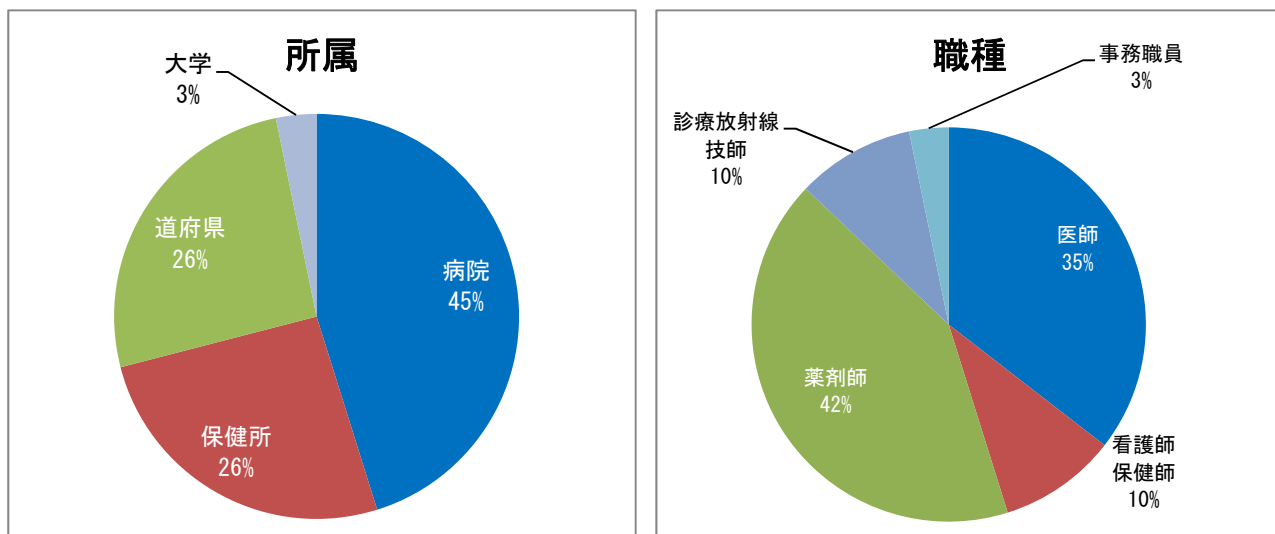


実践ロールプレイ
(住民対応する医師役に対する指導)

※本講師養成講座実施の撮影に当たっては、報告書に掲載することについて許可を得ている。

(5)実施結果

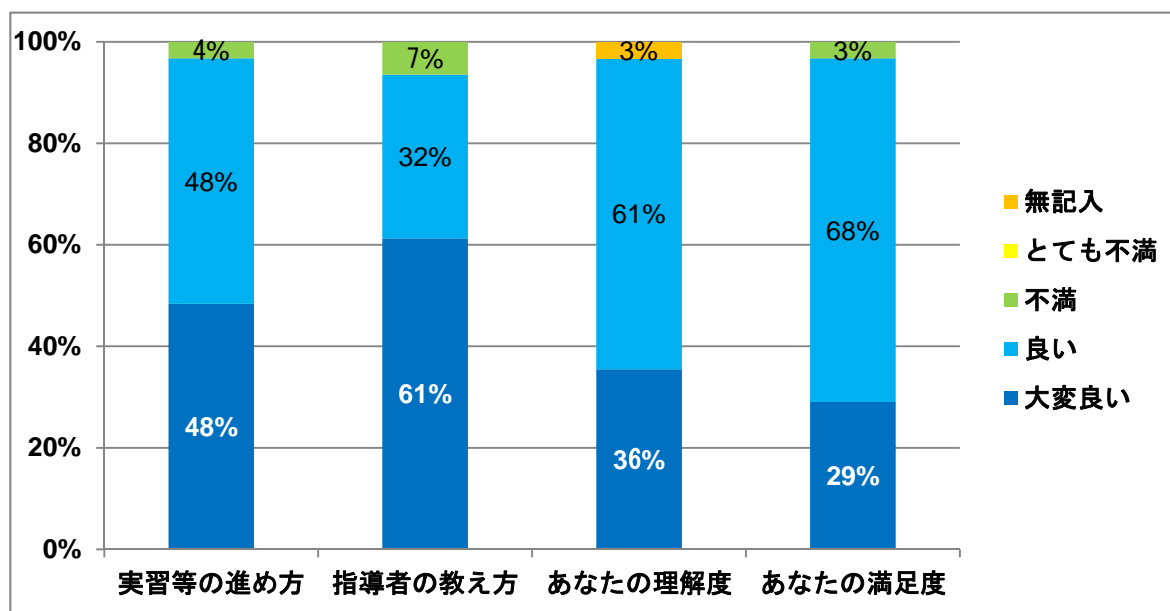
2回の開催で31人の参加があった。参加者の構成比率は、次の通り。



受講後に行ったアンケート調査については、次に示す通り（詳細は参考資料を参照）。

講義ロールプレイ

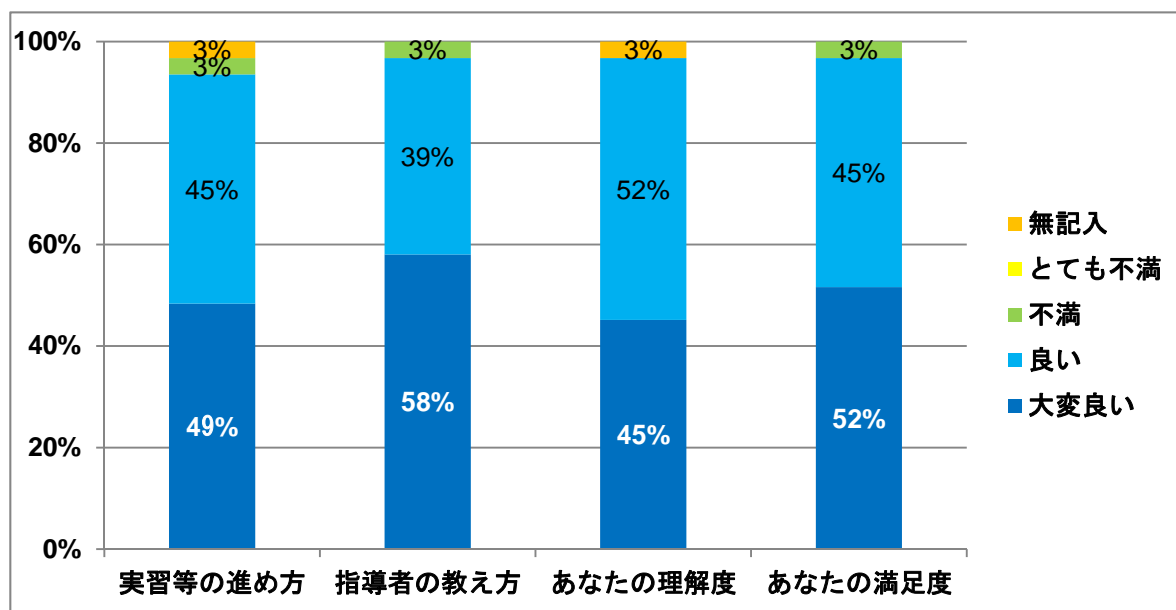
講義ロールプレイの①ロールプレイの進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



講義ロールプレイについてはいずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であった。ただし、進め方、理解度、満足度について“不満”と回答した受講者から「発表前に事前の確認時間が欲しかった」との意見があった。

演習：安定ヨウ素剤配布

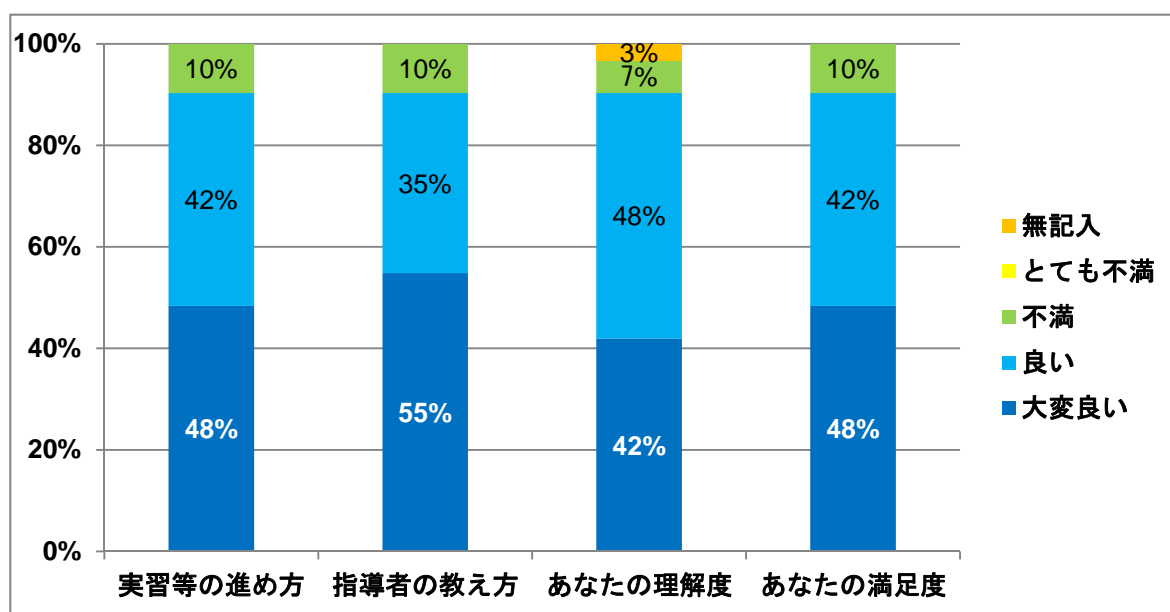
安定ヨウ素剤配布の①演習の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。



安定ヨウ素剤配布演習についてはいずれの項目も好意的な回答が得られたが、不満と回答した受講者からは「統一した解答を提示して欲しい」との意見があった。

実習ロールプレイ

実践ロールプレイの①演習の進め方、②指導者の教え方、③あなたの理解度、④あなたの満足度の4項目について調査を行った。

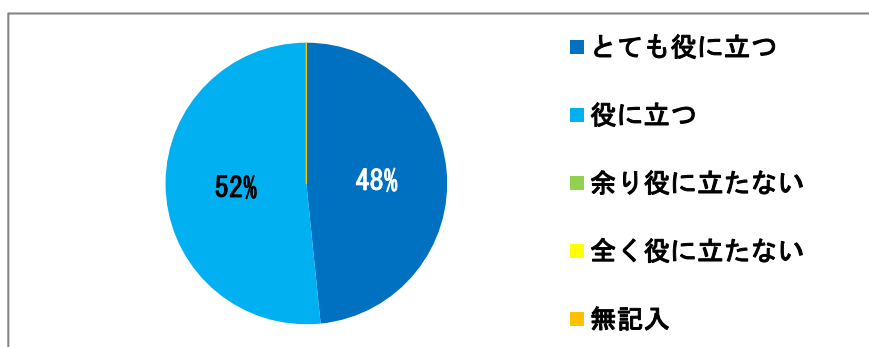


実践ロールプレイについては、いずれの項目も好意的な回答が9割以上を占める結果であったが、不満と回答した受講者からは「各事例に対する対応に苦慮し、円滑にロールプレイを進めらなかった」、「ロールプレイの途中で振り返りをしてもらわないと漫然と進み、今の状況が良いか悪いか分からなかった」など意見があった。

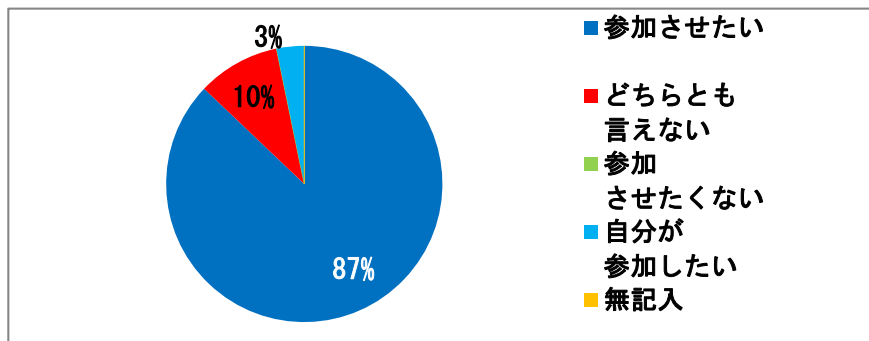
(6)本講師養成講座に関する意見

アンケートの結果を以下に示す；

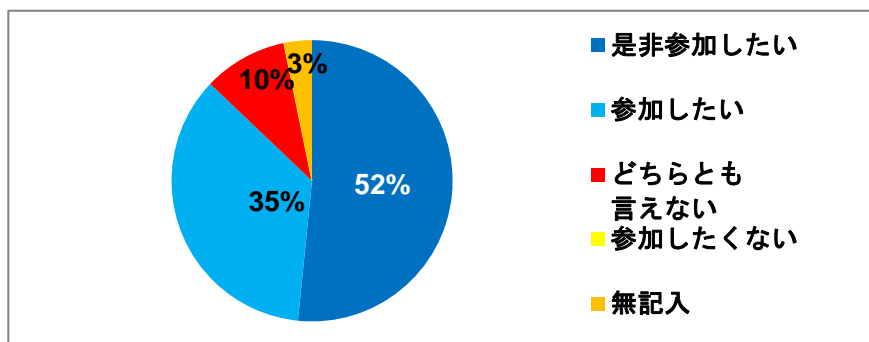
①今後、講師を行う際に役に立つ内容だったか？



②今後、自分の組織の人にも参加させたいか？



③その他の研修にも参加したいか？



【主な意見・要望等】

①今後の講師養成講座への要望・テーマ

- ・緊急配布（安定ヨウ素剤）（診療放射線技師）
- ・避難所での対応（自治体職員／医師）
- ・病院で備えるものの実際、コスト、チェック（医師）
- ・安定ヨウ素剤の緊急配布の方法（自治体職員／薬剤師）
- ・避難退域時検査について（自治体職員／薬剤師）
- ・放射線にかかわる専門的な勉強会も、やはり講師のスキルとして専門的な知識が不可欠だと思うので（医師）
- ・緊急被ばく医療で用いる薬剤について（薬剤師）
- ・心、風評の実例報告会など（医師）
- ・緊急配布のロールプレイ（診療放射線技師）
- ・避難してきた住民への対応（説明等）（自治体職員／医師）
- ・各地域であり得るパターン想定（薬剤師）
- ・グループワーク（自治体職員／薬剤師）・心の対応、風評対応（医師）

②本コースについて

- ・各事例に対する対応に苦慮し、円滑にロールプレイを進められませんでした。しかし、他の受講者の方の意見や、ロールプレイの受け答えの仕方は参考になりました。（自治体職員／薬剤師）
- ・12名がロールプレイをしているので、途中で振り返りしてもらわないと漫然と実習が進み、今の状況が良いか悪いかも分かってない。（医師）
- ・よく出来たコースだと思います。医学的（正式）な答えのチェックは必要かと思えます。（医師）
- ・最初に役割例、進め方を実演していただけたらありがたい。（自治体職員／薬剤師）
- ・実際やることで、理解が深まりました。（自治体職員／薬剤師）

③その他意見、要望及び疑問、質問

- ・大変有意義な研修ありがとうございました。地域に持ち帰り対策に努めたいと思います。（自治体職員／事務職）
- ・本県で事前配布になる際には、これを役に立たせてしっかり行えればと思いま

- す。(自治体職員／薬剤師)
- ・本日、安定ヨウ素剤等の実践研修は勉強になりました。地元ではまだまだ進んでいないので対策を検討して行くことが大切だと思いました。(薬剤師)
 - ・ロールプレイの評価をすぐに返却してもらうことで、自分自身、振り返ることができよかったですと思います。実際に全員がロールプレイできるような演習は多くないため貴重な研修だと思います。少ない事象を対象とするので、ロールプレイ（シミュレーション）を含んだ研修を今後もこのような研修を開催していただきたいと思います。(看護師／保健師)
 - ・よい研修を有難うございました。具体的に指摘（評価）していただけるのは、有難いです。(自治体職員／医師)
 - ・今回の研修はロールプレイが難しかったです。回数を重ねて練習することが必要と感じました。既に配布を行った自治体の意見を聞くことができたのも非常に参考になりました。(自治体職員／医師)
 - ・防災訓練のスケジュール調整関係の業務が多く「安定ヨウ素剤の事前配布研修」とピンポイント的な内容で、さらに具体的な住民対応想定ということで、大変勉強になりました。ありがとうございました。(自治体職員／薬剤師)
 - ・もう少し福島での実施例を参考に話を進めてもらえると良いかと思います。
(医師)
 - ・他県の事例を聞くことができて良かった。こういった研修に医師が参加することが地方ではないので、医師と一緒に受講できてとても参考になった。(自治体職員／薬剤師)
 - ・参加対象者の職種を考慮し、どの研修に参加すべきと入れて募集してはどうか。
(医師)

第3章 講師養成教材等の見直し

3.1 講師養成講座実施前見直し

今年度事業を実施するにあたり、規制庁では講師養成講座の体系について以下の通り見直しが図られた。本事業はそれに基づき以下の通りカリキュラム及び教材について見直しを行った。



平成26年度との主な違い

- ・「放射線基礎知識」を1つのコースとして新設
- ・「汚染検査・除染」を「避難退域時検査・簡易除染」に変更
- ・「救護所設置・運営」を削除



【講師養成講座カリキュラム】

(1) 選択制講義の実施

当該講師養成講座受講者を対象に選択制講義の受講希望を事前に募り、事前学習内容の知識の再確認、定着及び、その後に行う講義ロールプレイにおいて受講者の参考となるよう指導技法を教授し、講師養成講座の受講効果を高めた。

各講師養成講座の選択制講義の内容については表1の通り。

表1 各講師養成講座の選択制講義内容及び受講人数

講座名	題目	内容	受講人数
①基礎研修 放射線基礎知識	イントロダクション、放射線の基礎知識及び人体への影響と放射線防護(要約版)	放射線・放射能・放射性物質とは、被ばくと汚染、放射線の性質、放射線の単位、放射線の人体への影響等、講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	1 回目:15人中15人 2 回目:17人中15人
②実務研修 避難地域時検査・簡易検査	避難地域時検査及び簡易検査(要約版)	避難地域時検査及び簡易検査の目的、手順等、講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	1 回目:15人中15人 2 回目:22人中22人
③実務研修 汚染関係者等搬送	原子力災害時の搬送、原子力災害時における搬送事例(要約版)	原子力災害時における搬送機関の対応について、講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	1 回目:8人中8人 2 回目:12人中12人
④実務研修 医療機関における対応	原子力災害時医療に対する医療機関対応、原子力災害時における対応事例(要約版)	原子力災害時における医療機関の対応について、講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	1 回目:11人中11人 2 回目:15人中15人
⑤実務研修 安定ヨウ素剤等	安定ヨウ素剤の服用と果、安定ヨウ素剤の配布方法とその対応(要約版)	安定ヨウ素剤の予防服用とその効果、保管・服用方法、副作用等、また事配布と緊急配布に必要な正しい知識とその指導技法について講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	1 回目:7人中7人 2 回目:24人中24人

※選択制講義内容については、各研修テキストの講義の中から講義ロールプレイで受講者が講師役を行う際に担当するスライドを集約し、要約版とした。

(2) 講義ロールプレイの実施

講義手法の習熟を図るべく、当該講師養成講座の対象となる研修で行う講義の一部について、事前に該当箇所を割り振り、講師役として講義を行うことを伝えた上で、希望者が講師役を経験した。また、講師役以外の受講者についても、受講生役として講師役への指導等を通じ、講義手法の習熟を図った。

(3)実習ロールプレイ時間の拡張

受講者がロールプレイ形式で実際に講師役を経験する体験型学習に対する指導者の指摘・アドバイスについては、これまで一連のロールプレイ終了後に「フィードバック」の時間を設け、まとめて行っていたが、昨年度の受講者アンケート等から、学習場面ごとに、進行を止めて指導を行う方が学習効果が上がるのではないかとの意見が複数あったことを踏まえ、実習ロールプレイの時間を拡張し、フィードバックについては、実習場面ごとに行った。

(4)振り返り時間の追加

講師養成講座で得た知識、技術の定着を図るべく、各講師養成講座の最後に、「振り返り」の時間を設け、指導者と受講者との相互意見交換による講師養成講座全体の振り返りを行った。

(5)研修期間の短縮

今年度から独立した「①基礎研修 放射線基礎知識」を1日に設定し、「⑤実践研修 安定ヨウ素剤等」については、規制庁が改訂した原子力災害時医療対応研修テキストの内容から1日コースに短縮した。

修正を行ったカリキュラムは以下の通り。

①基礎研修 放射線基礎知識

課 目		内 容	時間 (分)
講義 【選択制】	イントロダクション、放射線の基礎知識及び人体への影響と放射線防護(要約版)	放射線・放射能・放射性物質とは、被ばくと汚染、放射線の性質、放射線の単位、放射線の人体への影響等、講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	50
講義ロールプレイガイダンス		講義ロールプレイの進め方について	10
講義ロールプレイ① ーインストラクションスキルチェックー		講義内容を正しく理解し、指導ができるかどうかをロールプレイ形式により講義手法を習得する(なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につく)	50
講義ロールプレイ② ーインストラクションスキルチェックー		講義内容を正しく理解し、指導ができるかどうかをロールプレイ形式により行い、講義手法を習得する(なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につく)	50
実習	医療活動に必要な放射線測定	原子力事故の種類と放射線管理上留意すべき事項(外部被ばく、内部被ばく、核種)を認識したうえで、個人線量計、GMサーベイメータ等の測定器の取扱いについて、正しい知識及び必要に応じた指導技法を習得する	50
実習ロールプレイガイダンス		実習ロールプレイの進め方について	10
実習ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		個人線量計、GMサーベイメータ等の測定器の取扱いについて正しい指導ができるかどうか実践する(なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につくこととし、指導・評価については実習場面ごとに実施する)	80
振り返り		指導者がチェックリストに従って受講者の指導能力を評価するとともに講師養成講座全体の振り返りを行う	20

②実践研修 避難退域時検査・簡易除染

<1日目>

課 目		内 容	時間 (分)
講義 【選択制】	避難退域時検査 及び簡易除染 (要約版)	避難退域時検査及び簡易除染の目的、手順等、 講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識 の再確認を行う	40
講義ロールプレイガイダンス		講義ロールプレイの進め方について	10
講義ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		講義内容を正しく理解し、指導ができるかどうか をロールプレイ形式により行い、講義手法を 習得する（なお、講師役と受講生役は入れ替わり で各々の役割につく）	60
実習	避難退域時検査 実習	測定者役と被検者役を交替で実施することによ り、被検者（住民等）側の身体的、精神的負担 に配慮した避難退域時検査について、指導に必 要となる正しい知識、技術及び指導技法を習得 する	70
講義・実習	原子力災害時の 簡易除染	住民等の汚染に対する簡易除染の目的、方法を 知ることにより指導に必要な正しい知識及 び指導技法を習得する	50
グループディスカッション		講義、実習毎の指導ポイント等について振り返 り、指導に必要な正しい知識、技術及び指 導技法を習得する	20

<2日目>

実習ロールプレイガイダンス		実習ロールプレイの進め方について	10
実習ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		避難住民等に対する避難退域時検査、簡易除染 について指導を実践する（なお、講師役と受講 生役は入れ替わりで各々の役割につくことと し、指導・評価については実習場面ごとに実施 する）	120
振り返り		指導者がチェックリストに従って受講者の指導 能力を評価するとともに講師養成講座全体の振 り返りを行う	20

③実践研修 汚染傷病者等搬送

<1日目>

課 目		内 容	時間 (分)
講義 【選択制】	原子力災害時の搬送、原子力災害時における搬送事例（要約版）	原子力災害時における搬送機関の対応について、講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	40
講義ロールプレイガイダンス		講義ロールプレイの進め方について	10
講義ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		講義内容を正しく理解し、指導ができるかどうかをロールプレイ形式により行い、講義手法を習得する（なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につく）	50
実習	空間線量率の測定	空間線量率の測定について指導に必要となる正しい知識及び指導技法を習得する	20
搬送実習ガイダンス		搬送実習の進め方について	30
実習	搬送実習	複数の救急車を用いて、限られた空間での養生、車内対応の実施及び指導を行う。また、隊員の装備の脱着についても実施及び指導を行う。	110
グループディスカッション		講義、実習毎の指導ポイント等について振り返り、指導に必要となる正しい知識、技術及び指導技法を習得する	20

<2日目>

実習ロールプレイガイダンス		実習ロールプレイの進め方について	10
実習ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		搬送実習の内容（車内養生、車内対応、隊員の服装の脱着等）を数ブロックに分け、割り当てられたブロックにおいて指導を実践する（なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につくこととし、指導・評価については実習場面ごとに実施する）	120
振り返り		指導者がチェックリストに従って受講者の指導能力を評価するとともに講師養成講座全体の振り返りを行う	20

④実践研修 医療機関における対応

<1日目>

課 目		内 容	時間 (分)
講義 【選択制】	原子力災害時医療に対する医療機関の対応、原子力災害時における対応事例 (要約版)	原子力災害時における医療機関の対応について、講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	40
講義ロールプレイガイダンス		講義ロールプレイの進め方について	10
講義ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		講義内容を正しく理解し、指導ができるかどうかをロールプレイ形式により行い、講義手法を習得する（なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につく）	60
実習ガイダンス		原子力災害時医療実習の進め方について	30
実習	原子力災害時医療 実習①	医療機関における被ばく傷病者への対応について、講師役と受講生役を交替して実施することにより、受講生の視点に配慮し、自ら考え、到達する過程を重視した指導技法を習得する	110
グループディスカッション		職種毎の指導ポイント等について、実習の振り返り及び講師等の講評を行い、指導に必要な正しい知識、技術及び指導技法を習得する	20

<2日目>

実習	原子力災害時医療 実習②	医療機関における被ばく傷病者への対応について、講師役と受講生役を交替して実施することにより、受講生の視点に配慮し、自ら考え、到達する過程を重視した指導技法を習得する	110
グループディスカッション		職種毎の指導ポイント等について、実習の振り返り及び講師等の講評を行い、指導に必要な正しい知識、技術及び指導技法を習得する	20
実習ロールプレイガイダンス		実習ロールプレイの進め方について	20
実習ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		実習の正しい指導ができるかどうかを実践する（なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につくこととし、指導・評価については実習場面ごとに実施する）	140
振り返り		指導者がチェックリストに従って受講者の指導能力を評価するとともに講師養成講座全体の振り返りを行う	20

⑤実践研修 安定ヨウ素剤等

課 目		内 容	時間 (分)
講義 【選択制】	安定ヨウ素剤の服用と効果、安定ヨウ素剤の配布方法とその対応（要約版）	安定ヨウ素剤の予防服用とその効果、保管・服用方法、副作用等、また事前配布と緊急配布に必要な正しい知識とその指導技法について講義ロールプレイの受講効果を高めるために知識の再確認を行う	55
講義ロールプレイガイダンス		講義ロールプレイの進め方について	10
講義ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		講義内容を正しく理解し、指導ができるかどうかをロールプレイ形式により行い、講義手法を習得する（なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につく）	50
演習ガイダンス		演習の進め方について	10
演習	安定ヨウ素剤配布	事前配布のロールプレイ及び緊急配布のケーススタディを実施し、ディスカッション等を通じ、自ら考え、到達する過程を重視した指導技法を習得する	50
グループディスカッション		職種毎の指導ポイント等について、実習時の映像等を用いながら実習の振り返り及び講師等の講評を行い、指導に必要な正しい知識、技術及び指導技法を習得する	15
実習ロールプレイガイダンス		実践ロールプレイの進め方について	10
実習ロールプレイ ーインストラクションスキルチェックー		安定ヨウ素剤の予防服用とその効果、保管・服用方法、副作用等についての説明、チェックリストの確認、問診・受け渡しについて指導を実践する（なお、講師役と受講生役は入れ替わりで各々の役割につくこととし、指導・評価については実習場面ごとに実施する）	100
振り返り		指導者がチェックリストに従って受講者の指導能力を評価するとともに講師養成講座全体の振り返りを行う	20

【教材】

- ・最新の原子力災害対策指針等の内容を反映するとともに、規制庁が改訂した原子力災害時医療対応研修テキストに基づく内容とした。
- ・参考資料として原子力災害対策指針や原子力災害時における避難退域時検査及び簡易除染マニュアルなどの原子力災害対策に係る最新情報を用意した。

3.2 指導者打合せ会

次年度事業のための準備として、各講師養成講座の最終回（2回目）には、当該研修の指導者以外の関係指導者を招集し、実際に講師養成講座の一部を視察したのち、講師養成講座終了後に打合せ会を行い、課題の抽出とその対応について検討を行った。

主な意見は以下の通り。

3.2.1 基礎研修（放射線基礎知識）

①カリキュラム

- ・ 選択講義と実習は、ビデオ撮影した今年の録画を見てもらい、ロールプレイだけに絞る方法もある。

②内容・進め方

- ・ 講義ロールプレイは事前に受講者に知らせているが、実習ロールプレイも事前に知らせておく方が良い。
- ・ 講義ロールプレイの割り振りは、受講者の職種に適した内容でないものもあった。ただし、本講師養成講座でトライしてみることも必要かもしれない。
- ・ 講義ロールプレイで誰を対象として講義するかの内容設定は良かった。
- ・ 実習ロールプレイでは、受講者に質問してもらうようにする。
- ・ 1回目は早く進んだが、2回目はほぼ時間どおりだった。
- ・ 振り返りで、良好事例のビデオを流すことも検討する。

③教材

- ・ 講師が地元に戻って実習を行うときの資機材はどうすべきか。校正線源を技師会から借りたり、あるいは文部科学省事業で行っていた「はかるくん」の資機材を借りられないか確認する。
- ・ 遮へい材も同様に用意するのは難しい。プロテクターを重ねたり、ラディバリヤーを検討する。

④その他

- ・ 複数の講師養成講座を受講する人がいるので、上期に基礎研修を行う等の工夫が必要。
- ・ ロールプレイの評価は、今年度から評価項目が示されたのは良いが、さらに各項目について5段階評価もあれば良い。

3.2.2 実践研修（避難退域時検査・簡易除染）

①カリキュラム

- ・講義ロールプレイは、1枚だけで説明するのは難しいと思う。早く終わるケースが多く、2枚あればちょうど5分程度ではないか。
- ・選択講義、オリエンテーションの後、ガイダンス、ロールプレイではなく、一度作戦タイムを設けてからロールプレイを始めてはどうか。
- ・講義のテクニックに不安を感じていると思う。オリエンテーションで学んだ技法を受け、1枚目はフィードバック、2枚目はここを強調するなどテーマを与えてみるのも一つではないか。
- ・講義内容に関する質問が多かった。もう少しノウハウの部分を伝えた方が自信を持てる。

②内容・進め方

- ・簡易除染のロールプレイにて、役割を増やすため、脱衣のシミュレーションを入れてみたが、実際に組み込む場合には、スタッフを脱がせる実習または汚染した部分だけ養生する方法であればデモンストレーションでもよいのではないか。
- ・デモンストレーションでは、厳密に考えてしまう方とそうでない方が出てしまい、省略する部分を説明しておかないと不十分と取られてしまうことがある。
- ・服を脱ぐ際に、顔が汚染することを防ぐ方法として、洋服店で女性が試着する際に化粧が洋服に付かないようフェイスカバーを用いており、同じ考え方が出来るのではないか。
- ・靴の汚染が取れない場合、多くの避難住民を履き替えさせることは難しい。ビニール袋を被せるという案もあるが、滑ってしまい危険である。カーペットの掃除で用いる粘着ロールを使ってそれ以上取れなければ、他に移る可能性は低くなる。
- ・オリエンテーションにおいて、成人教育と小中学校の教育は違うということを伝え、必要なテクニックを何点か示すとよい。
- ・「原子力災害時における避難退域時検査及び除染マニュアル」にて決められていないことへの回答の示し方を用意した方がよい。

③教材

- ・避難退域時検査の講義にて、指定箇所検査は指示値 6,000cpm の意味や脱衣の説明がないため、口頭では説明しているが教材に「原子力災害時における避難退域時検

査及び除染マニュアル」の該当ページを示した方が良い。

- ・追加資料として避難退域時検査場所のレイアウト例と検査フローを足したことによりイメージを持ちやすくなったのではないか。

④その他

- ・簡易除染の実習1と実習2の違いが受講者に理解できていなかったのではないか。何回か説明を試みたが、1日目の実習時にもう少しメリハリを付けて説明を行った方がよかった。
- ・同じ会場の前後でロールプレイを行うと、反対側を気にして大きな声で説明することを躊躇していたように思うが、部屋を分けることも一つの方法である。ただし、その場合、1人に対し、複数の指導者による評価結果を返せるようにする必要がある。
- ・同じ部屋で2人が実施すると、相手側の説明に誘導される心配があるため、内容をずらしたり、避難退域時検査と簡易除染をペアにして全く違う内容とする方法もある。
- ・講師役以外は受講生役であることを強調しないと、受講に集中しないケースがある。例えば、近隣の医学部生にボランティアを募り、受講してもらうのも1つである。
- ・色々コメントする受講生役を紛れ込ませると、その対応を確認することが出来る。

3.2.3 実践研修（汚染傷病者等搬送）

①カリキュラム

- ・講義ロールプレイについて、事前に担当箇所を付与していたのが、事前学習となっていたのではないか。
- ・講義ロールプレイについて、話すだけで終わらないよう、質問を用意しておくとういのではないか。
- ・講義ロールプレイでは、最後に質問を受けるのか、都度受けるのかを決めて冒頭に宣言してもらうとよい。またテキストにはボリュームの違いがあるため、短いパートは質問を複数用意してはどうか。
- ・講義ロールプレイでは変わった質問も必要だと思うが、受講者同士では言いづらいと思うため、そこは指導者が行うしかない。
- ・ロールプレイという言葉が馴染まない可能性があり、指導実習などとしてはどうか。

- ・与えられたテーマについて、自身がスライドを作成すると勉強になるが、テキストが決まっているのであれば、いかに説明をするのか考えてきてもらうようにしてはどうか。

②内容・進め方

- ・質疑応答に出てきた質問が、通常の研修のように内容に関するものが多かった。講師養成講座であることから、指導方法に関するものに促すようにするとよい。
- ・講師のゼッケンに加え、受講者や放管員もあると分かりやすいのではないか。
- ・実習ロールプレイにおいて、リーダー役を与えた受講者が内容をよく知っていることと先へ先へと進めてしまうことがあるため、講師役に適宜中断させる必要がある。ただし、初めての講師役では難しいため、指導者が止めることも必要である。

③教材

- ・講師養成講座テキストにおいて、スライド毎に押さえないポイントを示すと説明がしやすくなるのではないか。
- ・METHANE という言葉を知らない搬送関係者もいるため、ACLS の「いざききかんり※」が日本語で示されており、わかりやすいのではないか。
※い：いつ、どんな／ざ：座標（場所）／き：危険な状況、危険物／き：緊急機関、応援要請／かん：患者数、重傷者数／り：利用経路、アクセス

④その他

- ・オリエンテーションの指導技法は、事前に学習してもらった方がよいのではないか。ICLS コースでは、事前学習用に指導技法に関するビデオが用意されている。
- ・評価シートは、4 段階で評価できるとよい。さらに点数が 1 番高かった受講者として発表を行ってはどうか。
- ・冬は日が落ちるのが早く、寒くなってしまうため、屋外で行う実習は早い時間に行ってはどうか。
- ・屋外で行う実習は講義ロールプレイと連動していないため、実習と順番が入れ替わっても可能ではないか。

3.2.4 実践研修（医療機関における対応）

①カリキュラム

- ・学会で発表経験がある人は 2～3 枚を 10 分程度というのに慣れているため、講義

ロールプレイを1枚だけで説明してもらうのは難しい。

- ・ 講義ロールプレイについて、スライド1枚だけでは指導技法を十分に使えないケースもある。双方向性を持たせたり、受講者へのフィードバックをさせるとすると、スモールグループとした方がよい。
- ・ 講義ロールプレイについて、1枚のスライドでは工夫がしづらい。2人組で一通り説明をし、相互評価してもらうなどもある。相手に内容が伝わっているかを確認することが重要であり、4人程度で意見を言い合うというのものもある。評価を必ずしも指導者がやる必要はないため、少人数に分けるとよいが、受講者のレベルが厳しいと難しいかも知れない。例えば、4人程度のグループに対し、指導者がファシリテーターとして入れば可能ではないか。
- ・ 受講者自身が何をしているかぼやけている部分があるため、講義ロールプレイの目的を明確に示すとよい。
- ・ 選択講義は、今後、受講者が説明する立場になる可能性があるため、理解をしてもらう必要がある。

②内容・進め方

- ・ 実習ロールプレイは14項目を15人で分割しているため、指導体験としての満足度をどう持ってもらうか。また、指導以外の時間をどう使ってもらうかを考えておくとうよい。
- ・ インストラクションのスキルをチェックするためには、誰が教える人で、誰が教えられる人かをより明確にした方がよい。
- ・ 受講者自身が事前に指導計画を立て、それに従ってロールプレイを進めることで漏れが少なくなるのではないか。
- ・ 指導をするにあたり、指導計画書を作ってから望めるとよい。

③教材

特になし

④その他

- ・ 複数の職種が、講座の最後になってコミュニケーションを取れるようになっていたが、もったいないため1日目の実習から積極的に交流が出来るとうよい。
- ・ 実習では、どのようなタイプでもよいのでモニタ類が必要である。
- ・ 何も整っていない機関がいざ研修を行おうと思ってもできないため、事務局が何を

しているかを知っておくとよいのでは。

- ・受講者に事務職がないが、事務職や管理職と協力する体制作りが必要である。

3.2.5 実践研修（安定ヨウ素剤等）

①カリキュラム

- ・受講者も予習ができていたせいか上手く講義を行っていた。受講者のレベルにもよるが、受講者が評価して皆でディスカッションするのも良い。
- ・受講者の人数にもよるが、複数のスライドを使って長く話してもらうなど工夫すると良い。
- ・受講者の選択講義出席率は今のところ 100%である。講義の講師を行う上で、概略やポイントを押さえる意味でも継続した方が良い。

②内容・進め方

- ・指導ポイント等徹底的に教えるなら 1 日では足りない。
- ・実習ロールプレイにおいて、1 人の割当て時間が 7 分は短いと感じた。
- ・実習ロールプレイの中で住民役と対応者に対して講師役が介入するタイミングが難しく、またそれを指導するのも難しいと感じた。
- ・実習ロールプレイにおいて、住民役が話を拗らせる設定は時間が長くなるだけであったことから、なるべく説明に納得するような設定に変えた方が良い。
- ・講師役はブースごとの対応にのみ指導しているケースが多く、全体的に目配せしてもらえよう、他方のブースに意見を聞くなど必要。
- ・講師役→受講生役や受講生役→講師役では、できる限り直前の交代がないように割当てて必要がある。

③教材

- ・1 回目から演習ガイダンスの資料が追加されて良かった。
- ・演習、実習ロールプレイいずれも方針（設定）を明確にさせると良い。
- ・演習における緊急配布のケーススタディでは、意見を聞き出す形に改善が必要。

④その他

- ・ロールプレイでは受講者全員から意見を聞く（確認する）と良い。
- ・受講者に診療放射線技師がいたが直接的な役割はないと思われることから対象から外した方が良い。

3.3 次年度事業に向けた見直し

今年度実施した受講者アンケートの結果と各講師養成講座の最終回（2回目）に実施した指導者打合せ会で出た意見を基に以下の通り次年度以降の事業実施に向け見直しを図ることとする。

○カリキュラム

- ・指導者及び受講者から共通の意見として講義、実習共にロールプレイを実施する前に各自が与えられた役割について確認する時間があった方が良いとのことから、ロールプレイガイダンスの時間の拡充を図る。
- ・指導者から講義ロールプレイにおいて話すだけで終わらないよう、質問を用意しておくとの意見があり、事前に講義内容に関する質問を用意し、受講生役に質問させるなど、講師役の指導者としての資質向上を図る。
- ・指導者から、次年度以降の選択講義と実習については今年度撮影したビデオを観てもらいロールプレイだけに絞る方法もあるのではないかという意見もあったが、他方、別の指導者からは、選択講義や実習についても受講者が概略やポイントを押さえる意味でも継続した方が良いとの意見もあったため選択講義は継続して実施することとし、教授方法については今後の検討課題とする。
- ・今年度は実習後のグループディスカッションにおいて指導者にファシリテーターとしてグループに入ってもらい効率的なグループディスカッションが行えるよう進めてきたが、受講者から実習後のグループディスカッションの時間をもっととらないと話が深くないとの意見があった。次年度以降はより効果的な研修になるようカリキュラムを検討する。

上記の意見を踏まえ、次年度は以下の講師養成講座のカリキュラムを修正し、実施する。

[実践研修 医療機関における対応]

1) 全体カリキュラムについて

- ・実習は、1回とする。（110分×2回→110分×1回）
- ・実習ロールプレイを2回とする。（140分×1回→80分×2回）
- ・グループディスカッションの時間を拡張する。（20分×2回→40分

(実習後) × 1回、60分(実習ロールプレイ後) × 1回)

2) 実習について

- ・テキスト内の「想定する被ばく傷病者の容態」にある被ばく傷病者A(自力歩行可能、手のひらに傷)については実習を省略

※被ばく傷病者Aについては、実習後のグループディスカッションにて、対応を確認

3) 実習ロールプレイについて

- ・テキスト掲載シナリオを前半と後半に分割
- ・受講者は、実習ロールプレイ2回のうち、いずれか1回は、講師役(従来は、場面ごとに交代をしていたが、極力、一連の流れで受講者が講師役を行えるよう配慮する。ただし、参加者多数の職種については、一定場面ごとの交代も考慮する)。

○教材

- ・指導者及び受講者から共通の意見として実習や実習ロールプレイの方針(設定)を明確にすると良いとの意見があったことから、ガイダンス資料に方針を盛り込む。
- ・理解度確認テストについて、設問8、9が著しく解答率が低い結果となったが、解析した結果、設問が不用意に不正解へ導く恐れのある文章であることがわかったことから、次年度以降に設問を見直すこととする。
- ・指導者から講義、実習共にロールプレイで講師役を評価する際に段階を設けて評価してはどうかと意見があったことから、次年度は段階を設けた評価シートの作成について検討する。
- ・指導者から避難退域時検査の講義にて、指定箇所検査における指示値 6,000cpm の意味や脱衣の説明がないため、口頭では説明しているが教材に「原子力災害時における避難退域時検査及び除染マニュアル」の該当ページを示した方が良いとの意見があった。

上記の意見を踏まえ、次年度は以下の講師養成講座の教材を修正する。

[実践研修 避難退域時検査・簡易除染]

- 1) 指定箇所検査における指示値 6,000cpm の説明を追加する。

- ・OIL4 の初期設定値に相当する 40,000cpm である線源を、時定数 3 秒、移動速度毎秒 10cm、表面からの高さ 10cm で計測した場合、GM サーベイメータの指示値は 6,000cpm 増加する。

2) 簡易除染の講義実習において脱衣の指導を追加する。

○指導方法

- ・受講者から実習ロールプレイの際、途中で振り返りをしないと漫然と進み、今の状況が良いのか悪いのか分からないという意見があった。特に実践研修（安定ヨウ素剤等）の実習ロールプレイにおける住民役と関係者役の一連の流れについて多くの意見があったが、全講師養成講座共通でポイント指導は必要と考えることから、次年度以降は実習ロールプレイの進行中でも気づいた時は止めて指導することなど、受講者にポイントを押さえた指導技術の教授を図る。
- ・指導者から講義ロールプレイのように実習や実習ロールプレイの役割分担についても事前に受講者に知らせた方が良いとの意見があり、また受講者からも実習ロールプレイを理解するのに時間がかかり実施時に戸惑ったという意見もあった。しかしながら、実習や実習ロールプレイについて役割を事前に伝えると受講者は割り当てられた部分のみ事前に学習し受講することも危惧される。そのため、役割は伏せたまま分担内容を案として知らせるなど事前の案内方法について検討し、受講効果の向上を図る。
- ・指導者から振り返りの際、ロールプレイでの良好事例をビデオで流してはどうかという意見があった。受講者のフィードバックに効果的であることから教授方法等含め今後の検討課題とする。

○その他

- ・指導者から参加対象者の職種を考慮すべきと意見があった。本講師養成講座は各コースとも多職種の関係者を指導すべき内容が含まれていることもあり、関係道府県には幅広い職種の関係者を対象とし推薦を依頼していたが、今年度の事例で言えば、実践研修（安定ヨウ素剤等）に診療放射線技師が受講するなど、有事の際に対応要員として該当しないと思われる受講者もいた。積極的に取り組む姿勢は重要であるが、有事の際に対応要員として従事する関係者が講師となり指導していく方が効率よく効果的であると考えられることから、次年度以降は各講師養成講座についてあ

る程度職種を絞ることを検討する。

- ・指導者から複数の講座を受講する人がいるため、上期に基礎研修を行う等の工夫が必要であると意見があった。今後、受講者が原子力災害時医療対応研修の講師を行うに当たり、本講師養成講座の体系を理解しておくことは重要であり、必須である。次年度以降は、体系を意識した開催スケジュールを組み立てるよう検討する。
- ・指導者から実習ロールプレイにおいて同じ会場で複数名が各々のグループを指導していく方法では反対側の講師役に指導方法を誘導される心配があるため、部屋を分けることや指導の順を各グループで変えるなどの工夫が必要との意見があった。別々に会場を設定することも有効だが、指導者による評価のバラツキや参加者の移動に係る負担の軽減につながることを考慮すると可能な限り同じ会場での進行が望ましいと思われる。よって、実習ロールプレイ実施の際は、他の講師役に誘導されないような工夫を検討する。

第4章 講師ネットワークの構築

4.1 概要

昨年度事業も含め、講師養成講座の受講を終えた講師候補の間で情報交換、共有が円滑に行えるようなネットワークを構築した。また、実効のあるネットワークの構築が行えるよう、講師候補が集う講師交流会を2回開催した。

ここでの講師ネットワークとは、講師養成講座を修了した者の所属や連絡先についての名簿を作成・更新することにより、立地道府県等において自治体や原子力災害拠点病院等より要望があった場合に適切な講師の紹介を行える体制をいう。

4.2 前年度受講者アンケート調査の実施

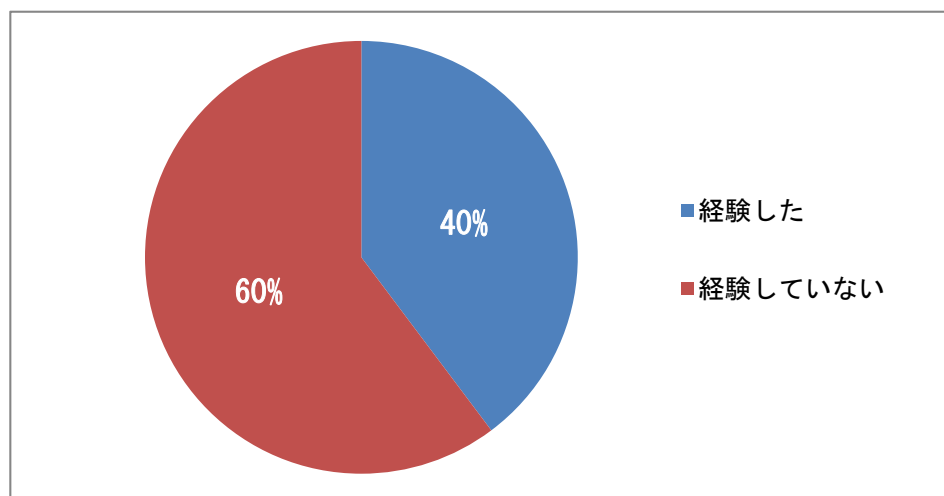
講師候補のネットワークを構築するため、昨年度、講師養成講座の受講を終えた講師候補の現在の連絡先等についてアンケート調査を実施し、連絡先の更新を行った。あわせて、受講後に原子力災害時医療に関する研修の講師等の経験や今年度の講師養成講座の受講について調査した。

受講後に原子力災害時医療に関する研修の講師等の経験及び講師養成講座の受講についての調査結果は以下の通り。

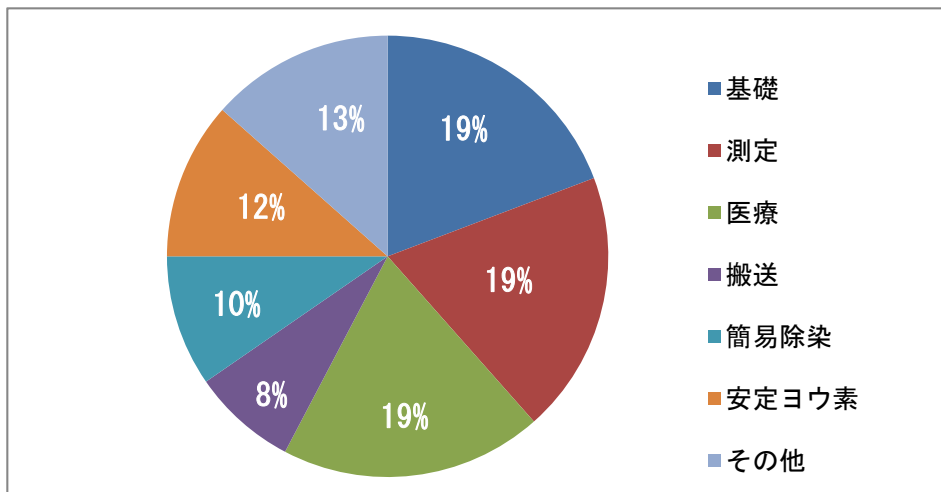
(1) 「講師養成講座」受講後について

①受講後の原子力災害時医療に関する研修等の講師等の経験について

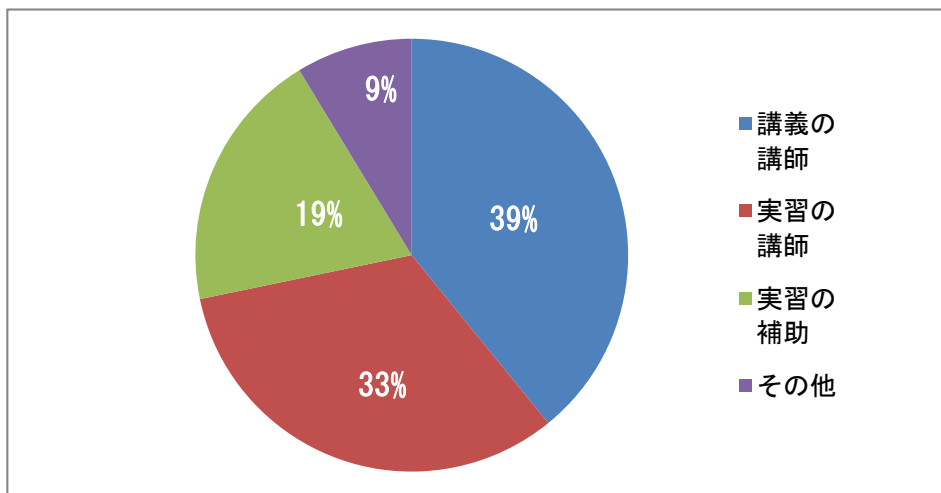
(経験した 31名 経験していない 47名)



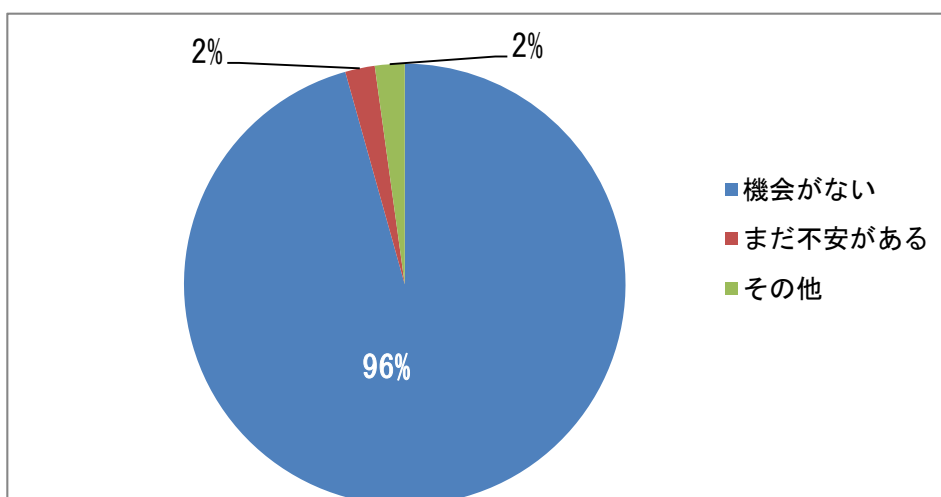
②経験した講師等の内容（経験者 31 名より複数回答）



③研修等での立場（経験者 31 名より複数回答あり）

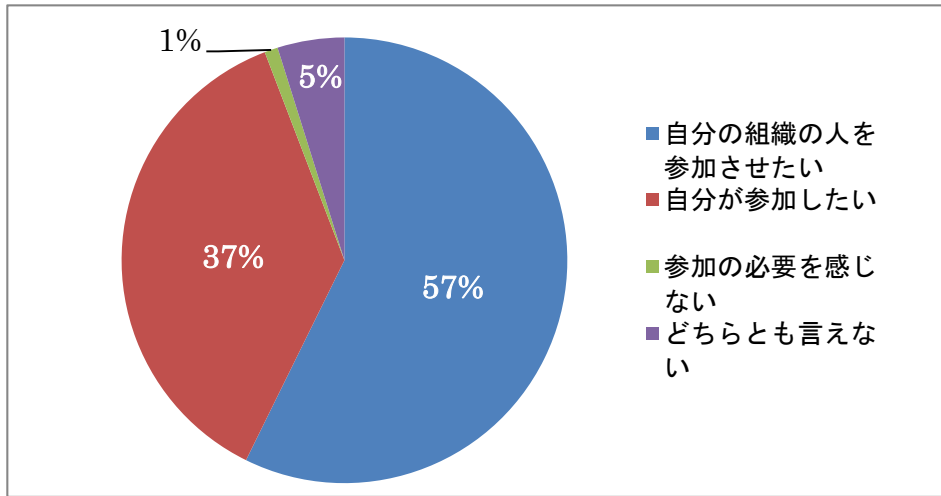


④講師経験のない理由（未経験者 47 名より回答）

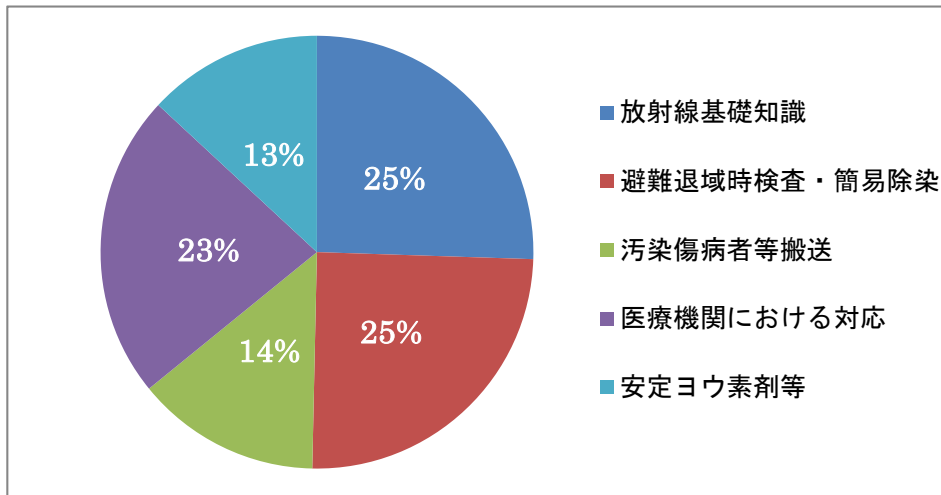


(2) 今年度の講師養成講座について

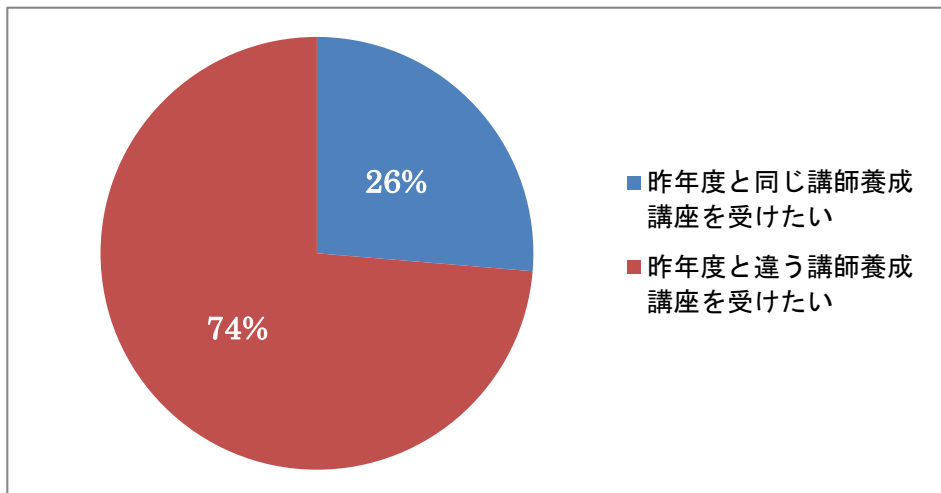
① 「自分の組織の人を参加させたい」 (複数回答可能)



② 「自分が参加したい」



③参加する意思 (複数回答可能)



④「参加の必要を感じない」「どちらとも言えない」理由

- ・現在は前職場を退職し民間の医療施設に替わっているため、原子力災害対応にはあまり関係しなくなった。(診療放射線技師)

(3) その他、意見・要望

- ・原子力災害は低頻度事象であるため、通常の初動対応機関や医療機関では業務で経験を取得するということが非常に難しい状況です。よって、研修から経験を取得することが必要不可欠となってきます。そのため、知識・技術の更新は必須であり、特に講師として知識・技術を伝授するならばこの更新は必須と考えます。
- ・講師養成講座を受講し年数が経過していますと、受講当時は最新の知識であっても、いざ講師を担当する際に知識自体が古いものになってしまうと思います。最新の情報を頂けるような体制を構築していただくと助かります。
- ・原子力災害は放射線に対する専門的な知識を必要とすることから、今後とも継続して開催して欲しい。開催の時期については、年度末の時期に集中させるのではなく、もう少し早い時期に幅を持たせた形で開催して欲しい。
- ・知識・技術の維持のためには、自分も講師養成講座を受講したいが、自分以外の後継者も育てないといけないので、受講生の数を増やして欲しいのと、同一施設複数人の受講を可能にして欲しい。
- ・可能であれば、研修時間の増加を希望します。
- ・原子力災害の講習会を独自で開催する技量はなく、また準備も含め余裕はない。やはり適切な機関がその役割を担っていただかないと難しいのではないかと思います。
- ・被ばく医療の知識をもつ人を1人でも多く育成し地域のリーダーになれるよう仕組みをしっかりと作っていく取り組みが大切だと思う。又、講師が活動する機会をより多く作っていただきたい。
- ・原子力災害時医療対応研修講師養成講座は非常に有意義な研修でした。研修後、新潟県において研修があり、測定実習の補助をさせて頂き、即活用することができました。講師養成講座とありますが、昨年私が受講したのは基礎研修と除染講習でしたが、その他の研修も受講したいと思います。そして、少しでも地域の原子力災害時医療対応に貢献できればと思います。
- ・昨年、講師養成講座を受講しましたが何処かに登録されているのでしょうか。

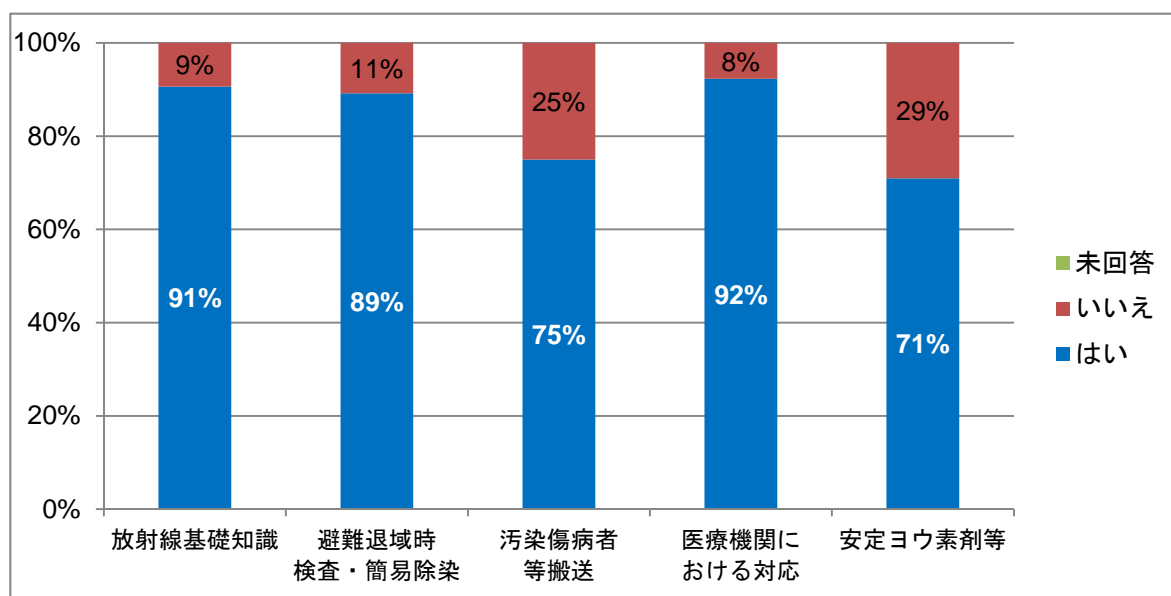
- ・講師養成講座受講後、講師として参加できる研修についての情報がなく、気が付いたら一年が経過していました。県および院内での訓練には参加しましたが、公式な講師の機会がないのはもったいないと感じていました。
- ・昨年度、医療機関における対応の講師養成講座を受講しましたが、受講者の知識の差がかなりあるように感じました。
- ・去年研修を受けてみて、内容は充実していて、非常時に役に立つ技術・能力を得ることが出来たと思います。ただ、地方の行政とリンクしてないと思われ、得た技術を自分がどう生かしていくのか見えてきません。もっと行政レベルで我々現場に役割を振り分けて欲しいと思っています。
- ・講師となりうる人材が揃うまで、受講者の派遣を継続したい。

4.3 受講者（将来の講師）の状況把握調査

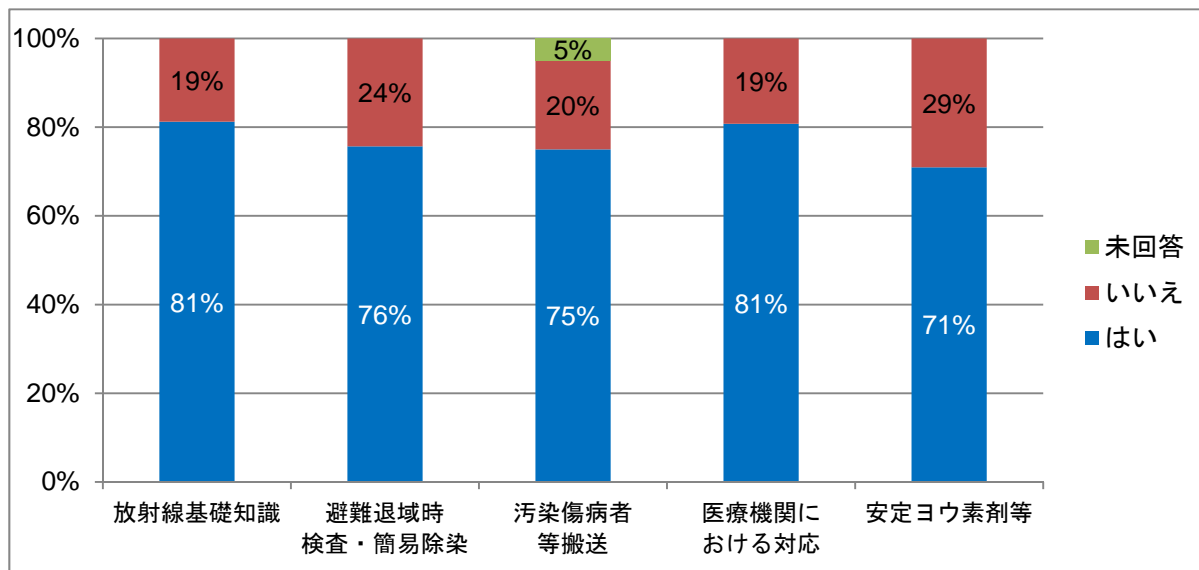
今年度の講師養成講座の受講者を対象として、原子炉施設等立地道府県及びその他の重点区域内の道府県において、自治体あるいは原子力災害拠点病院等が行う研修の講師受諾意思の確認、講師ネットワークへの登録等についてアンケート調査を実施した。

受講者の状況把握調査についての調査結果は以下の通り。

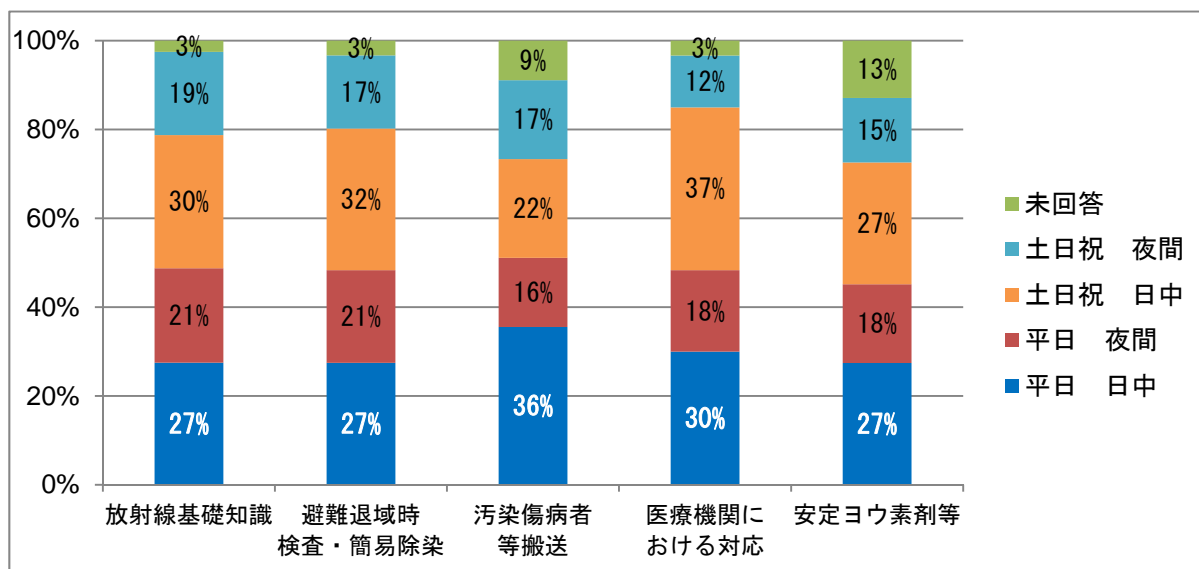
①講師依頼への受諾意思



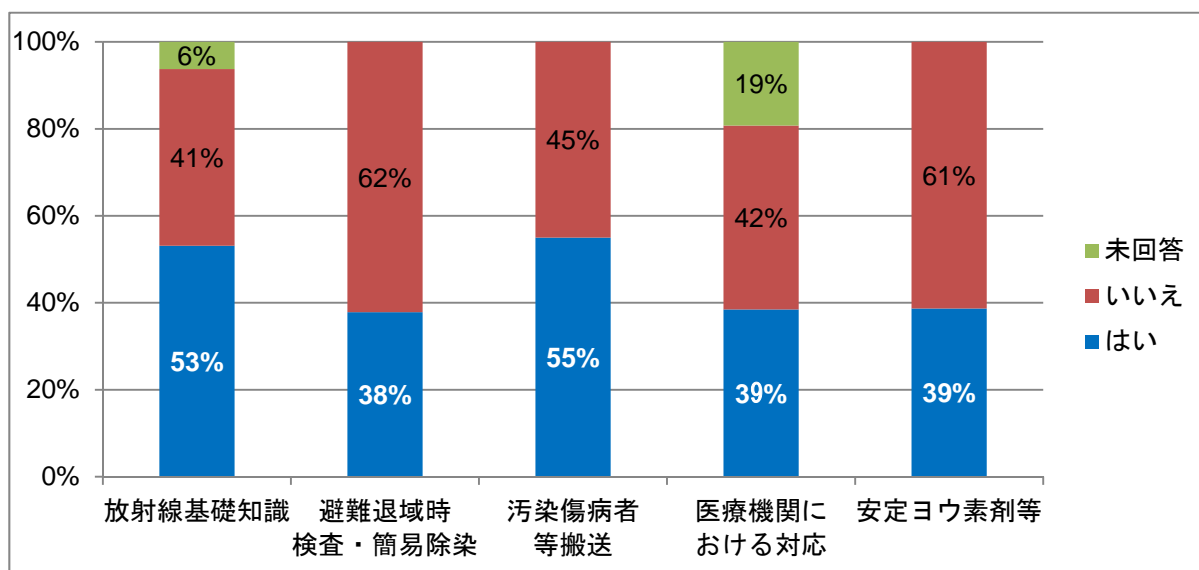
②所在地域以外からの講師依頼への受諾意思



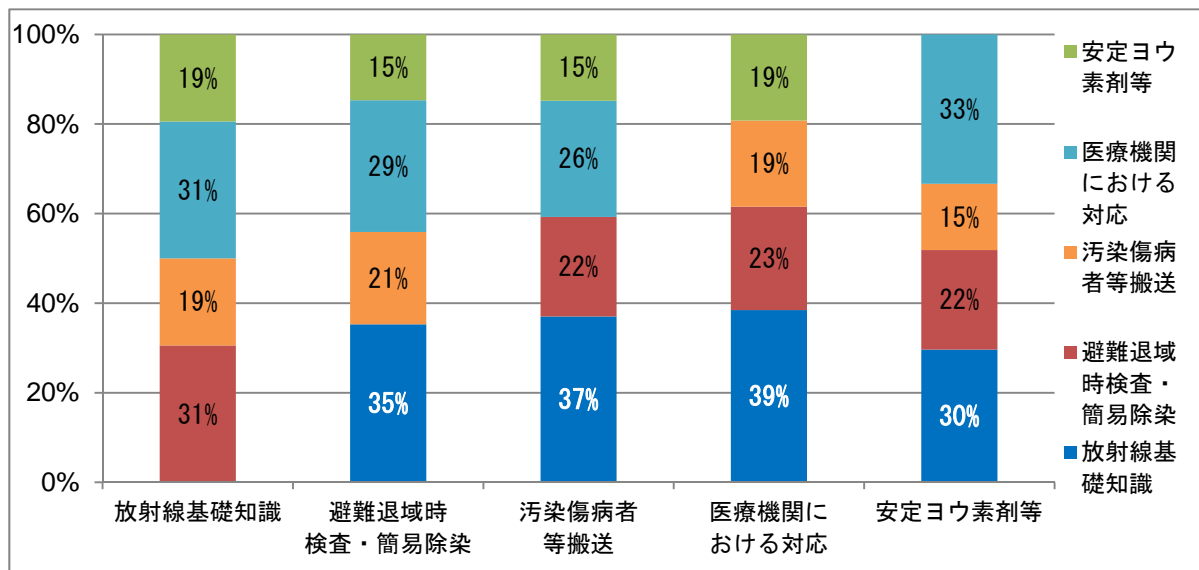
③講師対応可能の時間帯（複数回答可能）



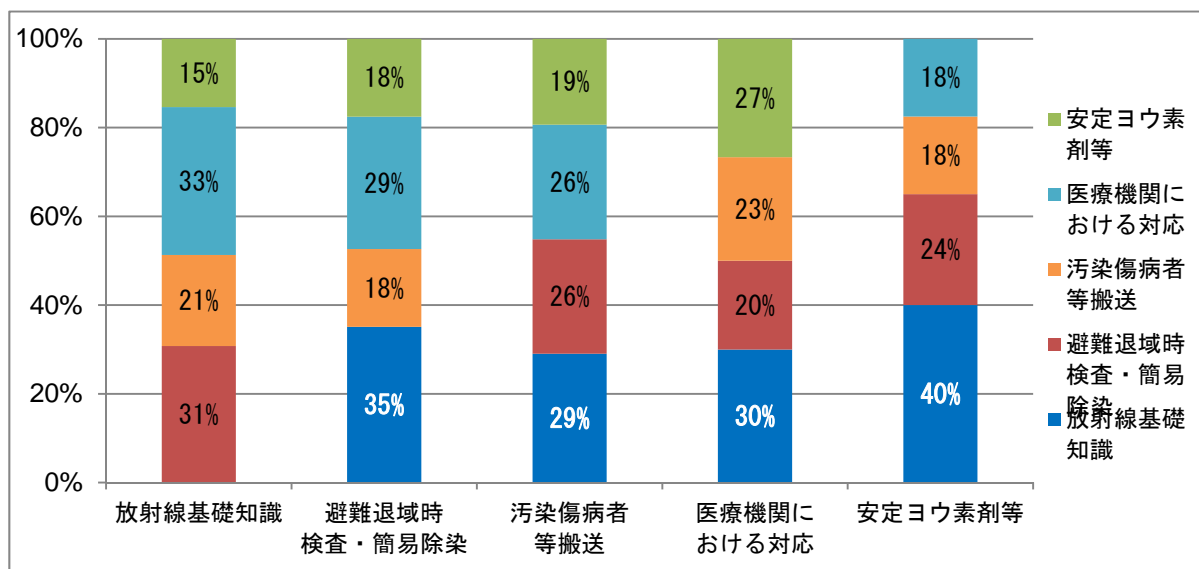
④受講した講師養成講座以外の講師対応（可能と回答された方）



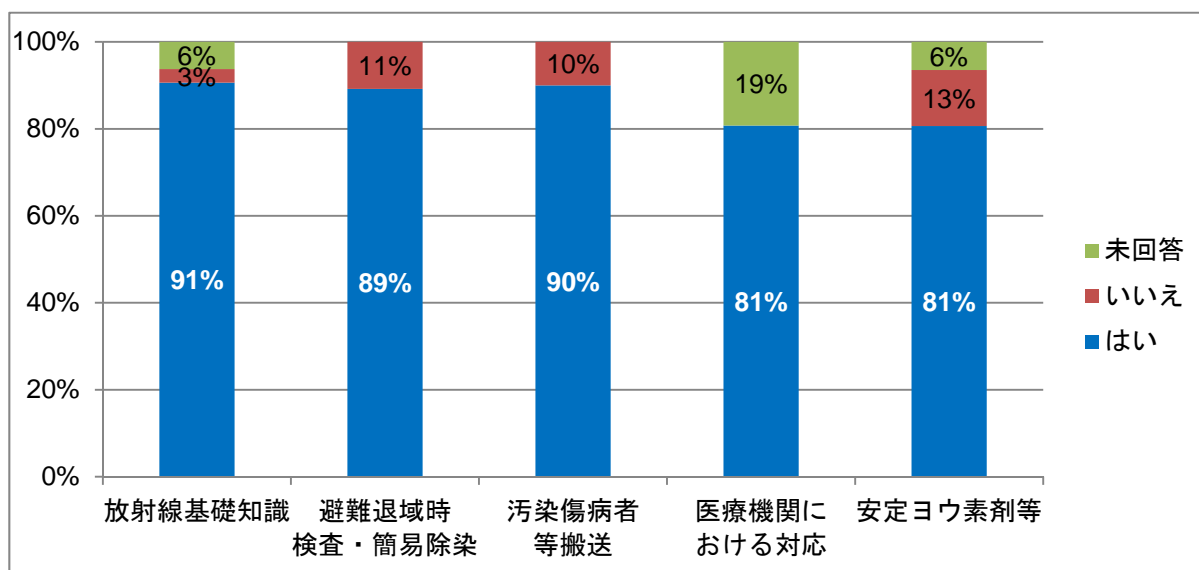
⑤受講した講師養成講座以外で対応可能な研修（複数回答可能）



⑥受講検討の講師養成講座（複数回答可能）



⑦ネットワークへの登録



4.4 講師交流会

最新情報の提供、指導者を交えた意見交換、講師養成講座実施後にアンケートやヒヤリング等を行い把握した改善課題の共有、講師の心構え、課題の対応等について意見交換を行う講師交流会を2回開催した。

講師交流会の活動記録の詳細は以下の通り。

①第1回講師交流会

日時：平成28年3月15日（火） 13:00～15:00

場所：公益財団法人原子力安全研究協会 新橋パークサイドビル 6階 会議室

議題：（1）昨年度からの変更点等

（2）今年度の講師養成講座に関するアンケート結果等の概要

（3）グループワーク

内容：

- ・昨年度からの変更点として、原子力災害時医療に関する指針等の状況及び講師養成講座の体系について説明を行った。
- ・森實先生（愛媛県立中央病院）より、講師養成講座の講師を担当した立場から他の研修会等との比較や今後の課題・要望等について講演があった。
- ・受講者（将来の講師）の状況把握調査の結果について概要の説明を行った。
- ・山口先生（杏林大学）を座長として、参加者を2つのチームに分け、講師となるにあたっての不安と障害、その解決策について、グループワークを行った。グループワークにおいて挙げられた課題とその対応策については以下の通り。

【課題及び対応策】

- ✓ 講師を引き受けるに当たっての知識や技術についての不安
 - 一人で講師を担当するのではなく、複数の職種での対応や専門機関からの講師派遣により対応する。
 - 最初から講師となるのではなく、経験のある講師の助手のような立場から始められると良い。
 - 他の地域での質疑応答等の情報を相互交換することにより知識の面で安心できる。また、最新の情報やテキストの改定状況等について、定期的な情報提供があると心強い。メーリングリストの様なものがあれば良い。

→本講師養成講座を受講した後も定期的に知識の確認が必要となる。例えば、講師について、専門分野や経験などからレベルを分け、テスト等を受けるようにすることも一案ではあるが、実際には、テストを課すようになれば、講師になることへのハードルが高くなることが懸念される。

→研修自体の品質を保証するためにも、受講後の定期的なフォローアップ講座があると良い。

✓ 研修の運営・システム

→実習で使用する物品等は、各地域で用意するのが困難な物もあるため、トータルで管理する組織があれば効率が良い。

→開催に当たり、講師が相談できる県や国の顔の見える窓口が必要ではないか。

✓ 講師としての立場・資格

→立場が明確でないと研修に係わる際に勤務調整等が難しいため、何らかの資格認定は欲しい。また、研修内容の充実のためには、当日だけではなく、地域の状況や受講生のこれまでの研修受講歴等を把握するなど、準備の段階から係わるようにしなければならない。

→資格を決めれば基準を決めなければならない。依頼方法としては、施設から講師を出してもらおうというやり方もあり得る。

→講師をどこかの組織に所属させ、派遣する方法もあるのではないか。

→研修実施とそのための講師の育成や資格に関する国の交付金等の支援は、是非とも継続的に行ってほしい。また、関係者への周知徹底をして欲しい。

②第2回講師交流会

日時：平成28年3月18日（金） 14:00～16:00

場所：TKP 新橋ビジネスセンター ホール201

議題：（1）昨年度からの変更点等

（2）今年度の講師養成講座に関するアンケート結果等の概要

（3）グループワーク

内容：

・昨年度からの変更点として、原子力災害時医療に関する指針等の状況及び講師養

成講座の体系について説明を行った。

- ・森實先生（愛媛県立中央病院）より、講師養成講座の講師を担当した立場から他の研修会等との比較や今後の課題・要望等について講演があった。
- ・受講者（将来の講師）の状況把握調査の結果について概要の説明を行った。
- ・山口先生（杏林大学）を座長として、グループワークを行った。グループワークにおいて挙げられた課題とその対応策については以下の通り。

【課題及び対応策】

✓ 会場準備

→資機材の準備等のため会場確認ができるようにして欲しい。そのためには自治体の窓口と顔の見える関係が必要と思われる。

✓ 知識

→対応可能な範囲が明確になるように講師の知識や経験に応じて、初級、中級、上級等の資格制度があれば良い。

→質問に答えられないという不安がある（特にローカルルール等）。Q&A 集は蓄積するだけでなく、専門家の確認を受けたものがあると良い。

✓ 運営

→原子力規制庁のテキストに基づいて所属する機関（原子力災害拠点病院等）で研修を開催した場合の修了証について、公的な機関から修了証を出してもらえるのか検討して欲しい。

→講師のネットワーク作りは重要と思われる。

→e ラーニングができるようになれば良い。

第5章 おわりに

5.1 今年度のまとめ

地域の原子力災害時医療活動の実効性を確保することを目的に、本事業では、①講師養成講座受講者の選定及び講師養成講座の実施（第2章）、②講師養成教材等の見直し（第3章）、③講師ネットワークの構築（第4章）を以下の通り実施した。

- ①『受講者の選定及び講師養成講座の実施』については、13地域24道府県の医療及び防災担当窓口より推薦のあった者に対して基礎研修及び4種の実践研修を各2回（計10回）開催し、146名の受講があった。受講者へのアンケート調査では、「講義手法に関して勉強になった」など概ね良好な結果であったが、講義ロールプレイにおいて「自分の発表が気になりすぎて余裕がなかった」や実習ロールプレイで「ロールプレイの途中で振り返りをしてもらわないと漫然と進み、今の状況が良いか悪いか分からなかった」などの意見があった。
- ②『講師養成教材等の見直し』については、新たに講義ロールプレイを追加することで講義手法の習熟を図るとともに、昨年度の意見を参考に実習ロールプレイの時間を拡張し、実習場面ごとにフィードバックを行い学習効果の向上を図った。教材は、昨年度使用したテキストを最新の原子力災害対策指針等の内容を反映するとともに、規制庁が改訂した原子力災害時医療対応研修テキストに基づく内容とした。また、各講師養成講座の最終回終了後に指導者による打合せ会を行い、次年度事業に向けた見直しを行った。
- ③『講師ネットワークの構築』については、昨年度の講師養成講座修了者に対して現在の連絡先等についてアンケート調査を行い、連絡先の更新及び講師の経験等について確認した。また、今年度の受講者に対しても講師を受諾する意思や講師ネットワークへの登録等についてアンケート調査を行った。さらに、講師養成講座の修了者を集め、講師交流会を2回開催し、実効のあるネットワーク構築に努めた。

5.2 今後に向けて

講師養成講座の実施も2年目となり、受講者の選定に当たっては、立地道府県等の窓口担当も本講師養成講座の趣旨を理解してもらい、将来講師となるべく意思を持った受講者を推薦してもらった。ただし、立地道府県等によって受講者の数に偏りがあるため、地域の原子力災害時医療活動の実効性を確保するためには、継続的に講師養成講座を実施していく必要がある。

今年度より、実習ロールプレイに加えて講義ロールプレイも実施することとしたが、受講者数と時間の関係からスライド1枚のみを講義するという内容であったため、難しかったという意見が多数あった。実際にロールプレイする経験は貴重なものとなるため、複数枚のスライドを担当し、受講者自身が教授するポイントを明確した上で、内容を組み立てながら話すことができるようにすることが重要と考えられる。

また、コースによっては1回目と2回目の受講者数に大きな差が生じたことから、各受講者が担当するロールプレイ時間に違いがでた。これは募集期間が短く、また開催日までの間隔が短かったため、受講者の調整ができなかったことが挙げられる。次年度以降については、余裕をもって募集することが望まれる。さらに、選択制講義と実習については、ロールプレイの時間を長く取るために事前に学習してもらうことも考えられる。今年度の講師養成講座内容を録画したものを事前に見ることによりロールプレイだけにカリキュラムを絞る方法もある。

講師交流会において、講師養成講座修了者によるグループワークを実施し、講師として研修を実施する際の課題及び対応策が検討された。課題は大きく分けて「知識・技術不足による不安」、「研修の運営・システム」、「講師としての立場・資格」が挙げられた。

「知識・技術不足による不安」には、複数の職種での対応や専門機関からの講師派遣により対応したり、各地域での質疑応答等の情報を相互交換し、必要に応じ専門家の確認を受けることで質問に対する不安を解消したりすることができる。そのためには、講師ネットワーク構築の一環としてメーリングリストの様なものがあれば良いと考えられる。

「研修の運営・システム」では、実習で使用する資機材等は特別に作成する必要がある物も含まれるため、各地で準備することは費用の面でも手間の面でも効率的であるとは言えない。効率的かつ円滑に研修を実施するためには、資機材の管理をトータルで行

う方法もある。

「講師としての立場・資格」として、立場が明確でないと所属する組織内の問題として活動することが難しいとの意見があり、将来的には、資格認定等の講師として活動し易い環境の整備が期待される。また、講師養成講座のクラス分けを行って講師の能力を明確にするとともにモチベーションの維持を図る方法も考えられる。

原子力災害時医療に関する研修は、これまで国主導で立地道府県等に赴き地域の原子力災害時医療関係者に対して行われてきたが、平成 27 年 8 月 26 日に「原子力災害対策指針」が全部改正され、新たに原子力災害時医療体制が示されたことで、国は研修カリキュラムや研修資料の作成、研修を行う講師の養成等を行うこととなり、立地道府県等や原子力災害拠点病院は立地道府県等内の研修を実施することとなった。今後も引き続き講師の養成を行い、講師を担うことができる者の絶対数を増やすとともに、講師の知識・技術の維持・向上のためのネットワークの構築が必要となる。

參考資料

(1)理解度確認テスト

平成27年度原子力規制庁委託「講師養成講座」理解度確認テスト

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	平均 正答率
回答者数	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	
正解者数	146	145	140	142	140	145	146	45	58	146	
正答率	100%	99%	96%	97%	96%	99%	100%	31%	40%	100%	86%

(2)受講者アンケート

平成27年度 原子力規制庁委託「講師養成講座（放射線基礎知識）」アンケート結果

所属	病院	保健所	医師会	放射線技師会	消防	警察	自衛隊	海上保安庁	国	道府県	市町村	大学	その他	無記入	合計
1	15	4	0	2	4	0	0	0	0	5	0	2	0	0	32

職種	医師	看護師 保健師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	地方公共団体職員	海上保安官	自衛官	警察官	消防士 職員	救急救命士	事務職員	その他	無記入	合計
2	9	4	2	11	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	32

年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無記入	合計
3	0	2	6	14	10	0	0	32

参加有無	あり	なし	その他	無記入
4	21	7	4	0

講義・実習評価	①実習(実習、ロールプレイ)の進め方				②講師の教え方				③あなたの理解度				④あなたの満足度										
	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計					
講義ロールプレイ	18	14	0	0	0	32	19	13	0	0	32	17	13	2	0	0	32	19	12	0	1	0	32
医療活動に必要な放射線測定実習	19	12	1	0	0	32	21	11	0	0	32	17	13	2	0	0	32	17	14	1	0	0	32
実習ロールプレイ	19	12	1	0	0	32	21	10	1	0	32	18	12	1	1	0	32	17	12	1	2	0	32

本講師養成講座について	①今後、講師を行った際に役に立つ内容であったと思いますか				②今後、自分の組織の人にも参加させたいですか				③その他の研修(実践研修等)にも参加したいと思いますか														
	とても役に立つ	役に立つ	余り役に立たない	全く役に立たない	無記入	合計	参加させたい	どちらとも言えない	どちらにも参加させない	どちらにも参加したくない	無記入	合計	参加したい	どちらとも言えない	参加したくない	無記入	合計						
7	21	10	1	0	0	32	28	4	0	0	32	28	4	0	0	32	22	7	1	1	1	1	32

平成 27 年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 基礎研修（放射線基礎知識）」

【意見・要望等】

○今後希望するテーマ

【第 1 回目】

- ・ファーストレスポンスの初期対応について（消防士）
- ・風評対策（医師）
- ・放射線対応の基礎的知識（医師）
- ・住民への説明について（医師）

【第 2 回目】

- ・救護所の設置（診療放射線技師）

○今後希望するコース

【第 1 回目】

- ・WBC測定結果に基づく診療方針の考え方（自治体職員／事務職）
- ・受講者から質問がでたときに対応できるような理論武装できるようなもの（医師）

【第 2 回目】

- ・特になし

○講義ロールプレイ

【第 1 回目】

- ・講習の指導方法についてとても勉強になりました。（消防士）
- ・1枚の用意されたスライドのみでロールプレイは難しかったです。（救命救急士）
- ・放射線関連の知識がしっかりしていないと人に教えることはとても難しいと感じました。今後、自分で行わなくてはならなくなったとして、慣れるまでは自分よりも知識のある人のバックアップが絶対に必要と思いました。（医師）

【第 2 回目】

- ・特になし

○医療活動に必要な放射線測定実習

[第1回目]

- ・サーベイメータなどの機器が2名に1台あった方が理解が進むと思います。(自治体職員/医師)

[第2回目]

- ・時間が少ない(診療放射線技師)

○実習ロールプレイ

[第1回目]

- ・技術的な説明の難しさを知りました。(消防士)
- ・準備の時間が足りない緊張しすぎて頭が白くなった。(自治体職員/医師)

[第2回目]

- ・すべてを1人で出来るか心配です(診療放射線技師)
- ・機器操作等を講座で理解するレベルでロールプレイは難しかった。(自治体職員/薬剤師)

○意見・要望

[第1回目]

- ・緊張感のあるロールプレイは今後、講習会等を実施する際のとてもよい勉強になりました。難しいです。慣れていきたいと思います。(消防士)
- ・指導方法について改めて勉強になり、また自分の良い点、改善点も把握できた。基本的な知識においては、伝えるポイントをもっと講師の方から聞いてみたかった。機会があれば実践研修の各講師養成講座も受講したいと思います。(消防士)
- ・実習の目的をスクリーニングとすれば、実際のスクリーニングの設定を想定してから必要な物理的特性の理解に絞って実習した方が良いのではないかと思います。そうしないと、実際に必要な技能・知識を身につけるといふより理科の実験みたいになってしまい、技能の修得に結びつかないかも知れないなあと思います。研修の企画としても大変参考になりました。ありがとうございました。(自治体職員/事務)

職)

- ・講義の手法に関して大変勉強になりました。今後も勉強を重ねたいと思います。

(診療放射線技師)

- ・まだまだ勉強不足、経験不足でした。これからの地域の訓練などに活かしていきたいと思います。(診療放射線技師)
- ・講義は知識がしっかりしていないと難しいと思いました。少なくとも数回は知識の豊富な先生が会場にいる中で、補足や質問に対する答えなどのサポートをしていただければと思いました。実習については時定数の説明、回答が少なくて難しいと思いました。そのあたりの資料があっても良いのではと思いました。(医師)

[第2回目]

- ・対象職種に合わせた講義を聴くことで、その職種がどのようなことを知りたいと考えているのかある程度理解できた。職種によって必要としている知識が違うためどのように伝えることが効果的かを考える機会となった。(看護師／保健師)
- ・講師として説明する上でのポイントを詳しく教えていただき大変勉強になりました。(診療放射線技師)
- ・どの分野も基礎的な分野が最も難しくとっつきにくいです。それをどのように教えるかということについては、やはり評価者が適切に評価して頂かないと自分のスキルが保てないと実感しました。自分の不足分がわかり良かったです。(救命救急士)
- ・もう少し少人数でやっていただくと良いと思います。(診療放射線技師)

平成27年度 原子力規制庁委託「講師養成講座 実践研修（避難退域時検査・簡易除染）」 アンケート結果

1	所属	病院	保健所	医師会	放射線 技師会	消防	警察	自衛隊	海上 保安庁	国	道府県	市町村	大学	その他	無記入	合計
		20	5	0	4	2	0	0	0	0	5	0	1	0	0	37

2	職種	医師	看護師 保健師	薬剤師	診療放射 線技師	臨床検査 技師	地方公共 団体職員	海上 保安官	自衛官	警察官	消防士 職員	救急 救命士	事務職員	その他	無記入	合計
		6	4	0	22	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	37

3	年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無記入	合計
		2	1	5	16	13	0	0	37

4	参加有無	あり	なし	その他	無記入
	旧緊急被ばく医療研修、 原子力災害時医療対応研修	17	14	6	0

6	講義・実習評価	①実習（実習、ディスカッション、ロールプレイ）の進め方					②講師の教え方					③あなたの理解度					④あなたの満足度											
		大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計			
	講義ロールプレイ	18	17	1	0	1	37	25	11	1	0	0	37	21	16	0	0	37	16	0	0	0	37	20	17	0	0	37
	避難退域時検査実習	24	13	0	0	0	37	27	10	0	0	0	37	27	10	0	0	37	10	0	0	0	37	24	12	0	0	37
	原子力災害時の簡易除染	26	11	0	0	0	37	29	8	0	0	0	37	22	15	0	0	37	15	0	0	0	37	23	14	0	0	37
	ディスカッション	22	15	0	0	0	37	24	13	0	0	0	37	23	14	0	0	37	14	0	0	0	37	22	15	0	0	37
	実習ロールプレイ	21	16	0	0	0	37	25	12	0	0	0	37	24	13	0	0	37	13	0	0	0	37	22	15	0	0	37

7	本講師養成講座について	①今後、講師を行った際に役に立つ内容であったと思いますか					②今後、自分の組織の人にも参加させたいですか					③その他の研修（実践研修等）にも参加したいと思いますか										
		とても役に 立つ	役に立つ	余り役に立 たない	全く役に立 たない	無記入	合計	参加させたい	どちらとも 言えない	参加させ たくない	無記入	合計	是非参加 したい	どちらとも 参加した くない	参加した くない	無記入	合計					
		26	11	0	0	0	37	32	5	0	0	37	0	0	0	37	17	19	1	0	0	37

平成 27 年度原子力規制庁委託

「講師養成講座 実践研修（避難退域時検査・簡易除染）」

【意見・要望等】

○今後希望するテーマ

【第 1 回目】

- ・風評被害について（医師）

【第 2 回目】

- ・実際の災害現場ではどのように検査除染を行えたのか、体験者方のアドバイス等を聞いてみたいです。（診療放射線技師）
- ・避難所、除染施設の責任者の対応について（自治体職員／医師）
- ・健康相談（医師）

○今後希望するコース

【第 1 回目】

- ・対応と対策（医師）

【第 2 回目】

- ・指揮者(リーダー)の養成講座についてはいかがでしょうか？（自治体職員／医師）

○講義ロールプレイ

【第 1 回目】

- ・よくねられたコースだと思います。（医師）
- ・初めて講師役をしてみたが、皆さん専門の方々ばかりだったので、緊張した。思っていた以上に説明はできたので自分的には満足でした。（自治体職員／事務職）

【第 2 回目】

- ・事前に 5 分～10 分程度の予習時間があつた方がよい（診療放射線技師）
- ・急に始まって戸惑った。（診療放射線技師）
- ・初めての体験でとても勉強になりました。（診療放射線技師）
- ・もう少し上手に話せるようシミュレーションできると良かった。（診療放射線技師）
- ・「レセプティブ・フィードバック」など講義内容に含まれていたと思いますが理解

が不十分でした。(看護師／保健師)

○避難退域時検査実習

[第1回目]

- ・よくねられたコースだと思います。(医師)
- ・測定機器を通常使用しないため、操作方法に戸惑った。数値を読み取るまでには、ある程度の習熟訓練が必要と感じた。(自治体職員／事務職)

[第2回目]

- ・時間をもっととって十分に技術を身につけたい。(診療放射線技師)

○原子力災害時の簡易除染

[第1回目]

- ・よくねられたコースだと思います。(医師)
- ・非常にわかりやすかったが、いろいろな状況が考えられるので、対応は難しいと感じた。(自治体職員／事務職)

[第2回目]

- ・言葉で何もわからない人を除染させるように導くことの難しさを知りました。(診療放射線技師)

○グループディスカッション

[第1回目]

- ・よくねられたコースだと思います。(医師)
- ・いろいろな意見が聞けて役に立った。(自治体職員／事務職)

[第2回目]

- ・特になし

○実習ロールプレイ

[第1回目]

- ・ロールプレイの際の分担部分が当初明確でなかった。(医師)
- ・よくねられたコースだと思います。(医師)

- ・実習の講師は非常に貴重な体験だった。(自治体職員／事務職)

[第2回目]

- ・事前に5分～10分程度の予習、スライドの参照時間を作してほしい。(診療放射線技師)
- ・伝えたいことが半分も伝えられなかったです。繰り返し練習(訓練)する必要を実感しました。(診療放射線技師)
- ・時間をオーバーしてしまった。(診療放射線技師)

○意見・要望

[第1回目]

- ・除染の難しさを感じました。(診療放射線技師)
- ・規制庁より新しいルールにもとづき、どのように説明すればよいか明確になりました。その他の地域の方のご意見はたいへん参考になりました。(診療放射線技師)
- ・総合実習的なものが必要だと思う。検査→除染(避難退域検査場を作る進言する)(臨床工学技士)
- ・とてもいい研修だったのですが時間的につめこみすぎかな?と感じました。中身的にはそこまで目新しい所はなかったが、人に教える技術がたりないのかなと感じ勉強になりました。ありがとうございました。(診療放射線技師)
- ・養生、タイベックスーツ等も体験できれば・・・(診療放射線技師)
- ・ディスカッションの時間をもっととらないと話が深くない。終わりがけにもりあがって時間が足りない。被ばく医療+集団災害の概念の組み合わせで考えないといけないと思うが集団災害の視点からやや疑問が残る。(医師)
- ・今回の講師養成講座で自分の知識の乏しさを痛感した。今後も勉強にいきたいと思う。(診療放射線技師)
- ・マニュアル外の細かい点で疑義が多かった。こういう形で専門の方々が集まる機会があると非常によい。今回非常に役に立ちました。ありがとうございました。(自治体職員／事務職)

[第2回目]

- ・自分自身、もう一度説明等講師を行う前に内容の再確認等を行う必要のあることを再認識することができ、有益な研修会でありました。ありがとうございました。

(診療放射線技師)

- ・福島でもありましたが最近ではペット（犬、猫等）を連れての避難も多いと思います。実際人間よりも深刻な汚染もありこういったものへの対応等も今後講義していただけるとありがたいです。(診療放射線技師)
- ・今回の研修のようにグループワークがある場合は事前にグループ指定があっても良いのかとも思いました。会場の問題もありますが実習と講義が同一の建物内にあった方がありがたいです。ロールプレイの講評シートは自分に不足している部分が明確になり、大変有意義でした。(救命救急士)
- ・講義ロールプレイが難しく、とても勉強になりました。講義する上でのポイントについてもっと時間があっても良いのかとも思いました。(診療放射線技師)
- ・これまで受けてきた研修は一方向的に聴くものが多く、実習させていただいたのは、ほぼ初めてでした。なかなか思うように人には伝えられないと実感（痛感）しました。はたして自分がしっかり指導できるか不安ですがイメージトレーニングを常に意識して人に伝える技術を身につけられるよう努力していきます。数年後には講師の先生方のように話せることを目標に繰り返し自己研修していきます。(診療放射線技師)
- ・去年参加した研修よりも今年は指導という点により重点をおいた研修で今後の指導という点において、より実践的に活かすことができそうです。もし来年以降に追加して頂けるなら指導という立場の講義ロールプレイをエビデンスをより充実して頂いて各項目の自分自身が担当した講師の立場のフィードバックをして頂きたいです。

(看護師／保健師)

- ・全身の検査をする確認検査について、もっといい方法(検査見のがしのない)があるかも知れないので例示でいいから示してほしい。(診療放射線技師)
- ・今後、講師をするに当たりタスクでの講習会参加などの機会があればもっと自信が持てると思う。(診療放射線技師)
- ・多種多様な方への説明のポイント等、大変勉強になりました。(救命救急士)
- ・理解が不十分な点がよく分かったことはもちろんですが、自分がわかっていると思っても、他の方に伝えることは難しいこともよくわかりました。実習ロールプレイは楽しかったです。(看護師／保健師)
- ・非常に良い企画だと思います。実習している中で程々の設問などが出てきて受け身

で行う研修とは異なり、有意義な研修でした。(医師)

- ・回数をすれば何とかなりそう。(診療放射線技師)
- ・行政職の方々がはいる行為なので、研修内容に注意が必要と思われました。(医師)

平成27年度 原子力規制庁委託「講師養成講座 実践研修（汚染傷病者等搬送）」 アンケート結果

1	所属	病院	保健所	医師会	放射線技師会	消防	警察	自衛隊	海上保安庁	国	道府県	市町村	大学	その他	無記入	合計
		8	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20

2	職種	医師	看護師 保健師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	地方公共団体職員	海上保安官	自衛官	警察官	消防士 職員	救急 救命士	事務職員	その他	無記入	合計
		4	0	0	2	0	0	0	0	0	5	7	2	0	0	20

3	年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無記入	合計
		0	1	2	16	1	0	0	20

4	参加有無	あり	なし	その他	無記入
	旧緊急被ばく医療研修、 原子力災害時医療対応研修	11	6	3	0

6	講義・実習評価	①実習（実習、デイスカッション、ロールプレイ）の進め方					②講師の教え方					③あなたの理解度					④あなたの満足度								
		大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計						
	講義ロールプレイ	6	13	0	0	1	20	10	8	0	0	2	20	11	7	1	0	1	20	10	9	0	0	1	20
	放射線測定実習	8	12	0	0	0	20	11	9	0	0	0	20	9	10	1	0	0	20	8	12	0	0	0	20
	搬送実習	9	11	0	0	0	20	14	6	0	0	0	20	11	9	0	0	0	20	12	7	1	0	0	20
	デイスカッション	8	11	1	0	0	20	10	10	0	0	0	20	7	13	0	0	0	20	7	13	0	0	0	20
	実習ロールプレイ	11	9	0	0	0	20	13	7	0	0	0	20	12	8	0	0	0	20	13	6	1	0	0	20

7	本講師養成講座について	①今後、講師を行った際に役に立つ内容であったと思いますか					②今後、自分の組織の人にも参加させたいですか					③その他の研修（実践研修等）にも参加したいと思いませんか								
		役にも役に立つ	役に立たない	全く役に立たない	無記入	合計	参加させたい	どちらとも言えない	参加させたくない	無記入	合計	是非参加したい	どちらとも言えない	参加したくない	無記入	合計				
		12	8	0	0	20	18	2	0	0	20	0	0	0	20	9	1	0	0	20

平成 27 年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 実践研修（汚染傷病者等搬送）」

【意見・要望等】

○今後希望するテーマ

【第 1 回目】

- ・原発見学ツアー（医師）
- ・講師養成講座 更新コース（救命救急士）

【第 2 回目】

- ・病院避難（病院／事務職）

○今後希望するコース

【第 1 回目】

- ・特になし

【第 2 回目】

- ・理論や放射線への専門的内容（医師）

○講義ロールプレイ

【第 1 回目】

- ・講義内容が被ばくに関する知識を求められている部分が少々感じられた。評価されているというモードがあり緊張でした。（救命救急士）

【第 2 回目】

- ・話す内容を考えていたが伝え忘れていた。（診療放射線技師）

○空間線量率の測定

【第 1 回目】

- ・特になし

【第 2 回目】

- ・特になし

○搬送実習

[第1回目]

- ・豊富な資器材設置ありがとうございました。故に、タイベックは全員が着て、周り
にいるスタッフが補助しても良いのでは。(救命救急士)
- ・非常にわかりやすかったが、いろいろな状況が考えられるので、対応は難しいと感
じた。(自治体職員／事務職)

[第2回目]

- ・2班にわかれたため半分しかわからなかった。(診療放射線技師)

○グループディスカッション

[第1回目]

- ・よくねられたコースだと思います。(医師)
- ・いろいろな意見が聞けて役に立った。(自治体職員／事務職)

[第2回目]

- ・ディスカッションのテーマについて具体的に示していただければ良かったかもしれ
ない。(救命救急士)

○実習ロールプレイ

[第1回目]

- ・特になし

[第2回目]

- ・進行の仕方が難しい。(診療放射線技師)
- ・短い時間での大変有効なロールプレイと感じました。(救命救急士)

○意見・要望

[第1回目]

- ・受講・実践を繰り返すことで良く理解できました。(医師)
- ・2日間本当に勉強になりました。先生方だけでなく受講生の方々からもたくさん学
ぶものがありました。この研修を活かし地元に戻元したいです。(救命救急士)
- ・定期的に参加したいと思いました。(救命救急士)

- ・大変内容の濃い研修で満足しました。ありがとうございました。(医師)
- ・はじめて受講しました。“ロールプレイ”の項目の意味がはじめわかりませんでした。最初の目的を聞いてなるほどと思いました。そして、すべての内容が新鮮で役立ちました。今後の業務に活かしていきたいです。本当にありがとうございました。(消防士)
- ・講師を行う際のポイント「3つの点」や「達成目標」等の内容は今後の自分の説明に活かしていきたいと思います。救急搬送については養生のし方、はずし方は理解できましたが、実際の現場に合わせた形になるといくつかの疑問点は残りました。また別の機会もあれば参加したいと思います。(消防士)

[第2回目]

- ・2日間ありがとうございました。原子力発電所立地地域ということもあり今後ともよろしく願います。(消防)
- ・消防の方々と違い、車両養生等初めての部分もあり、学ぶ良い機会となりました。改めての部分もあり普段からの繰り返しの大切さを感じました。(病院／事務職)
- ・とても有意義な研修に参加させていただきありがとうございました。本日習得した知識・技術は院内・地域の従事者に共有していきたいと思います。講師・スタッフの皆様、ありがとうございました。(病院／事務職)
- ・やはり実際の現場ではどのような活動が行われるのか、詳細な部分（放管員との話の内容や、活動中に防護衣が破れたなど）があるとさらに良いと思います。全体的に満足です。(救命救急士)
- ・インストラクションの手法が学ぶことができ大変役に立った。参加して良かった。(診療放射線技師)
- ・各地区で同研修等を開催していただければ、指導的立場の人材がより増えると思う。(救命救急士)
- ・準備が大変だったと思います。お疲れ様でした。ありがとうございました。(医師)

平成27年度 原子力規制庁委託 「講師養成講座 実践研修（医療機関における対応）」 アンケート結果

1	所属	病院	保健所	医師会	放射線 技師会	消防	警察	自衛隊	海上 保安庁	国	道府県	市町村	大学	その他	無記入	合計
		23	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	26

2	職種	医師	看護師 保健師	薬剤師	診療放射 線技師	臨床検査 技師	地方公共 団体職員	海上 保安官	自衛官	警察官	消防士 職員	救急 救命士	事務職員	その他	無記入	合計
		10	5	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26

3	年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無記入	合計
		0	2	7	10	7	0	0	26

4	参加有無	あり	なし	その他	無記入
	旧緊急被ばく医療研修、 原子力災害時医療対応研修	16	5	5	0

講義・実習評価	①実習（実習、ディスカッション、ロールプレイ）の進め方					②講師の教え方					③あなたの理解度					④あなたの満足度								
	とても良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	とても良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	とても良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計						
講義ロールプレイ	9	15	1	0	1	26	16	9	1	0	0	26	6	18	2	0	0	26	13	12	1	0	0	26
原子力災害時医療実習①	13	12	1	0	0	26	15	11	0	0	0	26	8	17	1	0	0	26	9	17	0	0	0	26
原子力災害時医療実習②	11	15	0	0	0	26	14	12	0	0	0	26	11	14	1	0	0	26	11	14	1	0	0	26
ディスカッション	13	12	0	0	1	26	15	11	0	0	0	26	12	12	2	0	0	26	14	10	2	0	0	26
実習ロールプレイ	13	13	0	0	0	26	16	10	0	0	0	26	12	14	0	0	0	26	15	9	2	0	0	26

7	本講師養成講座について	①今後、講師を行った際に役に立つ内容であったと思いますか					②今後、自分の組織の人にも参加させたいですか					③その他の研修（実践研修等）にも参加したいと思いませんか						
		とても役に立つ	役に立つ	余りに役に立たない	全く役に立たない	無記入	合計	参加させたい	参加させたくない	どちらとも言えない	どちらとも参加しない	合計	是非参加したい	参加したい	どちらとも言えない	参加したくない	無記入	合計
		17	9	0	0	0	26	26	0	0	0	26	13	12	1	0	0	26

平成 27 年度原子力規制庁委託

「講師養成講座 実践研修（医療機関における対応）」

【意見・要望等】

○今後希望するテーマ

【第 1 回目】

- ・一般的ではないが、 α 核種についても（診療放射線技師）

【第 2 回目】

- ・心の対応、風評対応（医師）
- ・退避所の運営や安定ヨウ素剤など（看護師／保健師）
- ・実習前役割確認（診療放射線技師）

○今後希望するコース

【第 1 回目】

- ・特になし

【第 2 回目】

- ・ゾーニング（看護師／保健師）
- ・実習前プレ演習（診療放射線技師）

○講義ロールプレイ

【第 1 回目】

- ・スライド内容は理解していても伝える技術が不足（診療放射線技師）

【第 2 回目】

- ・講義中にいろいろ言いました。ネガティブすぎました。（医師）
- ・講義ロールプレイは、今後、受講生にとって目標模範となってほしいと思い、いろいろ言いましたが、問題点を浮きあげるようなやり方でもいいと考え直しています。（医師）

○原子力災害時医療実習

[第1回目]

- ・指導するタイミングが難しい（診療放射線技師）

[第2回目]

- ・特になし

○グループディスカッション

[第1回目]

- ・講義時間をもっと長くして欲しい。（看護師／保健師）

[第2回目]

- ・特になし

○実習ロールプレイ

[第1回目]

- ・時間の使い方、話術が必要（診療放射線技師）

[第2回目]

- ・特になし

○意見・要望

[第1回目]

- ・プレイヤーの動きを思い出しながら講師としての動きについて勉強させてもらいました。回数を重ねることで上達するかもとは思いました。（診療放射線技師）
- ・講師も1人では出来ないなのでチームを組んで勉強会を行っていきたい。（診療放射線技師）
- ・講師をするための知識の確立、ノウハウをしっかりとすべきだと痛感しました。また、今後講師をする際に多職種とコミュニケーションをとり、しっかりと準備もする必要性を感じました。（診療放射線技師）
- ・コース組立に参考になりました。ありがとうございました。（医師）
- ・自分が所属する病院でも、原子力災害時医療に関する知識を有する人が少ないので今後、是非自部署からも参加させたいと思いました。（診療放射線技師）

- ・自分の基礎知識が不足していることを感じるが多々あり、本来のインスト養成コースであることを見失ってしまうことがあった。講師養成講座全体の足を引っぱったのではないかと申し訳なく思いました。(看護師／保健師)

[第2回目]

- ・講師の先生方が、みな熱心でいつも感動しています。(医師)
- ・自分はレベルが高いと感じましたが、講義のやり方など客観的にチェックして頂く機会というのはなかなかないので貴重で勉強になりました。今後の地域での研修や日常業務（RI 講習など）に役立てて生きたいと思います。(診療放射線技師)
- ・今回の様な研修受講者に対して、受講生のレベル等を設定しインストをして行く様な研修会があっても良いと思います。(看護師／保健師)
- ・院内で訓練を行う際に、大変参考になります。他施設の方に対し指導を行う点についてやはり不安があるのは否めません。このような講師養成講座は大変意義があると思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。(診療放射線技師)
- ・ありがとうございました。ぜひ病院に戻り研修会を開催できればと思います。(医師)

平成27年度 原子力規制庁委託 「講師養成講座（安定ヨウ素剤等）」 アンケート結果

1	所属	病院	保健所	医師会	放射線 技師会	消防	警察	自衛隊	海上 保安庁	国	道府県	市町村	大学	その他	無記入	合計
		14	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1	0	0	31

2	職種	医師	看護師 保健師	薬剤師	診療放射 線技師	臨床検査 技師	地方公共 団体職員	海上 保安官	自衛官	警察官	消防士 職員	救急 救命士	事務職員	その他	無記入	合計
		11	3	13	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	31

3	年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無記入	合計
		0	4	5	12	10	0	0	31

4	参加有無	あり	なし	その他	無記入
	旧緊急被ばく医療研修 原子力災害時医療対応研修	19	10	2	0

講義・実習評価	①実習(実習、ディスカッション、ロールプレイ)の進め方					②講師の教え方					③あなたの理解度					④あなたの満足度								
	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計	大変良い	良い	不満	とても不満	無記入	合計
講義ロールプレイ	15	15	1	0	0	31	19	10	2	0	0	31	11	19	0	0	1	31	9	21	1	0	0	31
演習	15	14	1	0	1	31	18	12	1	0	0	31	14	16	0	0	1	31	16	14	1	0	0	31
ディスカッション	12	16	3	0	0	31	13	16	2	0	0	31	10	19	1	0	1	31	13	18	0	0	0	31
実習ロールプレイ	15	13	3	0	0	31	17	11	3	0	0	31	13	15	2	0	1	31	15	13	3	0	0	31

7	本講師養成講座について	①今後、講師を行った際に役に立つ内容であったと思いますか					②今後、自分の組織の人にも参加させたいですか					③その他の研修(実習研修等)にも参加したいと思いませんか							
		とても役に立つ	役に立つ	余り役に立たない	全く役に立たない	無記入	合計	参加させた いい	参加させた くない	参加させた くない	無記入	合計	是非参加 したい	参加したい	どちらとも 言えない	参加したく ない	無記入	合計	
		15	16	0	0	0	31	27	3	0	1	0	31	16	11	3	0	1	31

平成 27 年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 実践研修（安定ヨウ素剤等）」

【意見・要望等】

○今後希望するテーマ

【第 1 回目】

- ・特になし

【第 2 回目】

- ・緊急配布（安定ヨウ素剤）（診療放射線技師）
- ・避難所での対応（自治体職員／医師）
- ・病院で備えるものの実際、コスト、チェック（医師）
- ・安定ヨウ素剤の緊急配布の方法（自治体職員／薬剤師）
- ・避難退域時検査について（自治体職員／薬剤師）
- ・放射線にかかわる専門的な勉強会も、やはり講師のスキルとして専門的な知識が不可欠だと思うので（医師）
- ・緊急被ばく医療で用いる薬剤について（薬剤師）

○今後希望するコース

【第 1 回目】

- ・心、風評の実例報告会など（医師）

【第 2 回目】

- ・緊急配布のロールプレイ（診療放射線技師）
- ・避難してきた住民への対応（説明等）（自治体職員／医師）
- ・各地域であり得るパターン想定（薬剤師）
- ・グループワーク（自治体職員／薬剤師）

○講義ロールプレイ

【第 1 回目】

- ・教授方法については各自の学びは必要ですが山本先生の資料があると振り返りになるかと思います。（看護師／保健師）

[第2回目]

- ・よく出来たコースだと思います（医師）
- ・自分の担当部分にのみ注意が向いてしまい、他の方の話は半分くらいしか聞いていませんでした。ですが、個別評価がもらえたのは励みとなります。（自治体職員／薬剤師）
- ・最初の事前講義を丁寧に教えていただきたかった。（薬剤師）
- ・受け持ちロールプレイの発表前チェックを2～3分いただきたい。まとめなくして話したのが残念。（自治体職員／薬剤師）

○演習

[第1回目]

- ・特になし

[第2回目]

- ・統一した解答を提示した方が良いのでは（診療放射線技師）
- ・よく出来たコースだと思います（医師）

○グループディスカッション

[第1回目]

- ・特になし

[第2回目]

- ・緊急配布、一時滞在者・外国人の対応等をもっと突っ込んでディスカッションをしたかった。（自治体職員／医師）
- ・多職種の集まりなので、意見が出しにくい。（診療放射線技師）
- ・何をディスカッションしようとしているのか分かりづらかった。（医師）
- ・何を題材としていいのか迷いました。（自治体職員／薬剤師）

○実習ロールプレイ

[第1回目]

- ・特になし

[第2回目]

- ・ポイントが不明瞭であった。(診療放射線技師)
- ・各事例に対する対応に苦慮し、円滑にロールプレイを進められませんでした。しかし、他の受講者の方の意見や、ロールプレイの受け答えの仕方は参考になりました。
(自治体職員／薬剤師)
- ・12名がロールプレイをしているので、途中で振り返りしてもらわないと漫然と実習が進み、今の状況が良いか悪いかも分かってない。(医師)
- ・よく出来たコースだと思います。医学的(正式)な答えのチェックは必要かと思います。(医師)
- ・最初に役割例、進め方を実演していただけたらありがたい。(自治体職員／薬剤師)
- ・実際にやることで、理解が深まりました。(自治体職員／薬剤師)

○意見・要望

[第1回目]

- ・大変有意義な研修ありがとうございました。地域に持ち帰り対策に努めたいと思います。(自治体職員／事務職)
- ・本県で事前配布になる際には、これを役に立たせてしっかり行えればと思います。
(自治体職員／薬剤師)
- ・本日、安定ヨウ素剤等の実践研修は勉強になりました。地域ではまだまだ進んでいないので対策を検討して行くことが大切だと思いました。(薬剤師)

[第2回目]

- ・ロールプレイの評価をすぐに返却してもらうことで、自分自身、振り返ることができよかったです。実際に全員がロールプレイできるような演習は多くないため貴重な研修だと思います。少ない事象を対象とするので、ロールプレイ(シミュレーション)を含んだ研修を今後もこのような研修を開催していただきたいと思います。(看護師／保健師)
- ・次回は緊急配布のロールプレイをパターン別に行いたいと思います。パターン(バスの中、退避場所、学校等)のカリキュラム等々、宜しくお願い致します。(診療放射線技師)
- ・安定ヨウ素剤に重点が置かれ過ぎの印象を受けます。放射性ヨウ素以外のセシウム等の影響も考えると環境・飲食物モニタリングや屋内退避・飲料水や食料備蓄の重

要性も、もっと訴えるべきではないでしょうか（自治体職員／医師）

- ・よい研修を有難うございました。具体的に指摘（評価）していただけるのは、有難いです。（自治体職員／医師）
- ・今回の研修はロールプレイが難しかったです。回数を重ねて練習することが必要と感じました。既に配布を行った自治体の意見を聞くことができたのも非常に参考になりました。（自治体職員／医師）
- ・防災訓練のスケジュール調整関係の業務が多く「安定ヨウ素剤の事前配布研修」とピンポイント的な内容で、さらに具体的な住民対応想定ということで、大変勉強になりました。ありがとうございました。（自治体職員／薬剤師）
- ・他の講座に比べると決まっていないことが多い分野なのではないでしょうか。講師の歯切れも悪く全体的にぼんやりした印象でした。（自治体職員／薬剤師）
- ・もう少し福島での実施例を参考に話を進めてもらえると良いかと思います。（医師）
- ・大変有意義な研修でした。各受講生の自己紹介、現状などの時間があっても良いかと思いました。（医師）
- ・他県の事例を聞くことができ良かった。こういった研修に医師が参加することが地方ではないので、医師と一緒に受講できてとても参考になった。（自治体職員／薬剤師）
- ・失礼な話ではありますが、今までの3回の講習に比べると、今回は講師の先生のファシリテートに改善の余地があるのではないかと強く感じました。（講師の人選も充実した講習には不可欠だと思います）（医師）
- ・大変でしたが、充実した研修でした。参加できて良かったです。ありがとうございました。帰ってからも勉強します。（薬剤師）
- ・参加対象者の職種を考慮し、どの研修に参加すべきと入れて募集してはどうか（医師）

(3)指導者アンケート

平成27年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 基礎研修(放射線基礎知識)」
指導者アンケート結果

講義・実習評価	選択講義 インTRODクシヨ、放射線の基礎知識 及び人体への影響と放射線防護(要約版)					講義ロールプレイ				
	講義全体の 進め方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	スライド	計	全体の進め 方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	班の人数と 編成	計
大変良かった	2	4	3	4	13	5	5	5	5	20
良かった	2	1	2	1	6	0	0	0	0	0
あまり良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
計	5	5	5	5		5	5	5	5	

講義・実習評価	実習 医療活動に必要な放射線測定						実習ロールプレイ				
	全体の進め 方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	スライド	参加人数と 役割分担	計	ロールプレイ 全体の進め 方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	参加人数と 役割分担	計
大変良かった	3	4	3	3	4	17	3	2	4	4	13
良かった	2	1	2	2	1	8	0	1	0	0	1
あまり良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	5
計	5	5	5	5	5		5	5	5	5	

平成 27 年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 基礎研修（放射線基礎知識）」

【指導者コメント】

○選択講義 インTRODクシヨN、放射線の基礎知識及び人体への影響と放射線防御
(要約版)

- ・特になし

○講義ロールプレイ

- ・スライド1枚でなくテーマでまとまりのあるスライドを時間まで説明するという方法もおもしろいと思います。
- ・講義の対象者を自ら宣言させた今回の方法は大変よかったですと思います。
- ・対象を明らかにさせたことで、分かり易く、指導者もやりやすくなったと思います。

○医療活動に必要な放射線測定実習

- ・実習の解説（目的と結果）の方がスムーズに進行できると思いました。
- ・放射線の理解だけにするか、測定器の性質にするか分けるのも1つの方法と思いましたが。
- ・指導者としてどう進めるかにしぼっていて、とても良かったと思います。受講者がこれを予習していればより良いと思いました。

○実習ロールプレイ

- ・スムーズに進行していて、おもしろい内容でした。
- ・スライドを使いながらの実習ですが、スライドを使いながら行えている受講生がほとんどなく、受講生に準備時間が必要と感じました。テキストへの記入もさせられていなかったと思います。

○指導ポイント、QA集として指導者が共有すると良いと思われる事項

- ・ロールプレイでは受講生の受講目的や知識レベル、職種等の想定を与えた方がよいかもしれないです。

○その他、お気づきの点

- ・ 実習器具の作製を検討下さい。お願いいたします。

平成27年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 実践研修(避難退域時検査・簡易除染)」
指導者アンケート結果

講義・実習評価	選択講義 避難退域時検査及び簡易除染					講義ロールプレイ				
	講義全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	スライド	計	全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	班の人数と編成	計
大変良かった	5	2	3	3	13	3	2	3	3	11
良かった	0	3	2	2	7	2	3	2	2	9
あまり良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	5	5	5		5	5	5	5	

講義・実習評価	実習 避難退域時検査実習						講義・実習 原子力災害時の簡易除染					
	全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	スライド	参加人数と役割分担	計	全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	スライド	参加人数と役割分担	計
大変良かった	3	2	3	3	4	15	3	3	2	3	2	13
良かった	1	3	2	2	1	9	1	1	2	1	1	6
あまり良くなかった	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	6
計	5	5	5	5	5		5	5	5	5	5	

講義・実習評価	グループディスカッション					実践ロールプレイ				
	ディスカッションの進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	班の人数と編成	計	ロールプレイ全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	参加人数と役割分担	計
大変良かった	3	3	2	3	11	1	2	0	1	4
良かった	0	1	1	1	3	2	2	4	3	11
あまり良くなかった	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	1	1	1	1	4	2	1	1	1	5
計	5	5	5	5		5	5	5	5	

【指導者コメント】

○選択講義 避難退域時検査及び簡易除染

- ・ ロールプレイをするうえでも、知識の再確認のうえでも是非必要です。
- ・ 全体の概要は必要。もっと簡潔になるとよいのですが難しいですね。
- ・ 恥ずかしながら新鮮な内容が多く、選択でなく必須でも良いのでは？（②実践に関して）
- ・ 検査場所の運営をするための注意点、指揮命令系統 etc について
→スライドを用いて話しがあった方が良いでしょう。
- （⇒実際の訓練で指揮命令系統がわかってなかったように思いました。）

○講義ロールプレイ

- ・ 受講者数によって、スライド2枚/1人でも良いかもしれません。
- ・ ポインター付きマウスのようなものがあれば、背中を向けてスクリーンを見ずにできるかもしれません。
- ・ 早く終わるのは、(受講慣れしている人も多く) 文句が出ないと思います。
- ・ 受講者がアウトプットできる場の提供は必要だと思う。
- ・ 移動（会場）に関して、雨の場合とか大変。

○実習 避難退域時検査実習

- ・ 質問として、地震などの災害では、検査時の GM の range ですが、全身汚染+で測定 range を高く（汚染の高低を）、事業者事故 etc では低くして汚染の有無を check するのが better かと→その通りですが、一般の受講生には難しいかと思われる。と返答する。
- ・ 説明のポイントをスライドで解説する。（実習を行うことより、重点ポイントの説明が重要）
- ・ 実習目的でなく結論と考察になるので実習は途中で中断し測定値（例）のようなスライドがあれば良いでしょう。

- ・少し時間を超過してしまいました。申し訳ありません（Point を強調して話すことを心がけました）。

○講義・実習 原子力災害時の簡易除染

- ・早く終わりましたが、受講生（講師養成講座）のレベルによると思いますので、早いのは問題ないと思います。

○グループディスカッション

- ・もう少し長くても良い？
- ・もう少し、時間があつた方がよかった。（それぞれ疑問が多くあるようでしたので）
- ・何をすべきかわかりにくい。
- ・除染実習後、そのまま行つたので除染に関するディスカッションになつてしまった感があります。講義ロールプレイについての意見が出づらかつたかなと思います。講義室に戻つてからの方がよいかもかもしれません。

○実践ロールプレイ

- ・役割分担、班割は再考→2班/4人研修
- ・壁に説明（スライドの代わり）書きを用意する方がいいかもかもしれません。
- ・2つに分かれて行つたため、全員が全部を体験できないがそれはそれで良かったと思います。時間は遅れたので途中で打ち切るなど管理が必要

○指導ポイント、QA集として指導者が共有すると良いと思われる事項

- ・汚染検査の時の記録と指定箇所検査の関係
- ・指定箇所検査における指示値 6,000cpm については以下の様なコメント（説明）があると指導者も説明しやすいし、受講者に誤解されないと思います。

（ OIL4 の初期設定値に相当する 40,000cpm である線源を、時定数 3 秒、移動速度毎秒 10cm、表面からの高さ 10cm で計測した場合、GM サーベイメータの指示値は 6,000cpm 増加する。 ）

- ・GM 実習 デモデータ（結果）のスライドが一枚あると説明しやすい。傾向がわかるように。

- ・検査場所 指揮命令系統（CSCA）運営のあり方→説明が必要かと思います。
- ・流れ図 スライドとしても入れた方がよいでしょうか。

○その他、お気づきの点

- ・特になし

**平成27年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 実践研修(汚染傷病者等搬送)」
指導者アンケート結果**

講義・実習評価	選択講義 原子力災害時の搬送、原子力災害時における搬送事例 (要約版)					講義ロールプレイ				
	講義全体の 進め方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	スライド	計	全体の進め 方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	班の人数と 編成	計
大変良かった	3	3	4	2	12	7	6	8	7	28
良かった	3	3	2	2	10	1	2	0	1	4
あまり良くなかった	2	2	2	4	10	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8	8	8	8		8	8	8	8	

講義・実習評価	実習 放射線測定実習					実習 搬送実習					
	講義全体の 進め方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	スライド	計	実習の進め 方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	スライド	参加人数と 役割分担	計
大変良かった	7	6	6	5	24	7	5	6	6	6	30
良かった	1	2	2	2	7	1	3	2	1	1	8
あまり良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2
計	8	8	8	8		8	8	8	8	8	

講義・実習評価	グループディスカッション					実習ロールプレイ				
	ディスカッ ションの進め 方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	班の人数と 編成	計	ロールプレイ 全体の進め 方・説明	受講者の理 解度、反応	時間(長さ)	参加人数と 役割分担	計
大変良かった	5	5	5	5	20	7	8	7	8	30
良かった	3	3	3	2	11	1	0	1	0	2
あまり良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
計	8	8	8	8		8	8	8	8	

平成 27 年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 実践研修（汚染傷病者等搬送）」

【指導者コメント】

○選択講義 原子力災害時の搬送、原子力災害時における搬送事例（要約版）

- ・余りに短時間で終わらせてしまいました。
- ・スライドが判りにくい。
- ・きちんとしないといけないが、あった方が良いとは思いますが。
- ・スライドは文字量を減らし、図、画像を増やした方がよい。

○講義ロールプレイ

- ・複数受講の方も居られ、説明に対して理解度に差があるかも知れません。ロールプレイを行う順番、スライドを飛ばす可否について再考の要があるかも知れません。
- ・特に情報収集項目を列記させ、自分達で考えさせる等がOK。
- ・評価表が□(□内にレ点)のようになっていますが良い、悪い、評価なしなどの方がつけやすい。コメントをする時間が必要か否か。
- ・朝イチのロールプレイであり、緊張するところなので2日目でも良いのでは？

○実習 放射線測定実習

- ・空間線量測定と個人被ばく線量測定の本研修会での位置づけを明確に受講者に説明すべきです。
- ・もう少し長くても良いと思われれます。
- ・時間が少し短い。重要な点のみを述べた。

○実習 搬送実習

- ・理解度に差があるかも知れません。講師養成コースですが未受講（未見学 etc）者も居るようです。
- ・(時間) 全部をやらなくても、もう少し短くても良いのでは。
- ・スライドは使用していない。貼り付けの point 票を日めくり形式。

○グループディスカッション

- ・ディスカッションの内容を講師養成について絞ったつもりだったが、受講者にうまく伝わらなかったようであった。次回コースではその点に気をつけながらやれればと思います。
- ・全体で進めると何もなくなってしまうので、項目でしっかり確認すべき所を決めてやってもよいのでは。

○実習ロールプレイ

- ・実習分担の時間、特に養生については30分では難しいかも知れません。情報の部分はずすか、時間を延長するか、宜しくお願いします。
- ・全体的にOK。
- ・何人ごとに救急車1台かなどルール作りが必要か？実習場所配置例を示す（救急車、養生器材、マイクやスピーカー、白板 etc）ことが必要。講師役を無視して進める場合は我々が止めなければならない。
- ・季節、季候によって順番を入れ換えるのも良いのでは？

○指導ポイント、QA集として指導者が共有すると良いと思われる事項

- ・PPE、養生→必要の是非についての議論が出そうになりました。やることを前提にしていますので、すべての質問に一つ一つ答えずに進めないと実際の実習時間が短くなるようです。

○その他、お気づきの点

- ・受講者からの意見を取り入れつつ、内容の見直しを図っても良いのかも知れません。次回、次年度も指導者として頑張っていければと思いますので宜しくお願いします。
- ・全体的な流れと場所を説明して実施するともっとよい。
- ・オリエンテーションの講義分の資料。成人教育技法、インストラクション技法の総論分についての学習の教材。寒い、天候不順について。

平成27年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 実践研修(医療機関における対応)」
指導者アンケート結果

講義・実習評価	選択講義 原子力災害時医療に対する医療機関の対応、原子力災害時における対応事例(要約版)					講義ロールプレイ				
	講義全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	スライド	計	全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	班の人数と編成	計
大変良かった	4	4	4	3	15	2	2	1	2	7
良かった	4	4	4	4	16	5	5	5	5	20
あまり良くなかった	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
計	8	8	8	8		8	8	8	8	

講義・実習評価	実習 原子力災害時医療実習						グループディスカッション				
	実習の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	スライド	参加人数と役割分担	計	ディスカッションの進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	班の人数と編成	計
大変良かった	2	1	3	3	2	11	4	4	3	4	15
良かった	5	4	4	4	5	22	3	4	4	4	15
あまり良くなかった	1	3	1	0	1	6	1	0	1	0	2
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
計	8	8	8	8	8		8	8	8	8	

講義・実習評価	実習ロールプレイ				
	ロールプレイ全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	参加人数と役割分担	計
大変良かった	5	6	4	5	20
良かった	3	2	3	3	11
あまり良くなかった	0	0	1	0	1
全く良くなかった	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0
計	8	8	8	8	

【指導者コメント】

○選択講義 原子力災害時医療に対する医療機関の対応、原子力災害時における対応事例（要約版）

- ・特になし

○講義ロールプレイ

- ・フィードバックの時間は必要と思いました。（各人に対して）
- ・この企画はとても良いと思います。自己紹介を為なされているのも良いと思います。各個人への **feed back** は必要だと思います。（紙だけでなく）
- ・一人5分であればスライド2枚はいけます。1枚なら全体の時間を少し短くして良いと思います。コメディカル（特にNs）には、やや荷が重いかもしれません。
- ・ロールプレイのルールを決めるとよい。
- ・マイクを使っていますが、本当は声が小さいと混乱すること等／声は大きく等／実習にのみ集中してしまうが（時間管理もあるが）急いでやらなくてもよい等、その場面で伝えるポイントを明確にする。
- ・1人で1枚を5分間かけて行うのは、少々酷のような気がします。2～3枚を1人で5分くらいがよいのではないのでしょうか。

○実習 原子力災害時医療実習

- ・内容については再考が必要かと思いました。
- ・目的を明確にすることが出来ず反省しています。ダミーとなる担当者の進め方について、良い点、改善点を意見交換する形にできないか。
- ・目的がわかりにくい。（伝わりにくいかもしれません）
→実習ロールプレイの事前確認のため。
- ・実習の内容だけではなく、指導者は時間管理も重要であるということを長谷川先生が伝えていました。とても重要なことだと思います。
- ・実習を評価してもらいディスカッションできたことはとても良かったと思います。

- ・職種間の遠慮は無いよう、次は強調したいところです。何せ複合災害では長けた技師と慣れない医師での対応もあり得ますので、細々とした点を、実習中に受講者間で教え合う、指摘し合う、という方が、身になるし良い雰囲気になると思います。
- ・細かい技術の修正をどのタイミングですか、この実習体験することは大切なので振り返りが大切。
- ・この実習の位置付けは、あくまでも思い出しにあるのでしょうか。だとすれば割り切って、受講者を講師候補と思わずに、普通どおりの実習してしまえばいいのではないかと思いました。

○グループディスカッション

- ・実習の時間に左右されるため、臨機応変がいいかと思いました。（もしくは初めから質疑内容を想定しておく）
- ・もう少し時間がとれると良いと思います。
- ・職種ごとのディスカッションではありませんでしたが、良かったと思います。
- ・上記の様に、実習中のより良い意思疎通がはかれれば、反省点の話を少なめにし、明日（ロールプレイ）に向けてどう取り組むかの相談に時間を割けるとと思います。
- ・職種毎の振り返りは情報共有する為に大切なこと。
- ・わかっていたつもりが実際にやってみると汚染を拡大してしまう。
- ・汚染区域に入れる物品のセレクトについて。
- ・外とのコミュニケーション。
- ・職種ごとのグループディスカッションは、とても良かったと思います。

○実践ロールプレイ

- ・時間管理について再考が必要かと思いました。
- ・これにつきると思います。事前に、教え方を練習してくるなどの方策はないでしょうか。
- ・時間配分の検討が必要だと思います（時間は十分あったと思います）。提案のみですみません。
- ・ここは今回の研修のキモなので、もう少し時間がほしかったと思います。
- ・今回、事務局が用意なさった時間配分は非常に良かったと思います。

- ・質問：人材確保の仕方、活用の仕方
 - ：声かけの仕方
 - ：情報共有があまい→情報のとり方
- ・実習を短くしたおかげで、ロールプレイに十分な時間がとれたと思います。

○指導ポイント、QA集として指導者が共有すると良いと思われる事項

- ・ビブスがあつてよかった。職種別で一度共有すると良いかと思いました。（事前に）
- ・いつも行っている救急医療+ α ということを少し強調できると、肩の力が抜けて、冷静にできる。
- ・実習を進めるペースのとり方：急ぐことはなく、きちんとコミュニケーションをとりながら行うこと。

○その他、お気づきの点

- ・実習ロールプレイでは住民役となる受講生には、既によくわかっている、講師役を困らせたくないなどが考えられることから、カードなどでネガティブな役を指示したりするとより効果が高まるかもしれません。
- ・実習器具の作製を検討下さい。お願いいたします。

**平成27年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 実践研修(安定ヨウ素剤等)」
指導者アンケート結果**

講義・実習評価	選択講義 安定ヨウ素剤の服用と効果、安定ヨウ素剤の配布方法とその対応(要約版)					講義ロールプレイ				
	講義全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	スライド	計	全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	班の人数と編成	計
大変良かった	3	3	3	3	12	3	3	1	3	10
良かった	0	1	0	0	1	1	1	2	1	5
あまり良くなかった	1	0	1	1	3	0	0	1	0	1
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	4	4	4		4	4	4	4	

講義・実習評価	演習 安定ヨウ素剤配布						グループディスカッション				
	全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	スライド	参加人数と役割分担	計	ディスカッションの進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	班の人数と編成	計
大変良かった	3	3	4	2	2	14	2	2	2	2	8
良かった	1	1	0	1	2	5	2	2	2	2	8
あまり良くなかった	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	4	4	4	4		4	4	4	4	

講義・実習評価	実習ロールプレイ				
	ロールプレイ全体の進め方・説明	受講者の理解度、反応	時間(長さ)	参加人数と役割分担	計
大変良かった	2	3	3	3	11
良かった	2	1	1	1	5
あまり良くなかった	0	0	0	0	0
全く良くなかった	0	0	0	0	0
未回答	0	0	0	0	0
計	4	4	4	4	

平成 27 年度原子力規制庁委託
「講師養成講座 実践研修（安定ヨウ素剤等）」

【指導者コメント】

○選択講義 安定ヨウ素剤の服用と効果、安定ヨウ素剤の配布方法とその対応（要約版）

- ・スライドのポイントのみを解説する講義形式にした方がよいのでは、いつもの研修と同じになってしまっている。講師養成なのでもう少し短い時間であってもよいと思います。

①指導のポイントにしぼる

②ニーズに合っていたか

③ポイントだけにしぼればもう少し短くてもいけるかも

④ポイント加えたものにする"

- ・ヨウ素剤に関する知識の確認には必要かなと思いました。
- ・講師をする上でのポイントを伝えられていたと思います。
- ・知識の整理のため有用と思われます。

○講義ロールプレイ

- ・時間が少し余ったので、参加者数にもよりますが、一人ずつ1ポイントだけフィードバックしてもよかったのかなと思った。
- ・人数が多かったのですが、仕方ないと思いますが、講義は全員うまかったと思います。
- ・スライド一枚の担当時間は3分くらいでもいいかもしれません。

○実習 安定ヨウ素剤配布

- ・時間が少ない
- ・1回目に開催した人数がとても良い
- ・参加人数が多かったため、調整が難しい感じでした。全員が1回は参加できると良かったです。
- ・一回目よりも改善されていた（スライド追加の部分）。それでもまだ足りない部分がある。

○グループディスカッション

- ・ 1 回目は 7 名だったが全員が関係職種であったため実はよかった。各職種の相互理解につながったと思う。
- ・ 2 回目は人数が多かったため、十分なグループディスカッションが、不十分かなと思いました。
- ・ ディスカッションの方向を指導するのが難しかった。フリートークにしたが、テーマを出しても良かったかも。

○実習ロールプレイ

- ・ 一人 10 分でもよいかも。
- ・ 人数は丁度よい。これ以上一人ずつ採点するのはつらい。
- ・ 今回の制約の中では、十分かなと思いました。
- ・ 事前の想定をきちんと決めてから行わないと、受講者がどう答えようか困惑する場面があった。(出来るだけ、ヨウ素剤を渡す想定なのかどうかなど)
- ・ 住民役を少し増やす。

○指導ポイント、QA 集として指導者が共有すると良いと思われる事項

- ・ 紫色のテキストは数日前には頂きたい。
- ・ ロールプレイの質疑応答集は良かったと思います。情報共有のため、これを充実させると良いと思います。
- ・ 妊婦、授乳婦への対応。

○その他、お気づきの点

- ・ 特になし